



Information Technology

第11回情報科学技術フォーラム

プログラム

FIT2012実行委員長・プログラム委員長ご挨拶	1
インフォメーション	2
交通案内図	3
キャンパス図・会場図	4
各種イベントのご案内	9
プログラム(タイムテーブル)	10
講演論文集の内容	14
会場別スケジュール	15
イベント企画概要	17
展示会のご案内	37
査読付き論文について	38
一般講演プログラム	39
論文査読者一覧	59
FIT委員名簿	61

平成24年9月4日(火)～6日(木)

法政大学 小金井キャンパス

懇親会 9月5日(水) 17:45より

法政大学 小金井キャンパス 東館B1F 生協食堂

FIT2012本部 法政大学 小金井キャンパス 西館1F ファカルティ倶楽部

臨時電話(FAX 兼用)090-4001-0001 (会期中のみ)

【共催】



一般社団法人 電子情報通信学会

The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

情報・システムソサイエティ (ISS) ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)

Information and Systems Society

Human Communication Group



一般社団法人 情報処理学会

Information Processing Society of Japan

【協賛】

HOSEI 法政大学

【後援】

小金井市 小金井市教育委員会

FIT2012 実行委員長・プログラム委員長 ご挨拶



FIT2012 実行委員会 委員長

大田 友一

筑波大学 大学院システム情報工学研究科 教授



FIT2012 プログラム委員会 委員長

橋田 浩一

産業技術総合研究所 知能システム研究部門 上席研究員

今回、第 11 回目を迎える FIT2012 は、4 年ぶりの首都圏での開催となりました。船井業績賞受賞記念講演、研究会等の意欲的な提案による 13 件のイベント企画セッション、査読付き論文・一般論文からなる一般講演セッションで構成されています。なお、査読付き論文を含む一般講演数は 582 件を数えます。

本年度の船井業績賞は、人工知能およびユビキタスコンピューティングに関する研究のわが国における魁である公立はこだて未来大学学長の中島秀之氏に贈呈することになり、受賞記念講演をして頂きます。船井業績賞受賞記念講演については、一般の方々にも広く聴講いただきたいという主旨で、無料公開講演といたしました。

一般講演セッションのプログラム編成には、電子情報通信学会情報・システムソサイエティおよびヒューマンコミュニケーショングループの研究専門委員会、情報処理学会の研究会のご協力を頂きました。ここに各研究専門委員会、研究会の FIT 開催にあたってのご協力に深く感謝いたします。

最後になりますが、会場をご提供下さいました法政大学様、並びに、開催準備と運営に多大なご尽力をいただきました現地実行委員会の皆様に深く御礼申し上げます。

インフォメーション

■総合受付（インフォメーションコーナー）法政大学 西館 1F ロビー

受付時間：4日（火）8:30-16:00 5日（水）8:30-16:00 6日（木）8:30-15:00
各種受付、講演論文集・DVD-ROM販売、問合せ窓口

■FIT2012 本部・手荷物預かり 法政大学 西館 1F ファカルティ倶楽部

臨時電話（携帯）090-4001-0001（会期中のみ）

■聴講参加費〔プログラム・参加章・DVD-ROM 付き〕（税込）

会員：10,000 円 非会員：20,000 円 学生：無料（プログラム・参加章のみ）

無料公開講演（参加章のみ）：

4日（火）e-サイエンス：超大規模実問題に挑戦するアルゴリズムと計算技術

5日（水）船井業績賞受賞記念講演「サイバーアシストからスマートシティへ：IT による社会のデザイン」

6日（木）データ活用型科学の将来展望

■講演論文集・DVD-ROM（税込）

講演論文集セット（全論文集・DVD-ROM・カバー付き）：個人購入 / 法人購入共 57,000 円

講演論文集各分冊：個人購入 12,000 円 / 法人購入 15,000 円

講演論文集 DVD-ROM：個人購入 8,000 円 / 法人購入 55,000 円 / 学割会場販売：4,000 円

※DVD-ROM には一般講演全論文とプログラム収録

■懇親会

日時：9月5日（水）17:45-19:30

会場：法政大学 東館 B1F 生協食堂

参加費（税込）：一般（正会員・非会員）5,000 円 学生 2,000 円 座長または査読者 3,000 円

■お知らせ事項

[連絡掲示板]

FIT に関する周知および伝言等は、総合受付前に設置する「連絡掲示板」に掲示しますのでご注意ください。
各会場への個別の連絡や館内アナウンス等は致しません。

[インターネット接続コーナー（無線 LAN）]

利用可能エリア：小金井キャンパス内

ご希望の方は、FIT2012 総合受付で無線 LAN 利用申込受付表に必要事項をご記入頂きますと、引き換えに利用案内をお渡し致します。なお電源の提供はしておりませんのでご了承下さい。

[食堂]

管理棟 3F 食堂（スエヒロ）11:00-14:00

東館 B1F 生協食堂 11:00-14:00

[売店]

管理棟 3F 10:00-14:00

文具のみ：東館 B1F 11:00-14:00

[休憩所]

西館 2F ベンディングコーナー

管理棟 3F 食堂（スエヒロ）9:30 ～

東館 1F マルチユースホール、2F ラウンジ（ゼミ室前）、2F ラウンジ（第1 イベント会場前）

[喫煙について]

大学構内は指定の場所以外は禁煙です。喫煙場所は西館の北側となりますのでご利用下さい。

[駐車場について]

一般参加者用の駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。

会場へは、公共交通機関等をご利用のうえ、お越し下さいますようお願い致します。

[会場（法政大学）までの交通]

・JR 中央線で「東小金井駅」下車、徒歩 15 分程度

■今後の FIT・大会情報

・FIT2013 第 12 回情報科学技術フォーラム

会期：2013 年 9 月 4 日（水）～ 6 日（金）

会場：鳥取大学 鳥取キャンパス

・情報処理学会 第 75 回全国大会

会期：2013 年 3 月 6 日（水）～ 8 日（金）

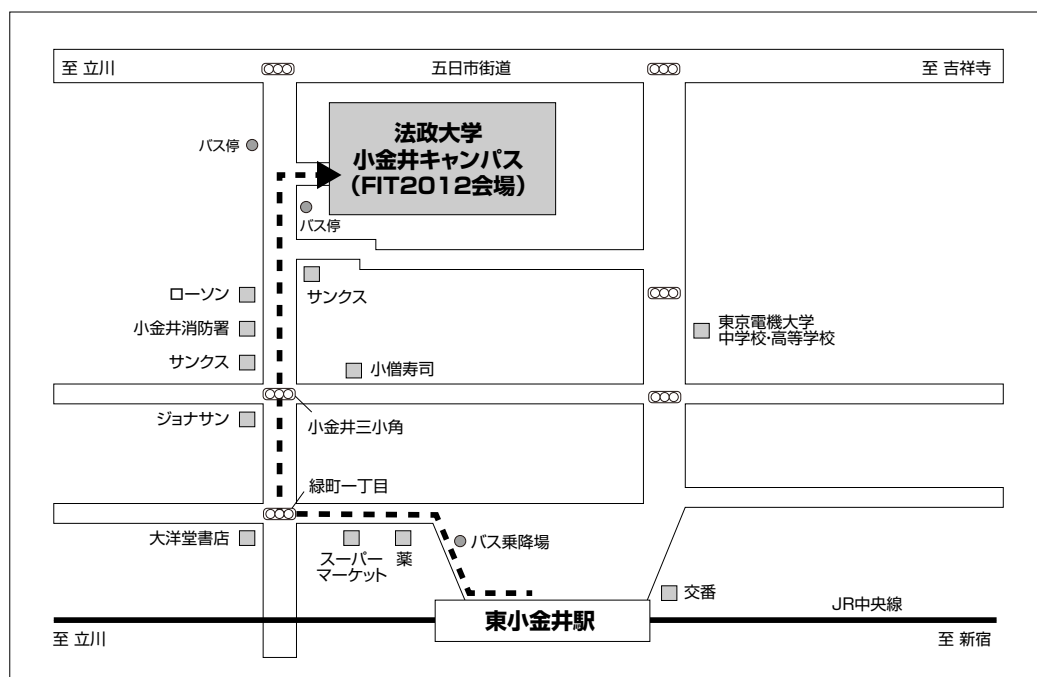
会場：東北大学 川内キャンパス

・電子情報通信学会 2013 年総合大会

会期：2013 年 3 月 19 日（火）～ 22 日（金）

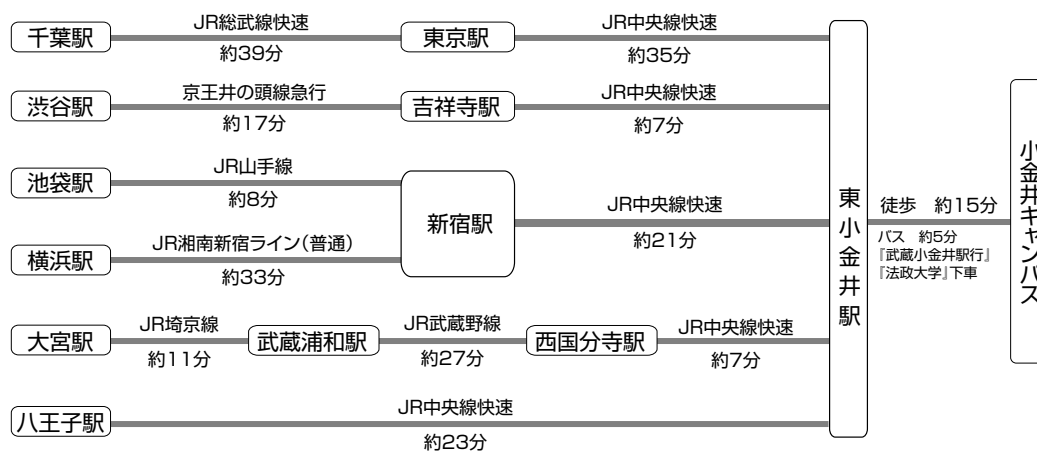
会場：岐阜大学 柳戸キャンパス

交通案内図

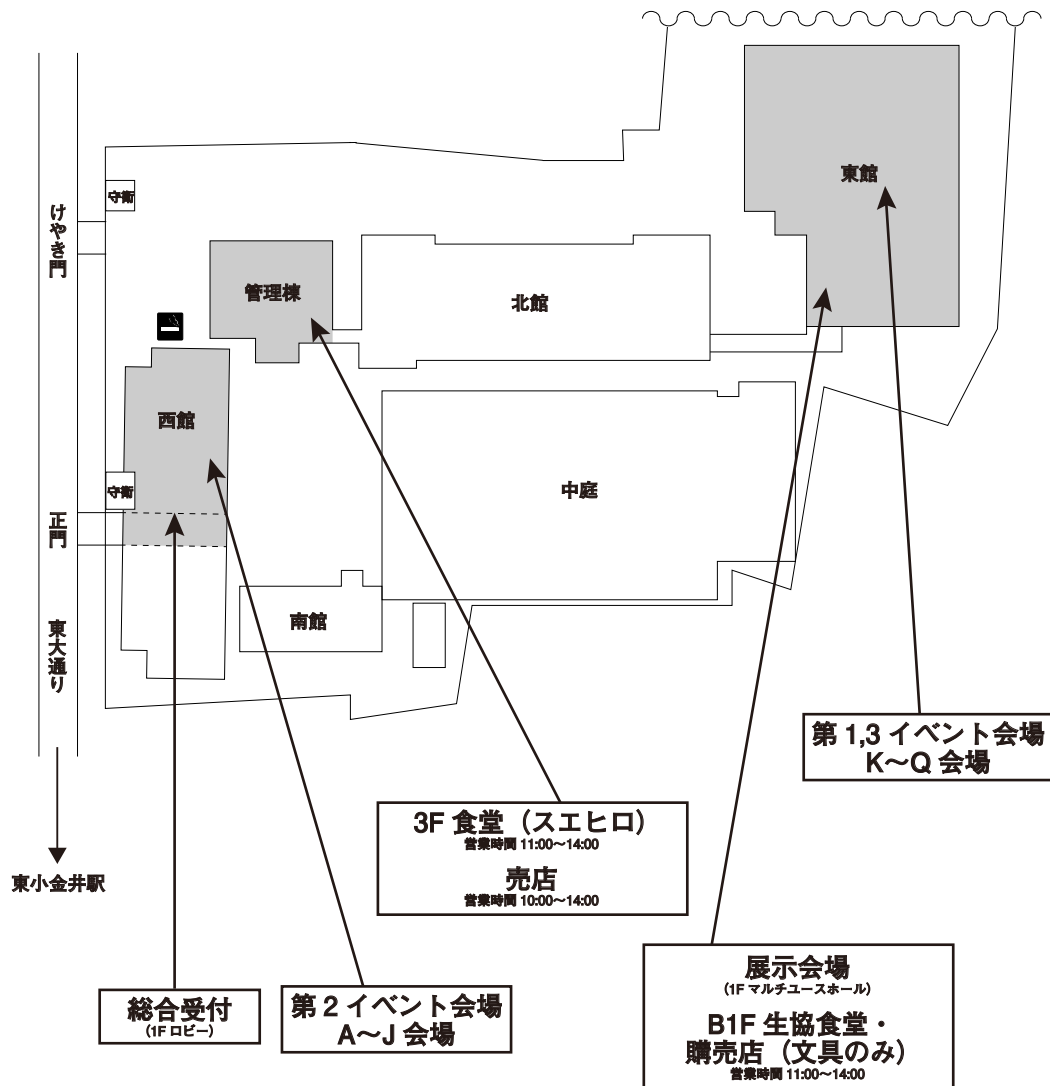


最寄り駅からのアクセス

所要時間は目安です。

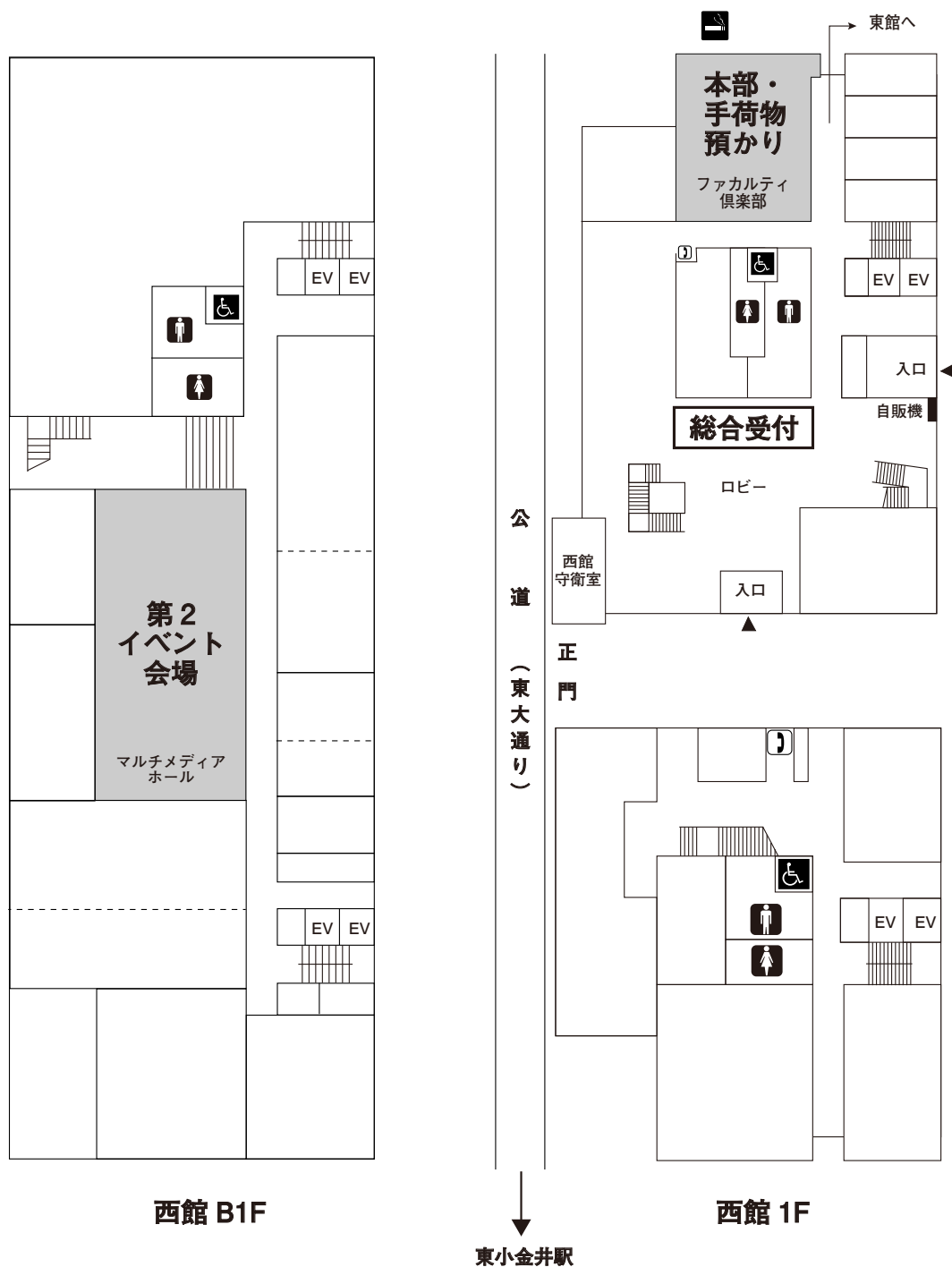


法政大学 キャンパス図



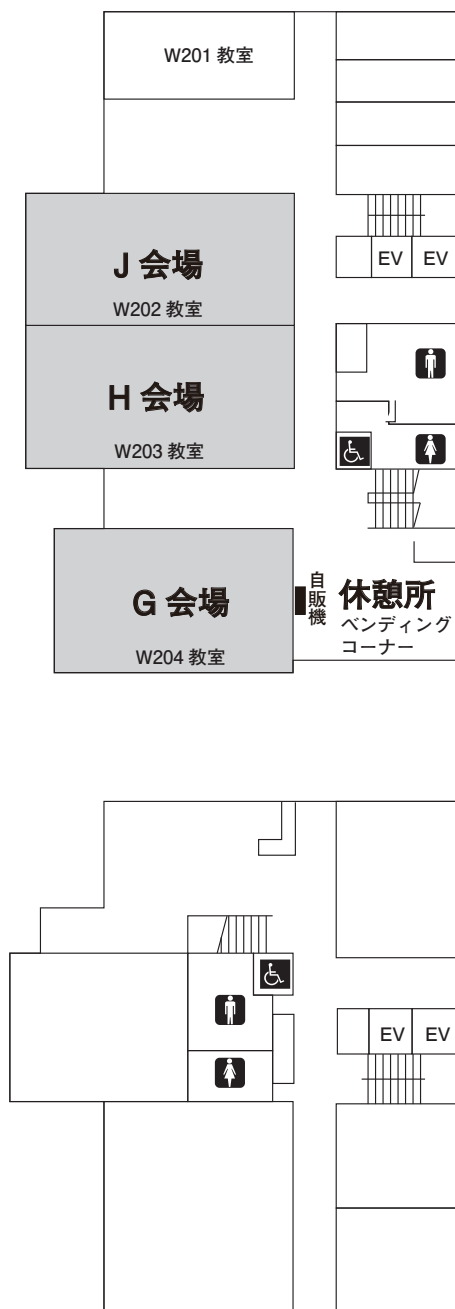
会場図

西館（その１）



会場図

西館（その2）



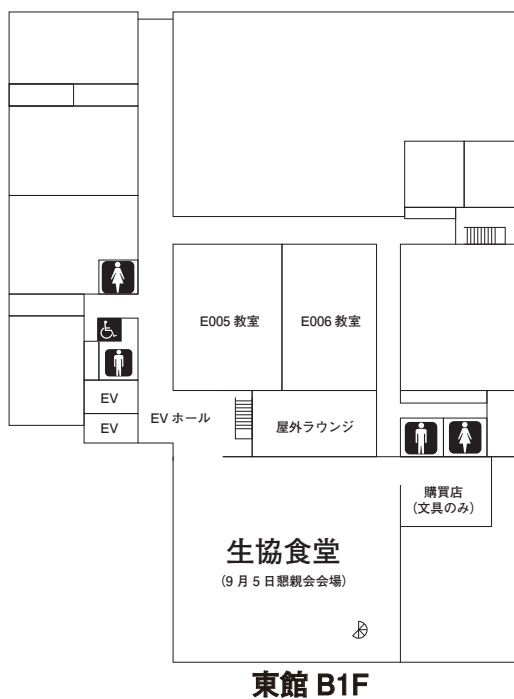
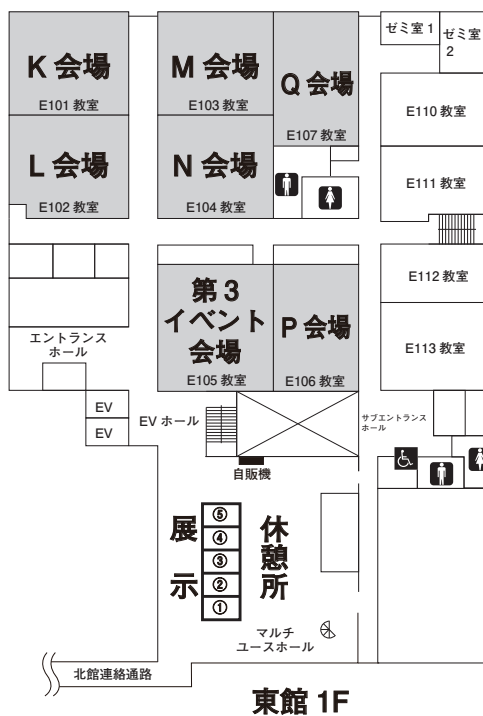
西館 2F



西館 3F

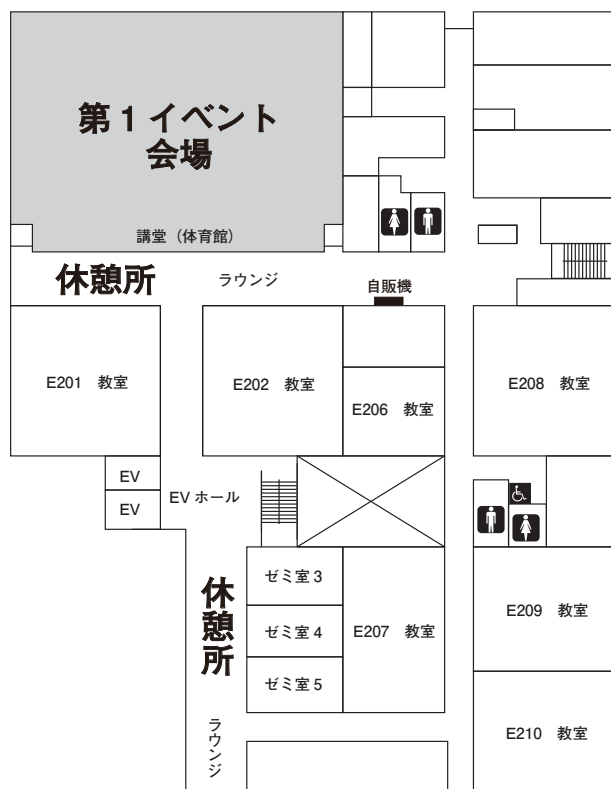
会場図

東館（その1）



会場図

東館（その2）



東館 2F

各種イベントのご案内

■船井業績賞受賞記念講演 5日(水) 14:00-15:15

【無料公開】

第1イベント会場(法政大学 東館 2F 講堂(体育館))
「サイバーアシストからスマートシティへ:ITによる社会のデザイン」
中島 秀之(公立はこだて未来大学 学長)

■FIT 学術賞表彰式 5日(水) 13:00-13:50

第1イベント会場(法政大学 東館 2F 講堂(体育館))
FIT2012 船井業績賞・船井ベストペーパー賞・論文賞/FIT2011 ヤングリサーチャー賞

■イベント企画

第2イベント会場(法政大学 西館 B1F マルチメディアホール)

- ・4日 9:30-12:00 スマートフォン実世界センシング×コンピューティング
- ・4日 13:00-15:00 e-サイエンス:超大規模実問題に挑戦するアルゴリズムと計算技術 【無料公開】
- ・4日 15:30-17:30 ビジネスで生きる機械学習技術
- ・5日 9:30-12:00 HTML5時代におけるサイバーワールドのインテグレーション
- ・5日 15:30-17:30 高度IT資格制度「情報処理学会モデル」
- ・6日 9:40-12:00 データ活用型科学の将来展望 【無料公開】
- ・6日 13:00-16:00 スパース信号処理の最前線

第3イベント会場(法政大学 東館 1F E105)

- ・4日 13:00-16:00 第16回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
- ・5日 9:30-12:00 生体・感覚情報計測技術の基礎
- ・5日 15:30-17:30 情報学研究における質的アプローチの可能性を探る
- ・6日 9:30-12:00 世界初, 統一的評価基準に基づく電子透かしコンテスト
ー 昨今の電子透かし技術の実力や如何に!
- ・6日 13:00-15:00 安心なスマートフォンの未来を考える
～スマートフォン/タブレットの威力とセキュリティ対策について

■展示会

展示会場:東館 1F マルチユースホール

展示期間:9月4日(火)・5日(水) 9:30-17:00、6日(木) 9:30-15:00

出展企業・団体(五十音順)

- ・株式会社 ATR-Promotions
- ・エムティティ株式会社
- ・シュプリンガー・ジャパン株式会社
- ・株式会社日立製作所
- ・株式会社フォーラムエイト

■懇親会 5日(水) 17:45-19:30

会場:東館 B1F 生協食堂

会場 日時		第1イベント会場 東館 2F 講堂（体育館）	第2イベント会場 西館 B1F マルチメディアホール	第3イベント会場 東館 1F E105	展示会場 東館 1F マルチユースホール
9 月 4 日 (火)	9:30		スマートフォン 実世界センシング × コンピューティング P. 17		展示会 9:30 ～ 17:00
	12:00				
	13:00	【無料公開】 e-サイエンス： 超大規模実問題に挑戦する アルゴリズムと計算技術 P. 19	13:00 ～ 16:00 第 16 回パターン認識・ メディア理解 アルゴリズムコンテスト		
	15:00				
15:30		ビジネスで生きる 機械学習技術 P. 21	P. 29	P. 37	
17:30					
9 月 5 日 (水)	9:30		HTML5 時代における サイバーワールドの インテグレーション P. 22	生体・感覚情報 計測技術の基礎 P. 30	展示会 9:30 ～ 17:00
	12:00				
	13:00	FIT 学術賞 表彰式			
	13:50				
	14:00	【無料公開】 FIT2012 船井業績賞受賞記 念講演 サイバーアシストから スマートシティへ： IT による社会のデザイン P. 17	(第 1 イベント会場を 中継予定) 当日、確認して下さい。	(第 1 イベント会場を 中継予定) 当日、確認して下さい。	
	15:15				
	15:30		高度 IT 資格制度 「情報処理学会モデル」 P. 24	情報学研究における 質的アプローチの 可能性を探る P. 32	
17:30					
	17:45 - 19:30 懇 親 会				P. 37
9 月 6 日 (木)	9:30		9:40 ～ 12:00 【無料公開】 データ活用型科学の 将来展望 P. 26	世界初、統一の評価基準に 基づく電子透かしコンテスト — 昨今の電子透かし技術の 実力や如何に！ P. 34	展示会 9:30 ～ 15:00
	12:00				
	13:00		スパース信号処理の最前線 P. 28	13:00 ～ 15:00 安心なスマートフォンの未 来を考える ～スマートフォン / タブ レットの威力とセキュリ ティ対策について P. 35	
	16:00				

※右下の数字は当プログラム冊子の掲載ページ番号です。

プログラム（タイムテーブル）

11

A 西館 3F W308	B 西館 3F W307	C 西館 3F W306	D 西館 3F W305	E 西館 3F W304
アルゴリズム 千葉 英史 (法大) A 分野 P. 39	並列処理 城田 祐介 (東芝) B 分野 P. 40	コンピュータシステム技術 天野 英晴 (慶大) C 分野 P. 41	Web 若林 啓 (筑波大) D 分野 P. 43	音楽情報科学 (1) 北原 鉄朗 (日大) E 分野 P. 43
数理モデル (1) 吉見 真聡 (同志社大) A 分野 P. 39	並列分散・仮想化技術 小池 誠彦 (法大) B 分野 P. 40	コンピュータシステム応用 緑川 博子 (成蹊大) C 分野 P. 41	マイクログログ 熊本忠彦 (千葉工大) D 分野 P. 43	音楽情報科学 (2) 浜中 雅俊 (筑波大) E 分野 P. 44
アルゴリズムと応用 (1) 松井 知己 (中大) A 分野 P. 39	知能ソフトウェア工学 樋山 淳雄 (東京学芸大) B 分野 P. 40	LSI システムと設計技術 松本 剛史 (東大) C 分野 P. 41	データベース 上田 高德 (早大) D 分野 P. 43	検索・質問応答・抽出 増市 博 (富士ゼロックス) E 分野 P. 44
アルゴリズムと応用 (2) 山西 輝也 (福井工大) A 分野 P. 39	電子文書・ソフトウェア科学 品川 徳秀 (筑波大) B 分野 P. 40	組込みシステム 佐藤 健哉 (同志社大) C 分野 P. 42	情報アクセスとマイニング 山田 一郎 (NHK 放送技研) D 分野 P. 43	語彙 荒牧 英治 (東大) E 分野 P. 44
第 1 イベント会場で 「FIT 学術賞 表彰式」及び「FIT2012 船井業績賞受賞記念講演」を開催				
数理モデル (2) 和崎 克己 (信州大) A 分野 P. 39	テスト・検証・解析 紙名 哲生 (東大) B 分野 P. 41	ディベンダブルシステム 金川 信康 (日立) C 分野 P. 42	地理情報 義久 智樹 (阪大) D 分野 P. 43	音声情報処理 西村 竜一 (和歌山大) E 分野 P. 44
17:45 - 19:30 懇 親 会				
問題解決手法 岩崎 敦 (九大) A 分野 P. 40	開発支援・ソフトウェア保護 Chaiwat Sathawornwichit (NEC) B 分野 P. 41	リコンフィギャラブルシステムと応用 吉瀬 謙二 (東工大) C 分野 P. 42		自然言語処理一般 二宮 崇 (愛媛大) E 分野 P. 44
計算とプログラミング 宇野 毅明 (NII) A 分野 P. 40				対話・コミュニケーション 東中 竜一郎 (NTT) E 分野 P. 44

会場		F	G	H	J	K
日時		西館 3F W303	西館 2F W204	西館 2F W203	西館 2F W202	東館 1F E101
9月4日 (火)	9:30	エージェンツ	NC とバイオ インフォマティクス	文字認識・物体認識	画像符号化	ヒューマン コミュニケーション (1)
	1	津田 宏治 (産総研)	竹中 要一 (阪大)	前川 仁 (埼玉大)	高村 誠之 (NTT)	福住 伸一 (NEC)
	12:00	F 分野 P. 45	G 分野 P. 46	H 分野 P. 47	I 分野 P. 49	J 分野 P. 50
	13:00	ゲーム情報学	ME と生体情報科学	AR・VR・応用	自由視点・3D 映像処理	ヒューマン情報処理
9月5日 (水)	2	ライエル ゲリムベルゲン (東京工科大)	小池 康晴 (東工大)	浮田 宗伯 (奈良先端大)	藤井 俊彰 (名大)	金子 寛彦 (東工大)
	15:00	F 分野 P. 45	G 分野 P. 46	H 分野 P. 48	I 分野 P. 49	J 分野 P. 50
	15:30	群知能・集合知	医用画像	人物検出・移動検知	オーディオビジュアル 情報処理	動作・知覚・注意
	3	藤田 悟 (法大)	彌富 仁 (法大)	大谷 淳 (早大)	内藤 整 (KDDI 研)	伊藤 昌毅 (鳥取大)
	17:30	F 分野 P. 45	G 分野 P. 46	H 分野 P. 48	I 分野 P. 49	J 分野 P. 50
9月5日 (木)	9:30	Web 情報処理	映像解析・照明	動作解析	コンピュータ グラフィクス	ヒューマン コミュニケーション (2)
	4	松原 繁夫 (京大)	島田 敬士 (九大)	クリビングデル サイモン (NHK)	栗原 恒弥 (日立)	矢島 敬士 (電機大)
	12:00	F 分野 P. 45	H 分野 P. 47	H 分野 P. 48	I 分野 P. 49	J 分野 P. 50
	13:00 13:50 14:00 15:15	第1 イベント会場で 「FIT 学術賞 表彰式」及び「FIT2012 船井業績賞受賞記念講演」を開催				
9月6日 (木)	15:30	学習・最適化	顔・ジェスチャ	画像特徴・検出	エンタテインメント	ヒューマン コミュニケーション (3)
	5	大須賀 昭彦 (電通大)	堀田 政二 (農工大)	境田 慎一 (NHK)	宮下 芳明 (明大)	川村 春美 (NTT)
	17:30	F 分野 P. 45	H 分野 P. 47	I 分野 P. 48	I 分野 P. 49	J 分野 P. 51
		17:45 - 19:30 懇 親 会				
9月6日 (木)	9:30	知識発見	3次元処理・ステレオ	画像復元・超解像	画像計測	支援とエージェンツ
	6	福田 直樹 (静岡大)	清水 郁子 (農工大)	久保田 彰 (中大)	浜本 隆之 (東理大)	小松 孝徳 (信州大)
	12:00	F 分野 P. 46	H 分野 P. 47	I 分野 P. 48	I 分野 P. 49	J 分野 P. 51
	13:00	ネットワーク情報処理	ITS・ リモートセンシング	画像表現	画像処理応用	インタフェース
	7	片上 大輔 (東京工芸大)	松尾 治夫 (日産)	井口 和久 (NHK)	酒澤 茂之 (KDDI 研)	渡辺 奈夕子 (東芝)
	16:00	F 分野 P. 46	H 分野 P. 47	I 分野 P. 48	I 分野 P. 50	J 分野 P. 51

L 東館 1F E102	M 東館 1F E103	N 東館 1F E104	P 東館 1F E106	Q 東館 1F E107
HCI と自然言語処理 村上 陽平 (NICT) J 分野 P. 51	教育学 (1) 森本 容介 (放送大) K 分野 P. 52	セキュリティモデルと 認証 井上 大介 (NICT) L 分野 P. 54	マルチメディア通信と 分散処理 藤井 章博 (法大) M 分野 P. 55	業務システム 茂木 学 (NTT) O 分野 P. 57
サイバーワールド 井原 雅行 (NTT) K 分野 P. 51	福祉情報工学 (1) 大倉 典子 (芝浦工大) K 分野 P. 53	ネットワーク制御と運用 鈴木 聡 (高エネルギー加速器研) L 分野 P. 54	ユビキタスコンピュー ティング 永田 智大 (NTT ドコモ) M 分野 P. 55	分析とモデリング 鳥羽 美奈子 (日立) O 分野 P. 57
マルチメディア・ 仮想環境基礎 有安 香子 (NHK 放送技研) K 分野 P. 51	福祉情報工学 (2) 和田 親宗 (九工大) K 分野 P. 53	ネットワーク監視と運用 山井 成良 (岡山大) L 分野 P. 54	モバイル アプリケーション 高田 敏弘 (NTT) M 分野 P. 55	制御とインターフェイス 若原 俊彦 (福岡工大) O 分野 P. 57
教育学 (2) 宮寺 庸造 (東京学芸大) K 分野 P. 52	教育学 (3) 小西 達裕 (静岡大) K 分野 P. 53	ネットワーク セキュリティと運用 柏崎 礼生 (東京藝大) L 分野 P. 54	位置情報と交通安全支援 清原 良三 (神奈川工科大) M 分野 P. 55	広域連携モデリング 黒瀬 晋 (NEC) O 分野 P. 57
第 1 イベント会場で 「FIT 学術賞 表彰式」及び「FIT2012 船井業績賞受賞記念講演」を開催				
高機能マルチメディア 新見 道治 (九工大) K 分野 P. 52	コンピュータと教育 辰己 丈夫 (農工大) N 分野 P. 56	分散システム管理と運用 吉浦 紀晃 (埼玉大) L 分野 P. 54	センサ応用と無線リソ ース管理 村松 茂樹 (KDDI 研) M 分野 P. 56	ビジネスモデリング 荻野 正 (三菱電機インフォメ ーションテクノロジー) O 分野 P. 57
17:45 - 19:30 懇 親 会				
教育学 (4) 松田 洋 (日本工大) K 分野 P. 52	教育学習支援情報 システム 梶田 将司 (京大) N 分野 P. 56	セキュリティ実装 須賀 祐治 (インターネット イニシアティブ) L 分野 P. 55	安心・安全 柿崎 淑郎 (東理大) O 分野 P. 56	ライフ支援 伊藤 一成 (青学大) O 分野 P. 58
教育学 (5) 島川 博光 (立命館大) K 分野 P. 52	電子化知的財産・ 社会基盤 小向 太郎 (情報通信総合研究所) N 分野 P. 56			サービス・クラウド 石川 冬樹 (NII) O 分野 P. 58

講演論文集の内容

発行日 平成 24 年 8 月 21 日

講演論文集 第 1 分冊

査読付き論文

分野 A：モデル・アルゴリズム・プログラミング

分野 C：ハードウェア・アーキテクチャ

一般論文

分野 A：モデル・アルゴリズム・プログラミング

分野 B：ソフトウェア

分野 C：ハードウェア・アーキテクチャ

講演論文集 第 2 分冊

査読付き論文

分野 D：データベース

分野 E：自然言語・音声・音楽

分野 F：人工知能・ゲーム

分野 G：生体情報科学

一般論文

分野 D：データベース

分野 E：自然言語・音声・音楽

分野 F：人工知能・ゲーム

分野 G：生体情報科学

講演論文集 第 3 分冊

査読付き論文

分野 I：グラフィクス・画像

分野 J：ヒューマンコミュニケーション&インタラクション

分野 K：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

一般論文

分野 H：画像認識・メディア理解

分野 I：グラフィクス・画像

分野 J：ヒューマンコミュニケーション&インタラクション

分野 K：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

講演論文集 第 4 分冊

査読付き論文

分野 L：ネットワーク・セキュリティ

分野 M：ユビキタス・モバイルコンピューティング

分野 N：教育・人文科学

分野 O：情報システム

一般論文

分野 L：ネットワーク・セキュリティ

分野 M：ユビキタス・モバイルコンピューティング

分野 N：教育・人文科学

分野 O：情報システム

講演論文集 DVD-ROM

上記全論文およびプログラムを収録（著者、所属、キーワードによる索引付き）

会場別スケジュール

第1 イベント会場 (東館 2F 講堂 (体育館))			
日	時 間	内 容	
9月5日	13:00-13:50	FIT 学術賞 表彰式 FIT 運営委員長 挨拶 FIT2011 ヤングリサーチャー賞 表彰式 FIT2012 論文賞 表彰式 公益財団法人 船井情報科学振興財団 挨拶 FIT2012 船井ベストペーパー賞 表彰式 FIT2012 船井業績賞 表彰式 FIT2012 船井業績賞 受賞挨拶	
		FIT2012 船井業績賞受賞記念講演 【無料公開講演】	
		14:00-15:15 サイバーアシストからスマートシティへ：IT による社会のデザイン 中島 秀之 (公立はこだて未来大学 学長)	
		第2 イベント会場 (西館 B1F マルチメディアホール)	
		スマートフォン実世界センシング × コンピューティング	
9月4日	9:45-10:25	講演 1「Opportunistic CrowdSensing」 Nicholas Lane (マイクロソフトアジア研究所)	
	10:25-10:50	講演 2「モバイル AR プラットフォームの観光への応用」 岩本健嗣 (富山県大)	
	10:50-11:15	講演 3「バングラデシュと日本におけるヘルスケアセンシング」 井上創造 (九工大)	
	11:20-12:00	パネル討論「Challenges for Deployment of Mobile-Phone-Sensing」 司 会：戸辺義人 (青学大) パネリスト：Nicholas Lane (マイクロソフトアジア研究所), 岩本健嗣 (富山県大), 井上創造 (九工大), 岩井将行 (東大)	
		e-サイエンス：超大規模実問題に挑戦するアルゴリズムと計算技術 【無料公開講演】	
9月4日	13:00-13:03	代表者挨拶 加藤直樹 (京大)	
	13:04-13:26	講演 1「ビッグデータ時代における科学的課題への新たなアプローチ法」 西尾章治郎 (阪大)	
	13:27-13:49	講演 2「e-サイエンスに向けた革新的アルゴリズム基盤プロジェクトの紹介」 加藤直樹 (京大)	
	13:51-14:13	講演 3「東日本大震災後、節電時の首都圏電車ネットワーク混雑シミュレーション」 田口東 (中大)	
	14:14-14:35	講演 4「パーソナルゲノム時代に必要とされる情報科学とスーパーコンピュータ」 井元清哉 (東大)	
(火)	14:36-14:58	講演 5「次世代スパコン技術を用いた超大規模グラフ解析と実社会への応用」 藤澤克樹 (中大)	
	ビジネスで生きる機械学習技術		
	15:30-16:10	講演 1「テキストマイニングによる株価予測とファンドビジネスの展開」 羽室行信 (関学大)	
	16:10-16:50	講演 2「行動に注目したビッグデータからのモデル化とサービス工学」 本村陽一 (産総研)	
	16:50-17:30	講演 3「異常検知技術のビジネス応用最前線」 比戸将平 (Preferred Infrastructure)	
9月5日	HTML5 時代におけるサイバーワールドのインテグレーション		
	9:30-10:00	講演 1「HTML5 がもたらす世界 ～ W3C 側の立場から～」 一色正男 (神奈川工科大, 慶大, W3C)	
	10:00-10:30	講演 2「ウェブ制作現場からみた HTML5 への期待と現状」 村岡正和 (バスタタイムフィッシュ)	
	10:30-11:00	講演 3「Web マッシュアップと VR-AR をもちいた「多角的デジタルアーカイブズ」のデザイン手法」 渡邊英徳 (首都大)	
	11:10-12:00	パネル討論 司 会：井原雅行 (NTT) パネリスト：一色正男 (神奈川工科大, 慶大, W3C), 村岡正和 (バスタタイムフィッシュ), 渡邊英徳 (首都大)	
9月5日	高度 IT 資格制度「情報処理学会モデル」		
	15:30-15:50	講演 1「高度 IT 人材資格制度のビジョン」 旭寛治 (日立)	
	15:50-16:10	講演 2「高度 IT 資格の個人認証に関する情報処理学会モデル」 芝田晃 (三菱)	
	16:10-16:30	講演 3「外部組織に対する高度 IT 資格認証業務の委任に関する情報処理学会モデル」 掛下哲郎 (佐賀大)	
	16:30-17:30	パネル討論「情報系のプロフェッショナルコミュニティ構築に向けて」 司 会：旭寛治 (日立) パネリスト：芝田晃 (三菱), 掛下哲郎 (佐賀大), 重木昭信 (日本電子計算), 川島宏一 (佐賀県), 宮崎裕充 (日本 IBM)	
9月6日	データ活用型科学の将来展望 【無料公開講演】		
	9:40-10:25	講演 1「膨大なデータを取得する天文サーベイ観測」 岡村定矩 (法政大)	
	10:25-11:10	講演 2「ヴァーチャル天文台を実現する技術とサイエンス」 白崎裕治 (国立天文台)	
	11:10-11:55	講演 3「データ活用型科学」 大石雅寿 (国立天文台)	
	スパース信号処理の最前線		
(木)	13:00-13:45	講演 1「圧縮センシングの基礎」 和田山正 (名工大)	
	13:45-14:30	講演 2「圧縮センシングの L1 ノルム復元問題に関する理論」 竹田晃人 (東工大)	
	14:45-15:30	講演 3「連続信号のスパースサンプリング：標本数はどこまで減らせるか？」 平林晃 (山口大)	
	15:30-16:00	講演 4「カラー画像疎表現とそのカラー画像復元への応用」 齊藤隆弘 (神奈川大)	

第3 イベント会場 (東館 1F E105)		
日	時 間	内 容
9月4日(火)	第16回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト	
	13:00-13:05	開会挨拶 山田敬嗣 (NEC)
	13:05-13:30	概要説明・審査結果発表・入賞者表彰
	13:30-15:00	入賞者によるアルゴリズム紹介
9月5日(水)	15:00-16:00	講演「汎用的なパターン認識技術を活用して特殊な問題を解決してみよう」 堀田政二 (東京農工大)
	生体・感覚情報計測技術の基礎	
	9:30-9:40	趣旨説明
	9:40-10:10	講演1「3D観察時の眼球運動」 水科晴樹 (NICT)
	10:10-10:40	講演2「視覚情報処理戦略の可視化：classification image を用いた自閉症者と定型発達者の顔認知の比較」 永井聖剛 (産総研)
	10:40-11:10	講演3「乳児期の行動および脳機能計測」 渡辺はま (東大)
	11:10-11:40	講演4「身体性入力としてのベクション」 妹尾武治 (九大)
	11:40-12:00	総合討論
	情報学研究における質的アプローチの可能性を探る	
	15:30-15:40	趣旨説明
	15:40-16:10	講演1「アクションリサーチの魅力と責任」 矢守克也 (京大)
	16:10-16:40	講演2「構造構成主義からみた質的研究のエッセンス」 西條剛央 (早大)
9月6日(木)	世界初、統一的评价基準に基づく電子透かしコンテストー 昨今の電子透かし技術の実力や如何に！	
	9:30-9:35	開会挨拶 馬場口登 (阪大)
	9:35-10:00	概要説明・審査結果発表・入賞者表彰 岩村恵市 (東理大)
	10:00-11:30	入賞者によるアルゴリズム・性能紹介
	11:30-11:45	審査講評 (画像) 合志清一 (工学院大)
	11:45-12:00	審査講評 (音響) 西村明 (東京情報大)
	安心なスマートフォンの未来を考える～スマートフォン/タブレットの威力とセキュリティ対策について【パネルセッション】	
	13:00-15:00	司 会：加藤雅彦 (インターネットイニシアティブ)
		パネリスト：高倉弘喜 (名大), 安齋潤 (パナソニックモバイルコミュニケーションズ),
		高橋郁夫 (BLT 法律事務所), 鶴飼裕司 (フォティーンフォティ技術研究所),
		磯原隆将 (KDDI 研), 杉山俊春 (DeNA)

一般講演会場 (西館 2, 3F 各講義室 (A～J 会場) 東館 1F 各講義室 (K～Q 会場))		
4 日 (火)	9:30 ～ 12:00, 13:00 ～ 17:30	5 日 (水) 9:30 ～ 12:00, 15:30 ～ 17:30
6 日 (木)	9:30 ～ 12:00, 13:00 ～ 16:00	

展示会会場 (東館 1F マルチユースホール)		
4 日 (火)・5 日 (水)	9:30 ～ 17:00	6 日 (木) 9:30 ～ 15:00

懇親会会場 (東館 B1F 生協食堂)		
5 日 (水)	17:45 ～ 19:30	

イベント企画概要

FIT2012 船井業績賞受賞記念講演

サイバーアシストからスマートシティへ：IT による社会のデザイン

9月5日（水）14:00-15:15 [第1 イベント会場（東館 2F 講堂（体育館））]

[講演概要]

函館の公共交通網を中心にした、老人にも住みやすい街を IT で実現する取組として「スマートシティはこだて」が始動している。私が産総研時代に「サイバーアシスト」として開始した IT の社会応用が、今函館で実現しようとしている。これら新旧の構想の概要を、その思想的背景としての構成的情報学の考え方や社会のデザインとの関係を含めて語りたい。キーワードは「情報は物質、エネルギーに並ぶ第三の世界観」、そして「デザインがすべて」。日本が IT で世界に貢献するためには日本独自の世界観を重視すべきであり、それがデザインやサービス工学につながっていることを理解すべきである。



中島 秀之（はこだて未来大）

1983 年、東大情報工学専門課程修了（工学博士）。同年、電総研入所。2001 年より産総研サイバーアシスト研究センター長。2004 年より公立はこだて未来大学学長。認知科学会元会長、ソフトウェア科学会元理事、人工知能学会元理事・フェロー、情報処理学会元副会長・フェロー。マルチエージェントシステム国際財団元理事、日本工学アカデミー会員、電子情報通信学会会員、日本学術会議連携会員。未踏ソフトウェア元 PM、さがけ総括。

スマートフォン実世界センシング × コンピューティング

9月4日（火）9:30-12:00 [第2 イベント会場（西館 B1F マルチメディアホール）]

[セッション概要]

センサと通信機能を兼ね備えたコンピュータとして、スマートフォンの魅力が増してきている。本シンポジウムでは、国内だけでなく、広くアジアでの展開ということも視野に入れて、スマートフォンを用いたセンシングとコンピューティングの新たな価値の創造を議論する。提案や試用レベルを超えて、観光やヘルスケアといった現場で実運用を経験された講師陣に現状をお話いただき、本格的な活用に向けて埋めなければならない課題を整理する。



司会：戸辺 義人（青学大）

青山学院大学理工学部情報テクノロジー学科教授。株式会社東芝、慶應義塾大学、東京電機大学を経て、2012 年 4 月から現職。群馬県館林市を中心に、センサネットワーク、携帯電話センシングの実適用に取り組んでいる。

● [9:45-10:25] 講演 (1) 「Opportunistic CrowdSensing」

[講演概要]

Opportunistic Crowd Sensing is becoming a powerful tool for collecting various aspects of our society. In this talk, I will cover (1) a system aspect - lowering the energy cost of crowdsourcing sensor data, and (2) a large deployment using our system to classify places/store into categorize places.



Nicholas Lane（マイクロソフト）

Nicholas Lane is a researcher at Microsoft Research Asia. He is an experimentalist who likes to build prototype smartphone sensing systems based on well-founded computational models. Lane has a PhD in computer science from Dartmouth College. His dissertation pioneered community-guided techniques for learning human behavior models better able to cope with real-world conditions containing diverse user populations.

● [10:25-10:50] 講演 (2) 「モバイル AR プラットフォームの観光への応用」

【講演概要】

本講演では、モバイル AR プラットフォームを用いた観光への応用事例について述べる。近年、AR(拡張現実)が注目されている。特に、スマートフォンの普及とこれらの端末で利用可能な AR プラットフォームが出現した事により、製品プロモーションや観光分野などへの応用が急速に進められている。また、画像認識を用いたマーカレスな AR プラットフォームが出現し、従来より自然な AR 表現が可能になりつつある。我々は、富山県氷見市をはじめとした自治体と連携して、スマートフォン向けまち歩きアプリケーションを開発し、実証実験を行っている。これらの実験の概要や結果について詳解し、成果や問題点、モバイル AR の現状などについて講演を行う。


岩本 健嗣 (富山県大)

2000 年慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了。2005 年慶應義塾大学より博士 (政策・メディア)。現在、富山県立大学工学部 情報システム工学科講師。ユビキタスコンピューティング、AR (拡張現実)、センサ応用アプリケーション等の研究に従事。

● [10:50-11:15] 講演 (3) 「バングラデシュと日本におけるヘルスケアセンシング」

【講演概要】

本講演では、人々の日常の行動を把握し、生活の場における情報支援を安全に効率良く行うための、センサ技術を用いた予防医療システムおよび、スマートフォンを用いた行動認識に関する動向を述べる。我々は、日常生活情報をセンサネットワークで把握し適切なヘルスケアサービスを実現することをめざし、これまでに 100 人規模のメタボリック症候群や糖尿病患者で実験を行い、効果を示した。現在、心臓病棟における半年以上のセンサデータを医療工程データと関連づけた解析に取り組んでいる。さらには、バングラデシュにおける一万人規模の予防医療実験を開始した。また、これらの活動から派生した課題として、スマートフォンを用いた人間行動認識の研究を行っており、人間行動センシングコンソーシアム HASC の活動にも大きく寄与した。講演では、これら一連のヘルスケアセンシングの話題と、スマートフォン行動認識の最新の話題を提供する。


井上 創造 (九工大)

1997 年九州大学工学部情報工学科卒。2002 年九州大学大学院システム情報科学研究科博士後期課程修了・博士 (工学)。2002 年より同システム情報科学研究院・システム LSI 研究センター助手。2006 年より同附属図書館研究開発室助教授 (准教授)。2009 年より九州工業大学大学院工学研究院基礎科学研究系准教授。現在に至る。Web/ ユビキタス情報システム、スマートフォンを用いた人間行動認識、センサ情報システムの医療応用、個人情報保護に興味を持つ。現在までに 250 人規模の約 40,000 件の行動情報を集め、解析を進めている。IEEE、ACM、日本データベース学会、情報処理学会、電子情報通信学会会員。

● [11:20-12:00] パネル討論 「Challenges for Deployment of Mobile-Phone-Sensing」

【討論概要】

本パネルでは、講演者に再度ご登壇いただき、講演の中では触れることのできなかった実際の詳細に踏み込み、スマートフォンを用いたセンシングを展開の仕方について議論する。

なお、本パネルは、日本語で補足をしながら、英語で進める。

司会：戸辺 義人 (青学大)

写真および略歴は「スマートフォン実世界センシング × コンピューティング」司会紹介を参照。

パネリスト：Nicholas Lane (マイクロソフト)

写真および略歴は「講演 (1) Opportunistic CrowdSensing」を参照。

パネリスト：岩本 健嗣 (富山県大)

写真および略歴は「講演 (2) モバイル AR プラットフォームの観光への応用」を参照。

パネリスト：井上 創造 (九工大)

写真および略歴は「講演 (3) バングラデシュと日本におけるヘルスケアセンシング」を参照。



パネリスト：岩井 将行（東大）

2004年慶應義塾大学大学院博士課程政策・メディア研究科政策・メディア学専攻修了、その後慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科および東京電機大学未来科学部にてプロジェクト教員。2009年4月より東京大学生産技術研究所 助教。センサネットワーク、携帯電話を用いたセンシング、移動軌跡などの研究に従事。

e-サイエンス：超大規模実問題に挑戦するアルゴリズムと計算技術 9月4日（火）13:00-15:00 [第2 イベント会場（西館 B1F マルチメディアホール）]

【セッション概要】

従来手法では解決不可能な大規模問題を数理解析に基づく革新的なアルゴリズムによって解決することを目的とし、「e-サイエンスに向けた革新的アルゴリズム基盤」は、学術会議の大型施設計画・大規模研究計画マスタープラン 2011 の計画の一つとして採用された。本計画は、物理、化学、生物などの科学、土木、建築、機械などの工学、交通、経済・経営の諸分野や地球規模の諸問題（環境、エネルギー、バイオ）及び突発的事態（防災、避難及び復興計画）への具体的かつ現実的な対応を目標とし、この目標達成のために、アルゴリズム科学と実問題の数理的モデル化による解決を目指す共同研究拠点を作ることを目指している。本シンポジウムでは、そのための取り組み、重要課題、基礎技術を紹介し、議論を通じて、プロジェクトの深化の方向を探るとともに、学会員の啓蒙ならびに一般参加者への広報をはかる。



司会：伊藤 大雄（電通大）

1985年京大・工・数理卒。87年大学院修士課程了。95年京都大学博士（工）取得。NTT研究所、豊橋技術科学大学、京都大学を経て2012年より電気通信大学大学院情報理工学研究科、教授。離散アルゴリズム、離散数学、娯楽数学の研究に従事。著書「パズル・ゲームで楽しむ数学」森北出版、「ネットワーク設計理論」（岩波書店、共著）、「離散数学のすすめ」（現代数学社、共編著）等。電子情報通信学会、日本OR学会、情報処理学会、EATCS 会員。

● [13:00-13:03] 代表者挨拶



加藤 直樹（京大）

1973年京都大学工学部卒業。京都大学工学研究科博士課程中退。同年大阪成人病センター勤務。1981年神戸商科大学商経学部管理科学科講師。助教授、教授を経て1997年より現職。建築情報システム学、計算幾何学、組合せ最適化の研究に従事し、最近はとくに組合せ剛性理論、最適避難計画に興味を持っている。1994年情報処理学会山下記念研究賞受賞、2008年情報処理学会フェロー。情報処理学会、電子情報通信学会、ACM、建築学会会員。

● [13:04-13:26] 講演（1）「ビッグデータ時代における科学的課題への新たなアプローチ法」

【講演概要】

高度情報化社会の進展に伴い、デジタルデータが爆発的に増大するビッグデータ（情報爆発）時代が到来した。世界のデジタルデータの量は、民間調査機関の推計によれば、2020年には、約35ゼタバイト（2010年度時の約35倍）へ拡大する見込みである。このため、ビッグデータを効果的・効率的に収集・集約・解析し、革新的な科学的手法により知識発見や新たな価値を創造することの重要性が、世界的に認識されてきている。第一の科学的手法である経験科学（実験）、第二の科学的手法である理論科学、第三の科学的手法である計算科学（シミュレーション）と並び、e-サイエンス（データ中心科学）は第四の科学的手法と言われ、ビッグデータ時代における科学の新たな地平を拓く方法論として注目されている。本講演では、ビッグデータ時代における科学的課題への新たなアプローチ法としてのe-サイエンスについて概説する。特に、計算科学とe-サイエンスにおけるデータ処理の相違などを論じつつ、この新たなアプローチにおける技術課題と同時に革新的アルゴリズムの重要性について述べる。



西尾 章治郎（阪大）

1975年京都大学工学部数理工学科卒業。1980年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。工学博士。京都大学助手、大阪大学助教授を経て、1992年大阪大学工学部教授、2002年大学院情報科学研究科教授となり、現在に至る。その間、大阪大学サイバーメディアセンター長、大学院情報科学研究科長、理事・副学長を歴任。データベースシステムにおけるデータおよび知識管理に関する研究に従事し、紫綬褒章、立石賞功績賞、電子通信学会業績賞、日本データベース学会功労賞、情報処理学会功績賞などを授与される。日本学術会議会員。IEEE、情報処理学会、電子情報通信学会フェロー。

● [13:27-13:49] 講演 (2) 「e-サイエンスに向けた革新的アルゴリズム基盤プロジェクトの紹介」

【講演概要】

学術会議が昨年9月に出した「学術の大型施設計画・大規模研究計画 マスタープラン 2011」に採択された大規模研究計画「e-サイエンスに向けた革新的アルゴリズム基盤について、その概要をお話します。本研究計画は、従来手法では解決不可能な大規模問題を数理解析に基づく革新的なアルゴリズムによって解決することを目指すものです。科学、工学の諸問題、環境、エネルギー、バイオなどの地球規模の問題及び防災、避難などの突発的事態への対応を含む多様な問題を対象とします。この目標に向けて、共同研究拠点を作り、アルゴリズムの設計と応用の科学的体系化を構築し、ソフトウェア実装技術やスーパーコンピューティング技術を融合した問題解決手法の開発と標準化を行い、諸分野に提供する体制を確立します。これによって、コンピュータの利用を行うすべての分野での学術の発展を加速し、文明の進歩の創生に寄与します。以上の内容をできるだけわかりやすくご説明いたします。

加藤 直樹（京大）

写真および略歴は「代表者挨拶」を参照。

● [13:51-14:13] 講演 (3) 「東日本大震災後、節電時の首都圏電車ネットワーク混雑シミュレーション」

【講演概要】

首都圏電車路線全体を対象として、列車ごとの運行、乗客の乗降、乗り換え、時刻を明示的にシミュレートするモデルを作成し、朝短時間生ずるラッシュに対して、電車利用のソフト的な改善策によって混雑緩和を目指す場合に、その効果を精度よく評価できる方法を提案する。東急田園都市線の急行格下げ、震災後節電時の計画運転に関する提案はその応用である。電車の混雑を和らげる決め手は分散乗車である。ここでは、ネットワーク全体を対象として、分散乗車の詳細なシミュレーションを行い、その効果が実現目標として提示できること、混雑に著しい偏りが生じてないかを明示できることを示す。各事業者が営業する範囲内で閉じた計画を立てたのでは、電車混雑への影響が十分把握できず、利用者に不公平感が生ずる可能性があること、したがって、事業者ごとの電力削減目標を基にした運転計画を総合してネットワーク全体の混雑を計算し、最初の削減目標を調整するというプロセスが必要であると考えている。



田口 東（中大）

1951年千葉県生まれ。1974年東京大学工学部卒業（工学博士）。三菱重工業（株）勤務の後、東京大学、山梨大学勤務を経て、1992年中央大学工学部教授、現在にいたる。その間、コーネル大学在学研究、理工学部長、横浜山手女子学園理事長。人の移動を数理モデルで表現することに関心を持っている。プログラミング大好き人。

● [14:14-14:35] 講演 (4) 「パーソナルゲノム時代に必要とされる情報科学とスーパーコンピュータ」

【講演概要】

最先端シーケンシング技術の発展に伴い、来年にも個人のゲノムが1000ドルのコスト、1日で得られるようになります。このパーソナルゲノムを解釈した情報に基づく個別化医療が米国ではすでに始まっています。このヒトゲノムデータを解釈するためのデータ解析には、膨大な計算リソースが必要となります。我々は、東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターに設置されたスーパーコンピュータ（ピーク性能225 Tera Flops、4PB高速ストレージ）を駆使し、情報解析という立場から医学者・生物学者らと密に連携し、このパーソナルゲノム医療を進めるための研究を行っています。本報告では、パーソナルゲノム医療の現状と取り組むべき課題について話をさせていただきます。



井元 清哉（東大）

2001年九州大学大学院数理学研究科博士課程修了、博士（数理学）。東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター博士研究員、助手、助教授を経て07年より准教授。ヒトゲノムデータなど高次元大規模データから知識発見・予測を行うための統計学理論、方法論の研究に従事。日本バイオインフォマティクス学会、日本統計学会、応用統計学会、日本計量生物学会 各会員。

● [14:36-14:58] 講演 (5) 「次世代スパコン技術を用いた超大規模グラフ解析と実社会への応用」

【講演概要】

新しいスーパーコンピュータの応用として大規模なグラフ解析やデータ処理が注目を集めている。グラフ解析の応用分野としては大規模災害等で突発的に発生しリアルタイムに状況が変化し早急な解決が望まれる諸問題に対する対応（避難誘導計画等）や社会公共政策や企業経営等のためソーシャル・ネットワーク等の大規模データの有効活用等が想定されているが、非常に計算量やデータ量さらに電力使用量などの規模が大きく従来の手法では処理が困難である。本講演ではポストベタスケールスーパーコンピュータ（次世代スパコン）における最重要カーネルのひとつである超大規模グラフ処理を実現するための JST CREST プロジェクトを紹介する。具体的には大規模グラフデータに対するリアルタイムストリーミング処理、計算量とデータ移動量を考慮したグラフ最適化アルゴリズム、ストレージの階層性を考慮した大規模グラフデータストアなどの研究が含まれる。



藤澤 克樹（中大）

1970 年山梨県生まれ。1993 年早稲田大学理工学部工業経営学科卒。1998 年東京工業大学大学院情報理工学研究科数理・計算科学専攻博士課程修了：博士（理学）。同年から京都大学大学院工学研究科建築学専攻助手などを経て、2012 年中央大学理工学部経営システム工学科教授。大規模最適化問題に対するアルゴリズムやソフトウェアの研究に従事し、半正定値計画問題（SDP）の超大規模計算に対する世界記録保持者。2011 年 10 月より JST CREST ポストベタスケールシステムにおける超大規模グラフ最適化基盤：研究代表者。

ビジネスで生きる機械学習技術

9 月 4 日（火）15:30-17:30 [第 2 イベント会場（西館 B1F マルチメディアホール）]

【セッション概要】

近年ビッグデータ革命と言われるように、Google、Amazon、Apple、Facebook、Twitter などの企業では、機械学習・データマイニング技術を用いて、大規模なデータ解析を行うことにより大きな成果を挙げている。それに伴って、国内の企業でも、大学・研究機関との協働による、業務改善の機運が高まっているが、アカデミックの研究者にとって、実際に現場で力を発揮するのは、様々な要因から簡単なことではない。本企画では、実際に企業とのプロジェクトを推進しておられる講演者をお招きして、現場で機械学習技術を応用する際の、重要なポイントや、苦労話などを共有し、産官学共同に興味のある研究者・学生の皆さんの参考になる議論を行いたい。



司会：津田 宏治（産総研）

1994 年京都大学工学部情報工学科卒業。1996 年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。1998 年同博士課程修了、電子技術総合研究所入所。2000 年独 GMD FIRST 客員研究員。2003-2004 独 Max Planck 研究所研究員。2006-2008 同チームリーダー。博士（工学）。現在、産業技術総合研究所生命情報工学研究センター機械学習研究班長、主任研究員。JST-ERATO 湊離散構造処理系プロジェクトサブリーダー兼任。

● [15:30-16:10] 講演 (1) 「テキストマイニングによる株価予測とファンドビジネスの展開」

【講演概要】

近年、web 上で入手可能な各種テキストデータ（ニュース記事、ブログ、Twitter など）を解析することで株価を予測しようとする動きが活発化しており、実際にファンドの運用にまで至っている例もある。このような背景のなか、我々はこれまでに、新聞記事やニュース記事をテキストマイニングすることで市場センチメント（市場心理）を測定し、株価変動との関係を明らかにするための研究を進めてきた。本発表では、以下に示す研究トピックスおよびビジネス応用について解説する。

- ・ニュース記事によって測定した市場センチメントと株価の関係
- ・証券アナリストによる格付け変更の発表が株価に与える影響について
- ・研究結果に基づくトレーディングシミュレーション
- ・コンピュータサイエンスの成果を産業に還元するファンドビジネスへの取り組み



羽室 行信（関西学院大）

1994 年神戸商科大学経営学研究科博士後期課程単位取得満期退学、修士（経営学）、関西学院大学経営戦略研究科准教授、(株) Magne-Max Capital Management、COO、Erato 湊離散構造処理系プロジェクト研究推進委員。データマイニングソフトウェア MUSASHI、KGMOD の開発に携わる。2003 年人工知能学会研究会優秀賞、2005 年および 2008 年に日本 OR 学会事例研究賞など受賞多数。

● [16:10-16:50] 講演 (2) 「行動に注目したビッグデータからのモデル化とサービス工学」

【講演概要】

ビッグデータの蓄積、分析技術が確立されるにしたがって、その活用に関心が移りつつあるが、人の行動や社会の活動から生成されるビジネス領域のデータには人の意志決定が介在するために不確実性が高く、大規模データの活用のためには独特の課題がある。本講演では人の意志決定が介在するサービスや生活の領域における大規模データの活用技術の事例を通して、潜在意味解析やベイジアンネットワークなどの機械学習技術の適用方法と、サービス現場で大量に生成されているID-POSデータやサービス現場に埋め込まれたインタラクティブシステムなどのデータ活用事例やサービス工学研究の現状と展望について議論する。



本村 陽一 (産総研)

1993年通産省工業技術院電子技術総合研究所に入所。2003年同所デジタルヒューマン研究センター主任研究員、2008年サービス工学研究センター大規模データモデリング研究チーム長。2011年サービス工学研究センター副研究センター長兼務、博士(工学)。2005年～2010年モダライズ(株)取締役CTO兼務。2010年～統計数理研究所客員教授、東工大連携准教授兼務。ベイジアンネット、サービス工学などの研究に従事。

● [16:50-17:30] 講演 (3) 「異常検知技術のビジネス応用最前線」

【講演概要】

世の中で得られる知見の多くは、何らかの観測対象の時間変化や、観測対象グループにおける珍しい個体の出現を捉えたものと考えられます。特に急速な変化や異常な個体の検出するための異常検知技術は、ビジネスにおけるデータ収集・蓄積インフラの浸透とともに応用が広がっています。従来は、蓄積されたデータを目で見て確認する、閾値を設けてアラートを出す、あるいは経験に基づいて異常パターンをルール化する、などのアプローチが主流でした。しかしながら、収集できるデータの変数と量が飛躍的に増大する中で、比較的単純かつ過去に起きた異常のみ扱えるルールベース手法では不十分である場合が増えてきました。そこで最近研究と応用が進んでいるのが統計ベースと言われる最新のデータ解析技術を使ったアプローチであり、機械学習が中心的な役割を果たしています。その強みは未知の異常も扱えること、大量のデータを効率的に扱えること、可視化では人間が捉えられない複雑な隠れた異常も検出可能であることなどがあります。本講演では、実世界の異常検知問題を分類したあと、それぞれにおいて最近用いられている代表的な機械学習手法を説明し、実際のビジネスケースを紹介します。



比戸 将平 (Preferred Infrastructure)

京都大学大学院情報学研究所修士課程修了。2006年4月、日本アイ・ビー・エム株式会社入社。東京基礎研究所にてデータマイニング、機械学習の研究開発に従事。2012年4月より現職。

HTML5 時代におけるサイバーワールドのインテグレーション

9月5日(水) 9:30-12:00 [第2イベント会場 (西館 B1F マルチメディアホール)]

【セッション概要】

新しいウェブページ記述言語であるHTML5の登場により、ウェブアプリケーションの可能性が広がっている。今後、インターネット上に形成されるサイバーワールドも、HTML5で記述されたウェブアプリケーションとして構築される可能性が高い。そこで、本特別企画では、ウェブ技術の標準化団体であるW3Cスタッフの方、HTML5を先取りされているエンジニアの方、および、ウェブアプリケーション構築の実績者の方をお呼びし、高度なグラフィック表現の他、WebSocket機能によるインタラクティブ性、WebStorage機能によるデータ活用、等を中心に、HTML5時代のサイバーワールドインテグレーションの技術要件および応用可能性について議論を行う。



司会：井原 雅行 (NTT)

1994年東工大・修士了。同年、NTTヒューマンインタフェース研究所入所。人間の好みのモデル化、価値観共有、ヒューマンアフォーダンスの研究等に従事。2002-2003年加国New Media Innovation Centerおよびブリティッシュコロンビア大学にて客員研究員。現在NTTサービスエボリューション研究所主幹研究員。工学博士。ACM、電子情報通信学会、情報処理学会、画像電子学会各会員。

● [9:30-10:00] 講演 (1) 「HTML5 がもたらす世界 ～ W3C 側の立場から～」

【講演概要】

現在注目を集める HTML5。ウェブ標準の基幹仕様である HTML は、なぜ今 HTML はこのような形でバージョンアップしなければならなかったのか。その背景には、ウェブというプラットフォームのもつ役割の変化と、W3C がウェブに対して抱いている夢の2つがあります。HTML5 策定を通じて W3C はウェブをどのように進化させたいのか。そして、HTML5 は W3C においてどのような形で開発、策定されているのか、W3C はウェブの進化においてどのような役割を果たしているのかについて解説します。



一色 正男 (神奈川工科大)

1982 年 東京工業大学理工学研究科修士卒業。2009 年 1 月より、慶應義塾大学特任教授として、国際規格 W3C (World Wide Web Consortium) の Site Manager として就任。(株) 東芝で約 30 年、新規技術開発と新規事業開発を中心に働く。特に、インターネット及び Web 活用事業について、世界初のホーム IT システム「フェミニティシリーズ」の事業責任者として、企画から立ち上げを担当。世界初の Bluetooth 無線対応の IP 家電を商品化し、Web 端末からコントロールできる、新時代の商品サービスを提供した。2011 年より神奈川工科大学教授。W3C 運営委員。情報処理学会会員、同 CDS 研究会幹事。機械学会会員、ECHONET コンソーシアム 2008 運営委員長、現フェロー。経済産業省 HEMS タスクフォース座長。著書：「これからの日本が世界で戦うために必要なこと」By デジタル (電子書籍)。

● [10:00-10:30] 講演 (2) 「ウェブ制作現場からみた HTML5 への期待と現状」

【講演概要】

HTML5 の標準化と Web ブラウザへの実装が進み、現在のウェブ制作の現場では HTML5 でのコンテンツ制作案件が多数見受けられるようになりました。これは社会的に HTML5 コンテンツに対する期待とニーズの現れだと感じます。一方で、制作現場でも HTML5 に対する期待とともに、実際の制作に対する課題が散見するようにもなりました。その期待と実状の差はクライアントとの間だけでなく制作現場の中でも格差が存在するケースもあるようです。本講演ではそのような HTML5 に対する期待と現状をいち制作者の視点からお話いたします。



村岡 正和 (バスタ임フィッシュ)

1975 年生まれ。鳥取県出身。神戸を中心に Web システムの開発、IT 系の技術コンサルタントとして活動中。システム開発はもちろんのこと、システム設計、社内システム導入提案等を業務としている。経営者に理解しやすい IT とは何か? を日々模索中。HTML5-WEST.jp の代表として西日本で HTML5 関連の話題を盛り上げる活動を行っているほか、京都 GTUG スタッフ、CSS Nite in OSAKA スタッフ、神戸 IT フェスティバル実行委員など関西圏のさまざまなコミュニティ活動に関わって地域の IT を活性化できたらいいなと思っている。

● [10:30-11:00] 講演 (3) 「Web マッシュアップと VR-AR をもちいた「多元的デジタルアーカイブズ」のデザイン手法」

【講演概要】

本講演では、既存のデジタルアーカイブ群とユーザコミュニティを Web マッシュアップにより一元化し、PC とスマートフォンの VR-AR (仮想現実・拡張現実) インターフェイス上に表示する「多元的デジタルアーカイブズ」のシステム、インターフェイスのデザイン手法について、実装例「ヒロシマ・アーカイブ」などの実演を通して述べる。この「多元的デジタルアーカイブズ」のユーザは、複数のデジタルアーカイブを横断的に閲覧しながら、コンテンツ相互の時空間的なつながりや身近な場所との関わりを把握し、アーカイブ群の内容について、より深く知ることができる。さらに「多元的デジタルアーカイブズ」の制作過程において、地元住民とのワークショップを通じて形成される、世代と立場を超えた「記憶のコミュニティ」のありようについても論じる。



渡邊 英徳 (首都大)

情報アーキテクト。デジタル地球儀などを応用した情報アーキテクチャのデザイン、アート&エンターテインメントを研究。「ヒロシマ・アーカイブ」「東日本大震災アーカイブ」「Nagasaki Archive」「Tuvalu Visualization Project」などを発表。「沖縄平和学習アーカイブ」では総合監修を務める。1996 年、東京理科大学理工学部建築学科卒業 (卒業設計賞受賞)、1998 年同大学院修士課程修了。2001 年より株式会社フォトン代表取締役社長 (現スーパーバイザー兼取締役)。2008 年より首都大学東京システムデザイン学部准教授。

● [11:10-12:00] パネル討論

[討論概要]

HTML5 はアプリケーションの在り方を変えつつある。アプリケーションを構成する要素として、グラフィック表現、インタラクティブ性、データ活用の面から HTML5 のもつ性能に着目し、これらがサイバーワールド構築にもたらす影響について議論を行う。グラフィック表現については、高度なリアルタイムテクスチャマッピングや最近流行の AR (Augmented Reality) 等を中心に、GPU との関係性やレンダリングエンジンの可能性まで広く取り上げる。インタラクティブ性については、リアルタイム双方向通信を可能とする HTML5 の仕様「WebSocket」を取り上げ、これが操作性等の面からアプリケーション利用時のユーザエクスペリエンスに与える影響を議論する。データ活用については、ローカルストレージとオンラインストレージの効果的な使い分けに焦点を当て、プライバシー制御機能としての可能性の他、Linked Open Data の活用まで含めて議論する。

司会：井原 雅行 (NTT)

写真および略歴は「HTML5 時代におけるサイバーワールドのインテグレーション」司会紹介を参照。

パネリスト：一色 正男 (神奈川工科大)

写真および略歴は「講演 (1) HTML5 がもたらす世界 ～ W3C 側の立場から～」を参照。

パネリスト：村岡 正和 (バスタimeフィッシュ)

写真および略歴は「講演 (2) ウェブ制作現場からみた HTML5 への期待と現状」を参照。

パネリスト：渡邊 英徳 (首都大)

写真および略歴は「講演 (3) Web マッシュアップと VR-AR をもちいた「多元的デジタルアーカイブズ」のデザイン手法」を参照。

高度 IT 資格制度「情報処理学会モデル」

9月5日 (水) 15:30-17:30 [第2 イベント会場 (西館 B1F マルチメディアホール)]

[セッション概要]

情報処理学会では、高度な情報系人材の社会的地位の向上を図るとともに、IT に関連する様々な課題を包括的に解決するために、IT スキル標準や国際的な通用性も考慮して高度 IT 資格制度「情報処理学会モデル」を立案した。IS ユーザー (企業、地方自治体、政府機関等) は高度な人材にシステム開発を委託したいとの強いニーズを持つが、IT ベンダーが提示した人材を自ら評価できないという問題を抱えている。例えば、このような状況において、高度 IT 資格は人材の能力を可視化・証明するツールとして価値が高い。本シンポジウムでは、高度 IT 資格制度および情報系のプロフェッショナルコミュニティの構築を通じて社会的な貢献を最大化するための方策について議論する。



司会：掛下 哲郎 (佐賀大)

九州大学情報工学科卒業。同博士後期課程修了。工学博士。現在、佐賀大学知能情報システム学科准教授。2001 年度より学科の教育システムの構築を推進し、2003 年度に JABEE 認定を受けた。2008 年度より高度 IT 資格制度および IT 専門職大学院等を対象とする認証評価機関の構築に取り組んでいる。データベースおよびソフトウェア工学を専門とする。情報処理学会、電子情報通信学会等会員。

● [15:30-15:50] 講演 (1)「高度 IT 人材資格制度のビジョン」

[講演概要]

情報システムは現代社会の基本的なインフラとなっており、それを支える IT 人材の責務は大きい。わが国にはおよそ 100 万人の IT 人材がいるが、IT を活用した社会の高度化を妨げる様々な課題に包括的に取り組むためには、プロの専門家集団としての情報系プロフェッショナルコミュニティを形成する必要がある。コミュニティの構成員が自律的に質の向上を図ることによって IT に対する社会の期待に応え、コミュニティとしても、高品質な情報サービスの提供、情報サービス産業の国際的競争力の向上、IT 人材の社会的地位の向上等に取り組むことができる。情報処理学会では、高度な IT 人材の能力を証明するとともに、プロフェッショナルコミュニティをリードする高度 IT 人材の可視化にも役立つ資格制度の構築を目指している。本資格制度は、企業、政府、大学、既存のプロフェッショナルコミュニティ等が連携した大規模なエコシステムの中核をなすものである。本講演では、国内外の動向を踏まえた高度 IT 資格制度の意義と、我々のビジョンについて述べる。



旭 寛治 (日立)

1971 年 (株) 日立製作所入社。同社基本ソフトウェア本部長、ストレージソリューション本部長、(株) 日立テクニカルコミュニケーションズ代表取締役等を歴任。情報処理学会関係では 1999 年理事、2005 年副会長。IT プロフェッショナル委員長、高度 IT 人材資格検討 WG 座長として、高度 IT 資格制度の検討を推進。他にア krediteーション委員会副委員長、コンピュータ博物館小委員会主査等。情報処理学会フェロー。

● [15:50-16:10] 講演 (2) 「高度 IT 資格の個人認証に関する情報処理学会モデル」

【講演概要】

IT 人材の可視化の手段としては、ITSS のレベル 1 ～ 4 に対応した情報処理技術者試験がある。しかし、高度 IT 人材に該当する ITSS レベル 4 については、試験で評価される知識に加えて、実務での総合的な能力発揮や責務遂行の実績、および技術の発展や後進の育成等のプロフェッショナルとしての実績が要求される。情報処理学会では、情報処理技術者試験の合格を前提に、実務での実績やプロフェッショナル活動を評価して ITSS レベル 4 の基準を満たす高度 IT 人材を認証する資格制度を設計した。この資格制度は、国際的にも通用するよう、IFIP の IP3 のガイドラインにも準拠するようにした。本講演では、この資格制度の概要を説明する。


芝田 晃 (三菱)

1978 年 3 月東京大学情報工学修士課程修了。同年 4 月三菱電機 (株) 入社。汎用計算機の OS 開発に従事。2001 年より情報処理学会コンピュータ博物館実行小委員会委員。平成 16 年度学会活動貢献賞受賞。2001 年より CMMI を用いたプロセス改善に従事。2005 年 CMMI リード・アプレイザ、CMMI 入門インストラクタ資格取得。2008 年度より情報処理学会高度 IT 人材資格検討 WG メンバ、2009 年度より同学会高度 IT 人材資格制度設計 WG 座長。

● [16:10-16:30] 講演 (3) 「外部組織に対する高度 IT 資格認証業務の委任に関する情報処理学会モデル」

【講演概要】

我が国の情報系人材は IT 提供側、IT 利用側を合わせて 103 万人と推定されている。また、高度 IT 資格制度の対象となる ITSS レベル 4 相当以上の情報系高度人材は約 27 万人である。このような規模の資格認証を実施するための協力体制を構築するためには、高度 IT 人材育成に関する各種の取り組みを連携させるエコシステムの枠組みが不可欠である。本講演では、高度 IT 資格の個人認証を目的とした企業の社内資格制度や既存の資格制度を対象とする認定モデルを提案する。大手企業等が本モデルに従って認定を取得することにより、高度 IT 資格の認証業務の一部を委任することができ、個別の資格制度の相互同等性および国際的通用性を第三者認定によって保証できる。また、大規模なエコシステムを効率的に構築できるため、情報系プロフェッショナルコミュニティを構築し、その中核メンバーを明確化する上でも合理的である。

掛下 哲郎 (佐賀大)

写真および略歴は「高度 IT 資格制度「情報処理学会モデル」」司会紹介を参照。

● [16:30-17:30] パネル討論 「情報系のプロフェッショナルコミュニティ構築に向けて」

【討論概要】

情報系人材は情報基盤の構築・運営を通じて社会や組織の命を握っていると言っても過言ではない。そのため、情報系のプロフェッショナルコミュニティの構築が強く期待されている。情報分野では、情報処理学会の他に、経済産業省・IPA、総務省、日本経団連、JISA、JUAS、日本技術士会等が情報系の高度な人材を育成するために様々な取り組みを行っているが、上述した規模のプロフェッショナルコミュニティを構築するためには、関連組織が互いに連携した協力体制を構築することが不可欠である。そのような協力体制を構築するためには、国際的に通用する高度 IT 資格制度およびそれを運営するための様々な取り組み (各種試験制度、資格認定、CPD、プロフェッショナル貢献など) を含むエコシステムを関連組織と協力して構築・運営することが必要である。

本パネル討論では、以上の問題意識に基づいて、関係者が自らの取り組みや、取り組みを通じて得られた知見を持ち寄り、相互に連携・寄与できるような体制を構築するための方策について議論する。

司会：旭 寛治 (日立)

写真および略歴は「講演 (1) 高度 IT 人材資格制度のビジョン」を参照。

パネリスト：芝田 晃 (三菱)

写真および略歴は「講演 (2) 高度 IT 資格の個人認証に関する情報処理学会モデル」を参照。

パネリスト：掛下 哲郎 (佐賀大)

写真および略歴は「高度 IT 資格制度「情報処理学会モデル」」司会紹介を参照。



パネリスト：重木 昭信（日本電子計算）

1973年に日本電信電話公社に入社。通信機器と端末装置の開発や通信プロトコルの検討に従事。1985年のNTT発足以降は、コンピュータシステムの開発を担当。1988年からは大規模オンラインシステムのプロジェクト・マネージャーとして、3,000人を超える開発プロジェクトを率いた。大規模システムの開発管理手法として、時間分割と空間分割の管理手法の組み合わせを提唱して実践。2007年にNTTデータ代表取締役副社長、2009年同社顧問。2012年日本電子計算（株）代表取締役社長 プロジェクト・マネジメント学会会員で、2011年に学会賞を受賞。2008年から日本経済団体連合会 情報通信委員会 高度情報通信人材育成部会長として、ICT人材育成や大学教育改革にも取り組んでいる。



パネリスト：川島 宏一（佐賀県）

IT戦略本部電子政府タスクフォース、政府情報システム刷新有識者会議（内閣官房）、災害に強い電子自治体研究会（総務省）、IT融合フォーラム有識者会議（経産省）の構成員などとして、電子行政刷新に取組む。2011年まで佐賀県CIOとして取組んだ協働化テスト、イノベーション“さが”プロジェクトが国連公共サービス賞を日本初受賞（2010）。日経BP・ITガバナンスランキング都道府県部門第1位（2008）。CIO着任前は、世界銀行、国土交通省等で都市開発に携わる。社会学士、都市計画修士。専門は公共イノベーション。



パネリスト：宮崎 裕充（日本IBM）

1978年、静岡大学院工学研究科修了。同年、日本アイビーエム株式会社に入社。以来、金融機関担当のSEとして活動し、2000年、OpenCA、Maser IT Architect取得。2006年、同、Distinguish IT Architect取得。2011年より、日本アイビーエム Architect Profession Leaderとして、グローバルと協業し、社内高度IT資格制度運営を担当する。

データ活用型科学の将来展望

9月6日（木）9:40-12:00 [第2イベント会場（西館 B1F マルチメディアホール）]

[セッション概要]

半導体技術やセンサー技術の急速な発展は、社会の様々な領域において膨大なデータを生み出している。そして“ビッグ・データ”というキーワードが様々な所から聞こえるようになった。世界に分散して存在するデータを活用することが科学のさらなる発展に繋がるということは、既に10年ほど前から認識され、測定データのオンラインデータベース化、さらにはその共有化基盤を作成する動きが高まっている。本セッションでは、世界のデータ共有を進める最先端の一つである天文学分野を例にとり、情報技術活用の背景、技術的現状と課題、またICSUが開始した世界データシステム（WDS）も含めたデータ活用科学の将来を俯瞰する。



司会：岩田 修一（事業構想大学院大）

1970年より合金、材料、人工物、核燃料、環境を対象にデータ駆動型設計の研究を続け、あわせて科学技術データの共有と活用について運動を行っている。東京大学工学部原子力工学科、同人工物工学研究センター、同新領域創成科学研究科教授を経て、現事業構想大学院大学教授。東京大学名誉教授。CODATA Former President, Editor-in-Chief of Data Science Journal.

● [9:40-10:25] 講演（1）「膨大なデータを取得する天文サーベイ観測」

[講演概要]

天体が放射するガンマ線から電波に至るあらゆる波長の電磁波が、宇宙から地球に届いている。地上で観測できるのはこのうち可視光と近赤外線の一部、及び電波である。それ以外の電磁波を観測するには人工衛星などで地球大気の外に出る必要がある。すべての波長にわたって高い空間分解能の観測を行なうことは、天文学の究極の目標の一つである。20世紀終わりから現在までの約20年間に天文観測技術はまさに飛躍的な進歩を遂げた。可視光天文学においては、1980年代に写真に取って代わったCCD検出器が、素子的大型化と多数の素子を並べるモザイクCCDの技術によりカメラを大きく進化させた。波長の長い電波で高い分解能を得るためには干渉計が用いられている。スペースから行なわれるX線や赤外線観測の空間分解能は地上からの観測より格段に低かったが、この10年あまりで地上からの可視光観測の分解能に匹敵あるいはそれを凌ぐまでになった。この講演では、広い天域を観測する天文サーベイ観測の歴史と現状を概観し、その大量データが天文学をいかに進歩させたかについてお話しする。



岡村 定矩 (法大)

1948年山口県生まれ。1970年東京大学理学部天文学科卒業、1976年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。1978年東京大学助手（東京天文台木曾観測所）、以後同助教授、同理学系研究科教授、同理学系研究科長・理学部長、同理事・副学長などを経て2012年より現職。天体画像処理システムの開発から始めて、銀河天文学と観測的宇宙論の研究に従事し現在に至る。PIとしてすばる望遠鏡の主焦点広視野カメラ Suprime-Cam の開発を行った。

● [10:25-11:10] 講演 (2) 「ヴァーチャル天文台を実現する技術とサイエンス」

【講演概要】

世界中の天文データをひとつの巨大な仮想データベースとしてアクセス可能にする、ヴァーチャル天文台国際プロジェクトが2002年より開始されている。2012年7月現在、日本を含めた20の国と国際機関が国際ヴァーチャル天文台連合に参加し、データベースの公開・アクセス方法の標準化作業、それに準拠したデータサービスの構築、そして利用者向けのポータルサイトやデスクトップアプリケーションの開発を進めている。標準化作業については、主要な部分についてはほぼ完成しており、さまざまなデータがヴァーチャル天文台経由で取得可能となってきた。ヴァーチャル天文台を利用した天文学研究も徐々に成果を上げ始めており、従来の方法では実施が困難であった種類の研究も行われつつあり、あらたな天文学上の発見が期待される。本講演では、ヴァーチャル天文台で利用されている情報技術や各国のヴァーチャル天文台プロジェクトによるデータサービス等の紹介を行い、それらの利用により天文学の研究において今後どのような進展が期待されるのかを議論する。



白崎 裕治 (国立天文台)

1997年 東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了。理化学研究所 奨励研究員、科学技術振興事業団 科学技術特別研究員、国立天文台 科学研究員などを経て、2004年より現職。

● [11:10-11:55] 講演 (3) 「データ活用型科学」

【講演概要】

データ活用型科学は第4のパラダイムであると言われている。実験、理論、シミュレーションに続く、21世紀の新しい研究方法と期待されているからだ。様々な科学分野では、デジタル機器を通じたデータ取得、コンピュータ処理が当然のことのように行われ、扱うデータが爆発的に増加している。一方、爆発する大量データをいかにして管理・活用し、また、その中から有用な知見を引き出すのか、が社会の大きな課題となってきた。オバマ大統領がその演説で述べた "Big Data" は、まさに、そのような背景を踏まえている。

講演では、データ活用科学を巡る国際情勢をご紹介すると共に、天文学などにおける例を紹介し、そして、データ活用科学の発展に必要と思われる要素やその将来展望について述べる。



大石 雅寿 (国立天文台)

1985年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。1998年国立天文台天文学データ解析計算センター助教授を経て、2007年より現職。2005年から2006年 国際ヴァーチャル天文台連合 chairman、2009年より国際天文学連合第5委員会（天文データ）プレジデント。電波天文観測により多数の星間分子を発見すると共に、大量の天文データを活用する研究手法の開拓に従事している。

スパース信号処理の最前線

9月6日(木) 13:00-16:00 [第2 イベント会場 (西館 B1F マルチメディアホール)]

[セッション概要]

信号の疎表現に注目したアプローチであるスパース信号処理が、雑音除去、画像復元、圧縮センシング、ブラインド信号源分離といった様々な信号処理の分野で、注目を集めている。疎表現は信号のモデル化の一形態であり、近似理論、調和解析、統計的機械学習といった応用数学分野との関連性も深い。このようにスパース信号処理は、応用数学と信号処理の交差点に位置しており、そのポテンシャルの高さから、信号処理分野にパラダイムシフトを起こす可能性を秘めた技術であると言える。本企画では、スパース信号処理に関する最新の技術動向を第一線の研究者より講演頂き、FIT 参加者への情報提供の場としたい。



前半司会：坂東 幸浩 (NTT-AT)

NTT アドバンステクノロジー株式会社 担当課長。2000 年から 2002 年、日本学術振興会特別研究員。2002 年、九州大学大学院システム情報科学研究科 博士後期課程修了。同年、日本電信電話株式会社 入社。入社後は、NTT サイバースペース研究所にて、次世代映像フォーマットのための高効率符号化アルゴリズム研究等に従事。2011 年より、現職。2008 年 FIT 船井ベストペーパー賞、2012 年情報処理学会 長尾真記念特別賞等受賞。博士 (工学)。

● [13:00-13:45] 講演 (1) 「圧縮センシングの基礎」

[講演概要]

近年、圧縮センシング技術は、信号処理・機械学習・情報理論など幅広い分野で注目されている。Candes と Tao によるスパース信号のランダム線形観測に基づく L1 再現可能性に関する理論的研究の登場が圧縮センシングの研究の広がりのひとつの大きな契機となった。最近では、L1 再現と異なる様々な種類の再現アルゴリズムが登場し、その理論的性能解析も進みつつある。本講演では、圧縮センシングの問題設定、ならびに研究の発展を概観する。特に圧縮センシングの数理的側面を重視する。



和田山 正 (名工大)

1991 年 京都工芸繊維大学電子工学科卒。1993 年 京都工芸繊維大学大学院博士前期課程修了。1997 年 京都工芸繊維大学 博士 (工学, 論文提出)。1995 年から 2004 年 9 月まで岡山県立大学 情報工学部 助手。2004 年 10 月より名古屋工業大学 大学院工学研究科 助教授。2007 年 4 月より名古屋工業大学 大学院工学研究科 准教授。2010 年 4 月より名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授。2010 年 10 月 1 日 (兼任) 統計数理研究所 客員教授。

● [13:45-14:30] 講演 (2) 「圧縮センシングの L1 ノルム復元問題に関する理論」

[講演概要]

圧縮センシングとは疎性を内包する原情報を少数観測から復元しようとする近年注目されているアイデアである。さて、疎な原情報の復元の為には拘束条件付の L1 ノルム最小化問題を解けば良いことが知られるが、復元の為に最低限必要な観測数が幾種類かの解析により議論されている。講演ではそれらの観測数下限を見積もる方法について概観する。



竹田 晃人 (東工大)

東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了・博士 (理学)。現在東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻助教。専門は統計物理学とその情報科学分野への応用。



後半司会：久保田 彰 (中大)

1997 年、大分大学工学部電気電子工学科卒業。1999 年、東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。2002 年、同大学院博士課程修了。同年、日本学術振興会特別研究員。2003 年、米国カーネギーメロン大学訪問研究員。2004 年、神奈川大学ハイテクリサーチセンター研究員。2005 年、東京工業大学大学院総合理工学研究科助手。2009 年、中央大学理工学部助教。2011 年、同准教授。

● [14:45-15:30] 講演 (3) 「連続信号のスパースサンプリング：標本数はどこまで減らせるか？」

【講演概要】

スパース性に着目した信号・画像処理の研究は比較的古くから行われていますが、近年の特徴の一つは、信号に含まれる本質的な情報のみを直接観測あるいは標本化しようとする取り組みが始められていることです。その代表例である圧縮センシングはスパースな高次元ベクトルを観測対象にしています。このベクトルが連続信号を標本化したものである場合、連続信号そのものにスパース性を導入すれば、高効率の圧縮標本化を実現できることがあります。本講演では、このような連続信号に対するスパース性の概念である「不確定率有限信号」を紹介し、このクラスの信号が「自由度の出現頻度（不確定率）」に非常に近い周波数で標本化・再構成されることを示します。そして、この研究の画像処理への応用事例を紹介し、今後の研究動向を展望します。



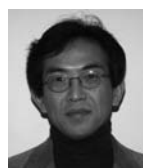
平林 晃 (山口大)

1995 年東京工業大学大学院情報理工学研究科修士課程修了、1999 年博士（工学）（東京工業大学）。1995 年東京工業大学助手、2000 年山口大学講師、2002 年同助教授、現在同准教授。スパース標本化理論とその応用に関する研究を行う。2001 年計測自動制御学会技術賞、2004 年財団法人手島工業教育資金団発明賞。電子情報通信学会、計測自動制御学会、IEEE 各会員。

● [15:30-16:00] 講演 (4) 「カラー画像疎表現とそのカラー画像復元への応用」

【講演概要】

近年、画像疎表現に基づく画像復元の研究が急速に進展し、画像復元の分野に新しい地平が開かれつつある。画像疎表現に基づく画像復元に関するこれまでの研究は主として応用数学の観点から行われてきたこともあり、多くの研究はモノクローム画像を対象としたものであった。本講演では、“カラー画像固有の性質を考慮したカラー画像疎表現とこれに基づくカラー画像復元”に関する講演者らのこれまでの研究成果を中心に紹介する。



齊藤 隆弘 (神奈川大)

1976 年 3 月、東京大学工学部電気工学科卒業。1981 年 3 月、東京大学工学研究科博士課程修了、工学博士。同年 4 月、神奈川大学工学部電気工学科、専任講師。1991 年より、同大学・教授。現在、同大学・学長補佐、自己点検評価、FD 等を担当。1981 年、電子通信学会学術奨励賞、1989 年電子情報通信学会業績賞、1990 年同学会論文賞。2006 年より、映像情報メディア学会・フェロー。画像符号化、信号・画像処理、画像エレクトロニクス等の研究に従事。

第 16 回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト
9 月 4 日（火）13:00-16:00 [第 3 イベント会場（東館 1F E105）]

【セッション概要】

本イベント企画では、「これは誰の字？ 一筆跡鑑定にチャレンジ！」と題した第 16 回パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテストの入賞者の発表、表彰式、および受賞者自身によるアルゴリズム発表を行う。本コンテストは、パターン認識・メディア理解（PRMU）研究専門委員会が、当該研究分野における若手研究者の育成と研究会活動の活性化を目的として、1997 年度より実施しているものである。今年度の企画では、学生や若手研究者からのアルゴリズム応募枠に加えて、一般の研究者を対象とした応募枠を新たに設置した。募集にあたっては、コンテストのホームページ（<https://sites.google.com/site/alcon2012prmu/>）でサンプルプログラム・画像データを公開してアルゴリズムを実装したプログラムの提出を求め、処理結果や計算時間等を参考に、新規性や性能を審査し優秀なアルゴリズムを選定している。学生・若手研究者応募枠においてはアルゴリズムの完璧さや実装の工夫よりも、素朴なアイデアを積極的に評価し、一般応募枠においては実用性を踏まえた実用志向なアイデアを評価する方針を採っている。



司会：島田 敬士 (九大)

2002 年九州大学工学部電気情報工学科飛び級のため退学。2007 年九州大学大学院システム情報科学府知能システム学専攻博士後期課程修了。同年、九州大学大学院システム情報科学研究助成。博士（工学）。パターン認識、画像処理、人工神経回路網に関する研究に従事。2010 年 IEEE Region 10 WIE Best Paper Award、2011 年 MIRU2011 インタラクティブセッション賞受賞。電子情報通信学会、日本神経回路学会、IEEE 各会員。

● [13:00-13:05] 開会挨拶


山田 敬嗣 (NEC)

1987年、京都大学大学院工学研究科博士後期過程了（工学博士）。同年、NEC入社。1990年～1991年カリフォルニア大学サンディエゴ校客員研究員。2004年NECメディア情報研究所所長。2007年C&Cイノベーション研究所所長。2012年より、中央研究所支配人。電子情報通信学会理事、ISS副会長、情報処理学会理事などを歴任。専門は、パターン認識・学習、ヒューマンインタフェース、ユビキタス情報システム、など。電子情報通信学会、情報処理学会、日本心理学会、新日本未来学会、IEEE、各会員。

● [13:05-13:30] 概要説明・審査結果発表・入賞者表彰

● [13:30-15:00] 入賞者によるアルゴリズム紹介

● [15:00-16:00] 講演 「汎用的なパターン認識技術を活用して特殊な問題を解決してみよう」

【講演概要】

今回のアルゴリズムコンテストの対象は文字であるが、課題は書かれた文字種を答えるのではなく、筆者を認識することである。パターン認識的な観点から見れば、多くの人間の書いた同一文字の特徴を汎化学習するというスタイルとは異なり、個人が書いた文字の特徴に特化した学習が必要となる。このように、対象は同じでも、解きたい問題によって汎用的な学習と問題に特化した学習を使い分ける必要がある。しかし、これらの学習は相補的な関係でありながら、一般的な枠組みで議論することが困難なため、本講演では汎用的なパターン認識技術を活用して特殊な問題を解決するという観点から、これらの学習の関係について議論することを試みる。



堀田 政二 (農工大)

2002年、九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科（現九州大学大学院芸術工学研究院）博士後期課程修了（博士（工学））。同年、長崎大学 工学部 情報システム工学科 助手。2007年～2010年 東京農工大学大学院 共生技術研究院特任准教授。2011年より東京農工大学大学院工学研究院准教授。2012年よりPRMU研究会幹事補佐。専門は、パターンの解析と認識、画像・音楽検索など。電子情報通信学会、情報処理学会、映像情報メディア学会、画像電子学会、IEEE、各会員。

生体・感覚情報計測技術の基礎

9月5日（水）9:30-12:00 [第3イベント会場（東館 1F E105）]

【セッション概要】

近年、脳機能をはじめとした神経活動の計測技術やコンピュータの発展により、人間の認知やBMIに関連する研究が急速に発展している。さらに、モバイル機器やゲーム機の普及により各種センサーが比較的手軽に入手できるようになり、人間の行動計測研究の可能性が急速に拡大している。本企画では生体・感覚情報計測技術を利用した今日的な研究に触れることにより、聴講者の研究の方法論のバリエーションを拡充することを目的として、若手・中堅の研究者にご講演いただく。具体的には、人間の身体運動・生理活動などの計測および分析技術を利用した認知心理学的研究やヒューマンインターフェース開発などの応用的研究を、計測や分析技術の基礎的な側面をふまえて最先端の研究の方向が感じ取れるような内容とする。



司会：金子 寛彦（東工大）

1992年、東京工業大学大学院博士課程修了。同年、York大学（Canada）研究員。1995年、ATR人間情報通信研究所研究員。2000年、東京工業大学助教授。現在、同准教授。現在に至る。心理物理学、特に人間の空間認識に関する研究に従事。博士（工学）。

● [9:30-9:40] 趣旨説明

● [9:40-10:10] 講演 (1) 「3D 観察時の眼球運動」

【講演概要】

人間は3次元空間内のさまざまな場所にある対象物に自由に視線を向けて、そこから詳細な視覚情報を取り込むことができる。これを実現しているのが眼球運動であり、人間の視覚にとって欠かせない機能である。また眼の動きには、バランス感覚を司る前庭系の状態や覚醒状態、注意の状態や情報収集の方略など、人間の内部状態に関するさまざまな情報が反映されている。眼球運動のこのような側面に対する関心の高まりや、手軽に扱える計測手法の普及に後押しされて、研究に眼球運動の計測を利用する機会が増えているが、その原理や特性を知ること、より信頼性の高いデータを効率的に集めることが可能になる。本講演では、いくつかの眼球運動計測手法の原理やその特徴について解説し、目的に即した適切な計測手法の選び方や計測における注意点について述べる。また眼球運動計測を利用した研究の一例として、3D映像を見ているときの眼球運動や眼の焦点調節の機能の測定について、最近行った研究成果を紹介する。



水科 晴樹 (NICT)

2003年東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程修了。同年高知工科大学情報システム工学科教育講師。2004年ヨーク大学心理学博士研究員。2007年東京工業大学産学官連携研究員。2009年(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)研究員。2012年より現職。視覚心理物理学、立体映像の生体影響に関する研究に従事。日本視覚学会、映像情報メディア学会、電子情報通信学会、日本光学会、日本感性工学会各会員。博士(工学)。

● [10:10-10:40] 講演 (2) 「視覚情報処理戦略の可視化：classification imageを用いた自閉症者と定型発達者の顔認知の比較」

【講演概要】

Classification image (CI) 法は課題遂行中の視覚情報処理戦略を詳細に可視化できる利点を持つ。例えば、顔画像による個人弁別課題を課すとき、「どの部分にどれくらい強く影響されるか」をピクセル単位で明らかにすることができる。近年は2次元空間刺激に加え、1次元空間刺激、時空間刺激など様々な刺激属性に対応したCIが開発され、顔認知、主観的輪郭、テクスチャ知覚など様々な研究トピックにおいて従来の実験手法(閾値、正答率等)では検討不可能であった視覚情報処理の諸側面を明らかにしてきた。本発表ではCIの測定原理、試行数削減技術の解説に加え、顔情報処理戦略に関する研究を報告する。先行研究では定型発達者および自閉症者の顔情報処理戦略には質的な違いがある(定型発達者は目、自閉症者は口領域を利用)と報告されてきたが、CI法を用い、従来研究からは予想外の自閉症者特有の戦略を発見(額を利用)し、また自閉症者の半数は定型発達者と同様の戦略(目眉領域)を示すことを明らかにした。



永井 聖剛 (産総研)

関西学院大学文学研究科心理学専攻修了。京都大学情報学研究科ボスドク研究員、マクマスタ大学心理学部客員研究員を経て、2005年より産業技術総合研究所人間福祉医工学研究部門研究員、2010年より現職。近年は個人のコミュニケーションスキルや感情と認知情報処理の関係など、動作インタラクションなどさまざまな研究に取り組む一方、自動車会社、化粧品会社など、企業との共同研究も数多く展開している。

● [10:40-11:10] 講演 (3) 「乳児期の行動および脳機能計測」

【講演概要】

生後1年未満の乳児の知覚・認知・運動を含む行動発達および脳機能の発達を統合的に理解するために、どのような方法が可能かについて、これまでの取り組みを紹介しながら考える。特に、健康な乳児(すなわち臨床的な検査等の必要性がない乳児)の情報を得ることは、方法論的あるいは倫理的制約があるが、その中で行うことができる計測方法と、その結果得られた知見について議論する。三次元動作解析装置を用いた運動計測、眼球運動装置を用いた視線計測、近赤外分光法(NIRS)を用いた脳機能計測等について紹介し、今後の乳児の行動・脳機能研究の方向性について議論する機会としたい。



渡辺 はま (東大)

東京大学大学院教育学研究科身体教育学コース特任准教授。2001 年名古屋大学大学院人間情報学研究科博士後期課程 満期退学。博士 (学術) (名古屋大学、2002 年)。日本学術振興会特別研究員 (PD)、科学技術振興機構研究員、日本学術振興会海外特別研究員 (ウプサラ大学) を経て、2009 年より現職。乳児の発達行動科学・発達脳科学の研究に従事。日本心理学会会員。2012 年日本心理学会国際賞 (奨励賞) 受賞。

● [11:10-11:40] 講演 (4) 「身体性入力としてのベクション」

【講演概要】

広域視野に一樣な運動刺激が呈示されると、それを見ている観察者は、刺激の運動方向と反対方向に、自己身体の移動を感じる。この錯覚のことをベクションと呼ぶ。ベクションについて、これまでの研究を概観し、著者が行った新しい研究についても、紹介を行う。ベクションは錯覚的な自己身体の移動だが、実際のリアルな身体性の入力としての役割を十分に果たす事が出来る。例えば、ベクションが生起している間に、錯覚的に自己身体が軽くなったり、重くなったりすることを我々は実験で示した。さらに、空腹時には、ベクションが強くなることを明らかにした。これらは、リアルな身体の変調がベクションに与える影響であり、ベクションがリアルな身体の変調を起こす例でもある。これに加えて、ベクションが実際の身体性入力となりうる例をさらに紹介したい。



妹尾 武治 (せのお たけはる / 視覚心理学者 / 学術研究員)

なぜものが見えるのか、どのようにものが見えるのか? について、実験心理学からの検討を行う。2009 年に東京大学人文社会系研究院の博士課程を修了し (心理学)。2007 年より、東京大学インテリジェント・モデリング・ラボラトリーにて、特任研究員。2008 年より、九州大学芸術工学研究院で学術研究員。現在は、日本学術振興会の特別研究員 (SPD) 及び、University of Wollongong (オーストラリア) で客員研究員として働く。専門は錯覚的な自己身体の移動感覚 (ベクション)。

● [11:40-12:00] 総合討論

情報学研究における質的アプローチの可能性を探る 9月5日 (水) 15:30-17:30 [第3 イベント会場 (東館 1F E105)]

【セッション概要】

情報処理学会「情報システムと社会環境」研究会は、情報システムの有効性評価の手法について、分科会を設けてガイドラインの策定を目指してきました。その中で議論になったのは、情報システムの有効性は、それが存在するコンテキスト (状況、人や組織、歴史、風土、成熟) に強く依存するというものでした。このことは、情報システムを「個別一回性の現象」ととらえることを意味します。個別一回性の現象をどのようにとらえ、解釈するかについては、すでに社会学や看護学、そして最近では心理学、政策科学が扱うようになっていきます。これらは、一括して「質的研究」あるいは「質的アプローチ」と呼ばれています。本セッションでは、質的アプローチで先行している分野での具体的な研究事例をお聞きして、情報学および情報システム学における展開の可能性を探りたいと思います。



司会：児玉 公信（情報システム総研）

都立大学人文学部（心理学）卒業。石油元売りの情報システム部、製鉄業の情報子会社などを経て現職。企業情報システムの基幹部分の再構築のためのモデリング、アーキテクティングを提供。技術士（情報工学部門）、博士（情報学）。はこだて未来大学客員教授。情報処理学会、経営情報学会、日本心理学会、日本人間工学会、ACM 各会員。

● [15:30-15:40] 趣旨説明

● [15:40-16:10] 講演（1）「アクションリサーチの魅力と責任」

【講演概要】

アクションリサーチとは「実践的研究」と訳されて、たとえばシミュレーションや質問紙調査といった個別の研究手法と並置されていることもあります。しかし、実際には、アクションリサーチとは、研究（者）と世の中（現場やフィールド）との出会い方、あるいは、両者の関係のあり方の一種ととらえる方がベターです。多くの場合、アクションリサーチは、単発の研究活動としては完結しません。長期にわたって、さまざまな研究方法を使って、また質・量双方のデータを用いながら、現場の「ベターメント」のために（何が「ベターメント」なのかという問いを含めて）研究者と多様な現場関係者が共同実践するというスタイルをとります。このプレゼンでは、防災・減災の領域で、私自身が手がけているアクションリサーチについて、いくつか具体例を紹介することを通して、上記のことを皆さまにお伝えしたいと思います。ご紹介する予定の事例は以下の通りで、括弧の中は私が関わってきた年数です。被災者の語り部団体を舞台とする事例（約 15 年）、「クロスロード」と呼ばれる防災ゲームに関する事例（約 10 年）、高知県の小さな海岸沿いの集落（小学校）での津波防災実践の事例（約 5 年）。



矢守 克也（京大）

現在、京都大学防災研究所防災研究所・巨大災害研究センター・教授、同上・地震予知研究センター阿武山観測所・教授、京都大学大学院情報学研究科・教授、人と防災未来センター上級研究員、同震災資料研究主幹などを兼任。大阪大学大学院人間科学研究科博士課程単位取得退学。博士（人間科学）。専門は、社会心理学、防災心理学。アクションリサーチの手法を生かして、「クロスロード」、「ほうさいダック」などの防災教育ツールを開発。全国の小中学校で防災教育にも従事。

● [16:10-16:40] 講演（2）「構造構成主義からみた質的研究のエッセンス」

【講演概要】

「構造構成主義からみた質的研究のエッセンス」について。

西條 剛央（早大）

早稲田大学大学院商学研究科専任講師。「ふんばろう東日本支援プロジェクト」代表。1973 年宮城県仙台市生まれ。早稲田大学大学院で博士号（人間科学）取得。専門は心理学と哲学。質的研究の一般評価システムに関する研究を推進。

● [16:50-17:30] パネル討論 「情報システムの現場と質的研究の可能性」

【討論概要】

複雑化、多様化している現在の情報システムは、もはや定量的効果だけでは評価できなくなっている。情報システムの有効性は、それが存在するコンテキストに強く依存するからである。このことは、情報システム研究における有効性評価にも多くの課題を投げかけることになった。この問題に取り組むために、「情報システムと社会環境」研究会では有効性評価分科会を立ち上げて、さまざまな切り口から議論を繰り返している。中でも、間接的な効果や組織構築、人の成長など、定量化できない「良さ（quality）」の評価を如何に効果的に取り入れるのかに関する話題が拡大し続けている。そこで本パネルでは、質的アプローチで先行している分野での具体的な研究事例や課題を参考にして、情報学および情報システム学における質的アプローチの可能性を追求したい。そして、会場への参加者と共に、質的研究の課題とその解決の糸口を探ることとしたい。



司会：神沼 靖子（情報処理学会フェロー）

1961 年 日本鋼管 KK に始まり、横浜国大、埼玉大、帝京技科大を経て、前橋工科大教授を 2003 年 3 月に定年退職。現在、情報システム教育のアドバイザー、企業における人材育成、執筆などに携わる。学術博士。情報システム学、情報システムの質的評価の研究などに興味をもつ。情報処理学会フェロー。情報処理教育委員会、情報システム教育委員会等のメンバー。

パネリスト：矢守 克也（京大）

写真および略歴は「講演（1）アクションリサーチの魅力と責任」を参照。

パネリスト：西條 剛央（早大）

写真および略歴は「講演（2）構造構成主義からみた質的研究のエッセンス」を参照。



パネリスト：新目 真紀（青学大）

青山学院大学ヒューマン・イノベーション研究センター客員研究員、2007年より青山学院大学総合研究所に在籍し2011年から現職、大手電気メーカ、外資系のHRMシステム会社への勤務を経て現在に至る。2006年早稲田大学大学院国際情報通信研究科修士課程修了。日本教育工学会、情報処理学会、ヒューマンインタフェース学会会員。



パネリスト：矢島 彩子（富士通）

1996年岩手大学大学院人文社会科学部研究科修了、2001年聖心女子大学文学研究科博士後期課程単位取得退学、同年（株）富士通研究所入社。主に、情報提示のユーザビリティの研究を行いながら、エスノグラフィーをベースにした業務実態を把握するフィールドワーク手法（主に聴く手法）開発に従事した後、2006年10月より、富士通（株）へ異動、現在に至る。お客様のフィールドイノベーションに自ら寄り添ってきたが、2009年10月より、顧客に近いフィールド・イノベータの支援部隊に身を置き、彼らをフィールド調査・分析を後方から支援。2012年4月より、スマートシティ推進本部へ異動。

世界初、統一の評価基準に基づく電子透かしコンテストー 昨今の電子透かし技術の実力や如何に！

9月6日（木）9:30-12:00 [第3イベント会場（東館 1F E105）]

[セッション概要]

マルチメディア情報ハイドニング・エンリッチメント研究専門委員会（EMM）の第二種研究会である情報ハイドニング及びその評価基準研究会（IHC）は今まで統一的评价基準がなかった電子透かし技術に対して世界初の評価基準を定め公開し、その基準を超える電子透かし方式を募集した（<http://www.ieice.org/iss/emm/ihc/>）。応募された方式は公開された評価基準に則って評価され、本企画において発表される。これによって、現在の日本における電子透かし技術の性能及び現状の一端が明らかになる。本企画では上記評価基準を超えた電子透かし方式の提案者を招き、その説明及び性能に関するデモなどを行って頂きディスカッション、及び表彰を行うものである。



司会：越前 功（NII）

1997年東京工業大学大学院理工学研究科応用物理学専攻修士課程修了。日立製作所システム開発研究所研究員を経て、2007年より国立情報学研究所コンテンツ科学研究系准教授。2010年4月ドイツ・フライブルグ大学 計算機科学・社会情報学研究所 客員教授。2011年10月ドイツ・マルティン・ルター大学（ハレ大学）企業情報学研究所 客員教授。コンテンツセキュリティの教育研究に従事。電子情報通信学会マルチメディア情報ハイドニング・エンリッチメント研究専門委員会専門委員。情報処理学会会長尾真記念特別賞、情報処理学会論文賞、電子情報通信学会ISS活動功労賞、映像情報メディア学会藤尾フロンティア賞、画像電子学会画像電子技術賞等受賞。博士（工学）。

● [9:30-9:35] 開会挨拶



馬場口 登（阪大）

1979年大阪大学工学部通信工学科卒業、1981年同大学大学院前期課程修了、愛媛大学工学部、大阪大学工学部、産業科学研究所を経て、現在、大阪大学大学院工学研究科教授。1996-97年カリフォルニア大学サンディエゴ校文部省在外研究員。工学博士。マルチメディア処理に関する研究に従事。PCM2006、IAS2009 Best Paper Award、FIT2009論文賞。電子情報通信学会フェロー。PRMU 研専元委員長、EMM 研専委員長。

● [9:35-10:00] 概要説明・審査結果発表・入賞者表彰



岩村 恵市（東理大）

1982年九州大学大学院修士課程修了。キャノン株式会社を経て、2006年より東京理科大学工学部電気工学科教授。情報セキュリティ、コンテンツ保護技術の研究に従事。博士（工学）。情報ハイドニング及びその評価基準（IHC）委員会委員長。

● [10:00-11:30] 入賞者によるアルゴリズム・性能紹介

● [11:30-11:45] 審査講評（画像）



合志 清一（工学院大）

1981年 早稲田大学理工学研究科博士前期課程修了、同年日本放送協会（NHK）入局。1984年よりNHK放送技術研究所等において、ハイビジョンのデジタル信号処理、伝送、電子透かし、映像符号化、物体抽出の研究に従事。2008年シャープ（株）に転じ高解像度ディスプレイの研究に従事。2011年より工学院大学情報学部情報デザイン学科教授。

● [11:45-12:00] 審査講評（音響）



西村 明（東京情報大）

1990年九州芸術工科大学音響設計学科卒業。1996年九州芸術工科大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。1996年東京情報大学情報学科助手を経て、2012年より同情報文化学科教授。EMM研究専門委員会副委員長。楽器音、音空間知覚、聴覚マスキング機構、オーディオ測定技術、音響情報ハイディング技術の研究に従事。IEEE、電子情報通信学会、日本音響学会、AES各会員。博士（芸術工学）。

安心なスマートフォンの未来を考える～スマートフォン/タブレットの威力とセキュリティ対策について [パネルセッション]

9月6日（木）13:00-15:00 [第3イベント会場（東館 1F E105）]

[セッション概要]

本パネル討論では、スマートフォンのハードウェア、OSといった主にプラットフォームとなる領域と、アプリケーションやデータの取り扱いといった主にユーザから見えるサービス領域のそれぞれに焦点をあてる。各分野において第一線で活躍されているパネリストにより、多面的な視点からスマートフォンにおけるセキュリティの現状と今後について討論を行う。水平分業化されているスマートフォンにおいて、それぞれのプレイヤーが一体となってこの問題について討論することにより、喫緊の課題や今後求められる対策を浮き彫りにし、安全安心にスマートフォンを利用していくためには何が必要かを明らかにしたい。



司会：加藤 雅彦（インターネットイニシアティブ）

1995年豊橋技術科学大学大学院工学研究科知識情報工学専攻修了。修士（工学）。1998年株式会社インターネットイニシアティブ入社。システムインテグレーション、脆弱性検査サービスの立ち上げ等の業務に従事。ネットワークシステムの安全な設計に関する研究やクラウドセキュリティに関する講演等も行っている。日本ネットワークセキュリティ協会幹事、調査研究部会長、電子情報通信学会、情報処理学会各会員。



パネリスト：高倉 弘喜（名大）

2000年九州大学卒、2002年九州大学大学院修士課程修了、2005年京都大学大学院博士後期課程修了。博士（工学）、同年京都大学工学研究科研究員（米国イリノイ州立大学訪問研究員）、同年奈良先端科学技術大学院大学助手、2007年～2009年京都大学、講師、助教授（准教授）を経て、2010年より名古屋大学教授。情報セキュリティ、次世代ネットワークなどの研究に従事。情報処理学会、電子情報通信学会、システム制御情報学会、ACM会員



パネリスト：安齋 潤（パナソニックモバイルコミュニケーションズ）

1996年3月東海大学・工学部・通信工学科卒。同年4月松下通信工業（株）入社（現パナソニック モバイルコミュニケーションズ（株））。1997年4月から2001年9月まで（株）高度移動通信セキュリティ技術研究所へ出向し、情報セキュリティ技術の研究に従事。現在、携帯電話及びスマートフォンのセキュリティ機能の開発に従事。2005年9月横浜国立大学 環境情報学府 博士後期課程 修了。博士（工学）。電子情報通信学会会員。



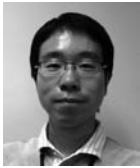
パネリスト：高橋 郁夫（BLT法律事務所）

弁護士 情報セキュリティ/電子商取引の法律問題を専門として研究する。宇都宮大学大学院工学部講師。また、法律と情報セキュリティに関する種々の報告書などに関与。



パネリスト：鶴飼 裕司（フォティーンフォティ技術研究所）

2000 年徳島大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。Kodak 研究開発センターにてデジタルイメージングデバイスの研究開発に従事した後、2003 年米国 eEye Digital Security 社に入社。セキュリティ脆弱性分析や脆弱性診断技術、組み込みシステムのセキュリティ脅威分析等に関する研究開発などに従事。2007 年 7 月に帰国し、セキュリティの要素技術に関する研究開発やコンサルティングサービスなどを主事業とする株式会社フォティーンフォティ技術研究所を設立。



パネリスト：磯原 隆将（KDDI 研）

2005 年に慶應義塾大学情報工学科卒業、2007 年に同大学院理工学研究科修了、KDDI 株式会社入社。現在、KDDI 研究所にて、ネットワークセキュリティとスマートフォンセキュリティの研究に従事。KDDI のスマートフォンセキュリティに関する技術施策の全般に携わり、研究開発の成果は、商用 Android 端末における堅牢化向上実装、au Market 掲載アプリ向けのセキュリティチェックシステム等として実用化される実績を持つ。電子情報通信学会、情報処理学会各会員。



パネリスト：杉山 俊春（DeNA）

2002 年東北大学大学院情報科学研究科修士課程了。移动通信企業の研究所やセキュリティ専門会社にて、プライバシーに関する研究業務、セキュリティコンサルタント業務、Web アプリケーション診断ツール開発、WEB 媒体へのセキュリティ記事の寄稿等に従事した後、2012 年より株式会社ディー・エヌ・エーに入社。現職では、アプリケーションのセキュリティ診断・設計等に従事。

展示会のご案内

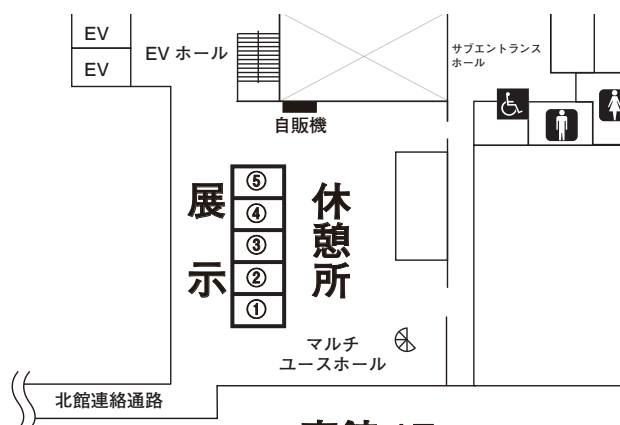
FIT2012 では会期中、以下の企業による展示会を開催致します。

展示会場：東館 1F マルチユースホール

展示日時：9月4日(火)・5日(水) 9:30-17:00 、 6日(木) 9:30-15:00

ブース 番号	出展者名・出展者 Web サイト・展示名 展示概要
①	エムティティ株式会社 [http://www.mtt.co.jp/] デジタル信号処理システム 計測・制御用デジタル信号処理ユニット 出展物:iBIS、s-BOX、(NotePC)、(A1 サイズパネル) 詳細: http://www.mtt.co.jp/dsp/index.html
②	株式会社フォーラムエイト [http://www.forum8.co.jp/index.html] 3D/VR クラウドコンピューティングシステム 3D/VR クラウドコンピューティングシステム “VR-Cloud®”を出展、Android にも対応し、3 次元空間をインタラクティブに閲覧、共有できる。独自開発の伝送技術“a3s”は特許申請中。
③	株式会社 ATR-Promotions [http://www.atr-p.com] 小型無線多機能センサ(TSND121) 小型無線多機能センサ(TSND121)は人や物の動きを測定するためのセンサです。加速度・角速度センサ、地磁気センサ、気圧・温度センサ、AD コンバータを搭載しています。データはBluetooth または USB 接続で送信可能な他、オフラインでの計測結果を記録することも可能です。会場では、小型無線多機能センサと受信ソフトウェアを展示します。是非お立ち寄り下さい。 詳細: http://www.atr-p.com/TSND121.html
④	シュプリンガー・ジャパン株式会社 [http://www.springer.jp] Turing Year 2012 NIPPON 2012 年は、コンピュータ・サイエンスの創始者といわれるアラン・チューリング(1912-1954)の生誕百周年であり、世界的に様々な記念行事が催されています。シュプリンガー・ジャパンでも、Turing Year 2012 NIPPON というキャンペーンを開催中ですので、今回のフォーラムでは、チューリングおよびチューリング賞に関連している英文書籍(Springer 刊)を一挙に展示致します。あわせて日本人著者・編者による ICT 関連の最近のプロシーディングスも展示いたします。
⑤	株式会社日立製作所 [http://www.hitachi.co.jp/] 携帯型光トポグラフィ 光トポグラフィは世界に先駆けて日立が開発した微弱な近赤外光を頭皮上から照射して、脳活動に伴う脳内血液量の変化を無侵襲で計測することが可能です。小型・軽量化したことで、より日常に近い状況における脳活動を計測できるようになりました。 詳細: http://www.hitachi.co.jp/products/ot/kogataka/wot.html

展示会場図



東館 1F

査読付き論文について

電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループおよび情報処理学会が共同開催する情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology) は、2002年に創設され今回が第11回となる日本の情報科学分野最大の学会大会である。査読採択論文は各分野の講演論文集に収録されている。

FIT2012では、本フォーラムで最も特徴となるFIT査読付き論文について、情報分野のより一層の活性化を目指すべく、前回と同様の「コンファレンスペーパー」としての査読に加えて、優秀な論文をFITとして電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する「論文誌推薦制度」を継続した。査読はこれまでと同様、各分野に分野責任者を置き、各研究会から推薦された担当委員と協力して、それぞれの分野および研究会で独立に論文査読を行った。

以上の過程を踏まえて、6月11日に査読会議を開催し、採択論文の決定、船井ベストペーパー賞・FIT論文賞候補論文の決定、論文誌への推薦論文候補を決定し、それに引き続きプログラム編成会議でFIT2012プログラムを策定した。論文査読を行った各分野の投稿数、採択件数、採択率は次の通りである。

	投稿数	採択件数	採択率
A: モデル・アルゴリズム・プログラミング	11	4	36.4%
B: ソフトウェア	-	-	-
C: ハードウェア・アーキテクチャ	7	5	71.4%
D: データベース	4	2	50.0%
E: 自然言語・音声・音楽	5	2	40.0%
F: 人工知能・ゲーム	12	6	50.0%
G: 生体情報科学	1	1	100.0%
H: 画像認識・メディア理解	-	-	-
I: グラフィクス・画像	13	1	7.7%
J: ヒューマンコミュニケーション&インタラクション	17	8	47.1%
K: 教育工学・福祉工学・マルチメディア応用	22	11	50.0%
L: ネットワーク・セキュリティ	4	2	50.0%
M: ユビキタス・モバイルコンピューティング	3	2	66.7%
N: 教育・人文科学	4	2	50.0%
O: 情報システム	13	9	69.2%
合計	116	55	47.4%

以下の6編は、FIT2012学術賞選定委員会が候補論文の中から所定の選定手続きを経て選んだ船井ベストペーパー賞3編・FIT論文賞3編である。

船井ベストペーパー賞

- ・RC-005 ポリフェーズ・フィルタ・バンクを用いた基数 2^k FFTに関して: 電波望遠鏡用分光器への適用
◎中原 啓貴・中西 裕之 (鹿児島大学)・笹尾 勤 (九州工業大学)
- ・RJ-008 折り返し翻訳は本当に役に立たないのか? ~人間の観点からみた折り返し翻訳の妥当性評価~
◎宮部 真衣 (東京大学)・吉野 孝 (和歌山大学)
- ・RK-007 影を利用したポインティングシステムの開発
◎土江田 織枝 (釧路工業高等専門学校)・財原 ちひろ (SEIKO EPSON)・林 裕樹 (釧路工業高等専門学校)・宮尾 秀俊 (信州大学)

FIT 論文賞

- ・RA-001 Two Compact Codes for Rectangular Drawings with Degree Four Vertices
◎斎藤 雅士・中野 真一 (群馬大学)
- ・RF-005 ポピュレーションコーディングを適用したSpikePropネットワークの耐ノイズ性の向上
◎新 友太・高瀬 治彦・川中 普晴・鶴岡 信治 (三重大学)
- ・RI-001 ウェブレット多重解像度成分のレジストレーションによるデジタルシネマから超高精細映像への空間超解像法の検討
◎松尾 康孝 (早稲田大学/NHK)・岩崎 真也・山村 勇太・甲藤 二郎 (早稲田大学)

最後になったが、多忙の中、査読プロセスの運営および論文賞候補選考にご尽力頂いたFIT2012プログラム委員会およびFIT2012学術賞選定委員会の方々、限られた短期間で論文査読の責務を果たして頂いた査読者の方々に深く感謝する。

FIT2012 プログラム委員会
FIT2012 学術賞選定委員会
委員長 橋田 浩一

一般講演プログラム

A 分野：モデル・アルゴリズム・プログラミング（第1分冊）

[アルゴリズム]

- 9月4日（火）09:30～12:00 1A会場（西館3F W308） 座長 千葉 英史（法大）
- RA-001 [FIT 論文受賞論文]
Two Compact Codes for Rectangular Drawings with Degree Four Vertices◎斎藤雅士・中野眞一（群馬大）
- A-001 辞書順に並ぶ順列のランク付け操作とその逆操作に対する $O(n \log n)$ 領域を用いた線形時間アルゴリズムの単純化◎明田川卓・三河賢治（新潟大）
- A-002 Balanced (C_5, C_{10}) -Foil Designs and Related Designs◎潮 和彦（近畿大）
- A-003 大規模グラフの spanner を生成するストリーミングアルゴリズムの実装◎石島正大・中野眞一（群馬大）
- A-004 区間グラフの向き付けにおける双方向支配◎原田高浩・荒木 徹（群馬大）
- A-005 根付き部分木の総利益最大化 安部友輔・◎古賀裕紀・千葉英史（法大）・斎藤寿樹（神戸大）・影山孝夫・古林 隆・五島洋之（法大）
- A-006 疑似平方数に基づいた素数判定とカーマイケル数との関係◎神保秀司（岡山大）

[数理モデル (1)]

- 9月4日（火）13:00～15:00 2A会場（西館3F W308） 座長 吉見 真聡（同志社大）
- A-007 数理計画法を用いて外光のない執務空間における個別照度環境を実現する照明制御システム：消灯も考慮する照明制御システム三木光範・◎善 裕樹・吉見真聡（同志社大）
- A-008 ハイダーの認知的バランス理論による人間関係の自己組織化◎今井 佑・長谷川智史・穴田 一（東京都市大）
- A-009 16 次格子モデルによる不均一型矩形分割の層の挿入操作 穴田浩一（早大高等学院）・◎久保田彬仁・高加晋司・夜久竹夫（日大）
- A-010 ノードの特徴量を考慮したネットワーク間類似度◎滝見優太（北大）・鈴木育男（北見工大）・山本雅人・古川正志（北大）
- A-011 共起ネットワークを用いた電子掲示板からの情報抽出◎田中航介（北大）・鈴木育男（北見工大）・山本雅人・古川正志（北大）
- A-012 帰納論理プログラミングを用いた高分子の組成と物性との関係に関する考察◎力 規晃（徳山高専）・越村三幸・橋本 司（九大）・西田光生・阿部幸浩（東洋紡）・藤田 博・長谷川隆三（九大）

[アルゴリズムと応用 (1)]

- 9月4日（火）15:30～17:30 3A会場（西館3F W308） 座長 松井 知己（中大）
- A-013 1-CNOT 回路内の縮退故障を検出する検査入力集合生成アルゴリズム◎加藤貴昭・山田敏規（埼玉大）
- A-014 可逆回路内の単一縮退故障に対する診断可能性について◎尾添研一郎・山田敏規（埼玉大）
- A-015 最小最短パススタイナー木に対する近似アルゴリズム◎中鉢昭二郎・山田敏規（埼玉大）
- A-016 指向性アンテナを用いた無線ネットワークにおける効率的なブロードキャスト通信に関する研究◎高村裕紀・山田敏規（埼玉大）
- A-017 単位円グラフの最小支配集合問題に対する局所並列近似アルゴリズムの提案◎宇野拓也・山田敏規（埼玉大）
- A-018 耐故障性の高いセンサネットワーク構築のためのリレーノードの最適配置に関する研究◎角野俊太・山田敏規（埼玉大）

[アルゴリズムと応用 (2)]

- 9月5日（水）09:30～12:00 4A会場（西館3F W308） 座長 山西 輝也（福井工大）
- A-019 Knuth と Dekker のアルゴリズムに基づく無誤差変換を用いた多倍長演算アルゴリズムの提案と評価◎野口剛史・古賀雅伸・元山 忠（九工大）・矢野健太郎（福岡工業短大）
- A-020 MARTE Profile によるリアルタイムシステム向け性能検証手法の提案◎磯田 誠・徳永雄一（三菱）
- A-021 (講演取消)
- A-022 制御ソフトウェアの仕様整合性検証手法の検討と評価◎大貫智洋（三菱）
- RA-002 文字列圧縮を用いたネットワークセキュリティにおけるインシデント検出 衛藤公希（福岡銀行）・◎小野廣隆・山下雅史・竹内純一（九大／九州先端科学技術研究所）
- A-023 P/T ベトリネットにおける特解導出のためのアルゴリズムに関する一考察◎恐神正博・山西輝也・魚崎勝司（福井工大）
- A-024 完全K分木連結ビン型組織構造の階層間関係追加◎澤田 清（流通科学大）

[数理モデル (2)]

- 9月5日（水）15:30～17:30 5A会場（西館3F W308） 座長 和崎 克己（信州大）
- RA-003 自由選択ネットの活性・安全性判定解析アルゴリズム改善と援用ツールへの実装◎井出和人・和崎克己（信州大）
- A-025 配属方式のタイプに着目した人的資源に関わるマッチング問題◎中村早希・能上慎也（東理大）
- A-026 酵母における簡略的年齢構成モデル◎大津武士・伊東 啓・上原隆司・守田 智・吉村 仁・泰中啓一（静岡大）
- A-027 自動二輪の技術革新シミュレーション◎菅田勉介・伊東 啓・上原隆司・守田 智・吉村 仁・泰中啓一（静岡大）
- A-028 (講演取消)
- A-029 Twitter から生成した感情モデルと社会経済的現象との相関◎桃井達明・須鎗弘樹（千葉大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。（2012年12月31日時点で32歳以下）

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

【問題解決手法】

- 9月6日(木) 09:30 ~ 12:00 6A会場(西館 3F W308) 座長 岩崎 敦(九大)
- RA-004 多目的制約最適化問題: ユーザとの対話型解法の提案 ○沖本天太・Yongjoon Joe・岩崎 敦・横尾 真(九大)
- A-030 (講演取消)
- A-031 平面図形の8次格子表現 ◎神藤悠希(日大)・穴田浩一(早大高等学院)・夜久竹夫(日大)
- A-032 価値選好選択可能なモジュール仮説基準議論フレームワークによる議論の形式化 ◎仁科 慧・岡田将吾・新田克己(東工大)
- A-033 人工蜂コロニー最適化を用いた Dynamic Bayesian Network の構造学習法 ◎山室洋貴・中野秀洋・宮内 新(東京都市大)
- A-034 継続的解探索のための拡散型粒子群最適化 ◎渡辺恭成・中野秀洋・宮内 新(東京都市大)
- A-035 局所エネルギー最小化法における近傍半径パラメータの効果 ◎辻本陽平(北大)・鈴木育男(北見工大)・山本雅人・古川正志(北大)

【計算とプログラミング】

- 9月6日(木) 13:00 ~ 16:00 7A会場(西館 3F W308) 座長 宇野 毅明(NII)
- A-036 “若返り”による世代別 GC の改良 ◎深井優一・安井浩之・吉野邦生(東京都市大)
- A-037 リアルタイムレンダリングを用いた人工環境シミュレーションシステムの構築 ◎谷口総一郎・久原拓也・蔵野裕己・吉見真聡・三木光範(同志社大)
- A-038 多倍精度数のための小さな定数の剰余計算 ◎松井祥悟(神奈川大)
- A-039 情報理論における雑音因子 ◎得丸公明(衛星システムエンジニア)
- A-040 計算量理論の存亡(1): 「P ≠ EXP」証明の欺瞞 ◎山口人生(インターナショナルインテリジェントインフォメーション)

B分野: ソフトウェア(第1分冊)

【並列処理】

- 9月4日(火) 09:30 ~ 12:00 1B会場(西館 3F W307) 座長 城田 祐介(東芝)
- B-001 階層統合型粗粒度タスク並列処理のための共有データ管理手法 ◎越智佑樹・中田大貴・吉田明正(東邦大)
- B-002 階層統合型粗粒度タスク並列処理における再帰プログラムの並列 Java コード生成 ◎遠藤佑太・吉田明正(東邦大)
- B-003 マルチコアプログラムにノード並列機能を加える API の提案 ◎直木三華・緑川博子・甲斐宗徳(成蹊大)
- B-004 ウェブレット変換に基づく学習型超解像の GPU による高速化手法 ◎坂本博之・佐々木仁・零 譲・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏(神戸大)
- B-005 マルチモーダル入力に対応した重み付き多数決による識別器の GPU による高速化 ◎佐々木仁・坂本博之・零 譲・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏(神戸大)
- B-006 ベクトル量子化圧縮のコードブック生成のための Aggressive PNN 法に対する GPGPU 実装 ◎村上明男・若谷彰良(甲南大)
- B-007 GRAPE-DR ボードを用いた計算機合成ホログラム計算の高速化 ◎柳橋 健・熊木達巳・老川 稔・角江 崇・増田信之・下馬場朋禄・伊藤智義(千葉大)・福重俊幸(K&F Computing Research)

【並列分散・仮想化技術】

- 9月4日(火) 13:00 ~ 15:00 2B会場(西館 3F W307) 座長 小池 誠彦(法大)
- B-008 仮想化におけるリアルタイム制御技術の研究 ○金 成昊・Sungho Kim(日立)
- B-009 C 言語自動並列化トランスレータの開発: タスク粒度解析手法の試作とその評価 ◎小林裕昌・遠山純也・甲斐宗徳(成蹊大)
- B-010 仮想化環境下におけるホスト OS キャッシュの参照の時間的局所性の解析 ◎竹内洗祐・山口実靖(工学院大)
- B-011 スレッドを隠蔽する並列プログラミングモデルの検討・実装 ◎佐々木徹・金丸将平・ヨンジョン ジョ(九大)
- B-012 Web ベース計算リソース管理ミドルウェア: ShareTask ○齊藤隆之(アンクル)・善甫康成(法大)
- B-013 クラウドコンピューティングにおけるコストを考慮したインスタンス分類手法 ◎伊藤耕平・小坂隆浩(同志社大)

【知能ソフトウェア工学】

- 9月4日(火) 15:30 ~ 17:30 3B会場(西館 3F W307) 座長 樫山 淳雄(東京学芸大)
- B-014 フレームワークを用いた Web アプリケーションにおける変更波及解析 ◎高橋明日香・小林 洋(東海大)
- B-015 ゴール指向要求定義のゲームアプリケーション開発への適用 ◎佐藤大悟・小林 洋(東海大)
- B-016 UML/OCL アサーションのサーバサイド実装用ツールの開発 ◎田中聖一・小林 洋(東海大)
- B-017 分散システム開発でのデバグナブルなプロトコルの SPIN による検証 ◎及川雄也・小林 洋(東海大)
- B-018 環境分散優先順位型遺伝的アルゴリズムによる多段階多目的ロジスティクス・システムの設計 ◎井上古樹(宮崎産業経営大)
- B-019 災害状況に応じた脱出支援を目的とした集団知識型ロボットシステム ◎安藤孝徳・黄 潤和(法大)

【電子文書・ソフトウェア科学】

- 9月5日(水) 09:30 ~ 12:00 4B会場(西館 3F W307) 座長 品川 徳秀(筑波大)
- B-020 改良エッジパターン法による文章画像の電子透かし ◎三浦周平・彌富 仁(法大)
- B-021 タグ推薦機能の既存の文書管理システムへの組み込み手法の設計 ◎蒲澤徹彦・瀬野 瑛・萩原威志(新潟大)
- B-022 DITA に基づくソフトウェアドキュメンテーション ○奥野 拓・坂井麻里恵・伊藤 恵・大場みち子(はこだて未来大)
- B-023 RBAC モデルの形式検証 ◎鈴木大輝・岡本圭史・小林秀幸・高橋 薫(仙台大専)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2012年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- B-024 モバイルエージェントシステム AgentSphere の開発
—強マイグレーションコードのための構文木を利用したソースコード変換器—
.....◎近田直也・鈴木幸祐・甲斐宗徳（成蹊大）
- B-025 モバイルエージェントシステム AgentSphere の開発
—エージェント移動プロトコルの設計と実装—◎黒崎信清・甲斐宗徳（成蹊大）
- B-026 モバイルエージェントシステム AgentSphere の開発
—デバッグ補助機能を持つオブジェクト操作可能なシェルの開発—◎大久保秀・甲斐宗徳（成蹊大）

[テスト・検証・解析]

- 9月5日（水）15:30～17:30 5B 会場（西館 3F W307） 座長 紙名 哲生（東大）
- B-027 要求分析モデルを用いたエンティティ間の関連と属性に対するデータライフサイクル検証手法の提案
.....◎奥田博隆（芝浦工大）・小形真平（信州大）・青木善貴・松浦佐江子（芝浦工大）
- B-028 UML アクティビティ図から構造変換された自由選択ワークフローネットに対する活性化マーキング
.....◎小林一平・和崎克己（信州大）
- B-029 Web アプリケーション設計の UML アクティビティ図に対するセマフォ導入とモデル検査
.....◎小林 巧（信州大）・山田 豊（プラグマティック・テクノロジーズ）・和崎克己（信州大）
- B-030 待ち行列理論による抽象化を用いたモデル検査手法の検討◎大林浩気・長野岳彦・茂岡知彦（日立）
- B-031 ミューテーション解析における等価ミュータント検出機能の実装◎上芝貴也・末広暁久・芳賀博英（同志社大）
- B-032 システム開発における性能評価手法◎吉村礼子・魚住光成・樋口 毅（三菱）

[開発支援・ソフトウェア保護]

- 9月6日（木）09:30～12:00 6B 会場（西館 3F W307） 座長 Chaiwat Sathawornwicht (NEC)
- B-033 エンドユーザ主導 Web アプリケーション開発技法の提案と評価◎橋本竜太・中野武司（明大）
- B-034 エンドユーザ主導開発におけるビジネスロジックの実装方式の試作◎許 杰・中野武司（明大）
- B-035 ソフトウェア設計の保守性を評価・改善するための構造診断手法の提案
.....◎岡本 渉・亀田佳代子・山下 剛・砂田徹也（東芝）
- B-036 実行時間に依存したプログラムの暗号化◎坂口英司・神崎雄一郎（熊本高専）・門田暁人（奈良先端大）
- B-037 コードの「めずらしさ」に基づく保護機構のステルス性考察
.....◎尾上栄浩・神崎雄一郎（熊本高専）・門田暁人（奈良先端大）

C 分野：ハードウェア・アーキテクチャ（第1分冊）

[コンピュータシステム技術]

- 9月4日（火）09:30～12:00 1C 会場（西館 3F W306） 座長 天野 英晴（慶大）
- RC-001 スレッドレベル並列投機実行のためのメモリリーニング機構
.....◎平田博章・藤井崇弘・藤 皓平・森田清隆・布目 淳・柴山 潔（京都工繊大）
- C-001 動的可換性解析によるスレッドレベル並列投機実行方式◎藤 皓平・布目 淳・平田博章・柴山 潔（京都工繊大）
- C-002 基本ブロック単位の命令実行バス予測方式◎安井寛幸・布目 淳・平田博章・柴山 潔（京都工繊大）
- C-003 階層ストレージにおける性能向上のためのデータ配置適正化方式◎林 真一（日立）・薦田憲久（阪大）
- C-004 ストレージ仮想化機能を用いた仮想サーバ移行方式の検討◎寺山充実・永見明久・兼田泰典（日立）
- C-005 ストレージにおけるシングル・ブール実現方式の提案◎今崎美保・野中裕介・酒井幸介・大原正義（日立）
- C-006 ユーザーの快適さを考慮した情報機器の動的電源制御
.....◎岩澤直弘・薦田登志矢・三輪 忍・中田 尚・中村 宏（東大）

[コンピュータシステム応用]

- 9月4日（火）13:00～15:00 2C 会場（西館 3F W306） 座長 緑川 博子（成蹊大）
- RC-002 GPU を用いたリアルタイムレイトレーシングの並列化
.....◎孟 林（立命館大）・上野謙二郎（立命館大 / IHI）・山崎勝弘（立命館大）
- C-007 シングル LCD 用マルチ GPU 環境 PC を用いた計算機合成ホログラムの計算高速化
.....◎高田直樹（高知大）・下馬場朋祿・杉山 充・岡田直久（千葉大）・中山弘敬（国立天文台）・白木厚司（木更津高専）・増田信之・伊藤智義（千葉大）
- C-008 H.264 動画処理に適したプロセッサシステムの設計◎吉間祐也・中野秀洋・宮内 新（東京都市大）
- C-009 CPU 及び GPU に対応した C++ と Python 向け波動光学計算ライブラリの開発
.....◎下馬場朋祿・角江 崇（千葉大）・高田直樹（高知大）・増田信之・伊藤智義（千葉大）
- C-010 FPGA を用いた位相ホログラム専用計算機 HORN-7 の開発
.....◎増田信之・平井大智・岡田直久・紀井建彦・角江 崇・下馬場朋祿・伊藤智義（千葉大）・市橋保之（NICT）
- C-011 周辺状況を触覚フィードバックするタッチパネルインタフェースの開発と評価◎越智雅俊・田村 仁（日本工大）

[LSI システムと設計技術]

- 9月4日（火）15:30～17:30 3C 会場（西館 3F W306） 座長 松本 剛史（東大）
- C-012 結晶性酸化物半導体トランジスタと Si トランジスタで構成されたメモリの
ノーマリオフコンピュータへの適用の可能性◎松崎隆徳・井上広樹・高橋康之・大貫達也・石津彦彦・長塚修平・熱海知昭・加藤 清・小山 潤・山崎舜平（半導体エネルギー研究所）
- C-013 実装方式の違いによるフォールト攻撃に対する耐性評価◎後藤 輝・塚平峻矢・吉川雅弥（名城大）
- C-014 対策回路に対するハードウェアトロイの検出
.....◎吉田将之・佐藤隆亮（名城大）・熊木武志（立命館大）・吉川雅弥（名城大）

- C-015 ハードウェア特殊化 AES 暗号回路の F P G A への実装と消費電力の測定 ○松岡俊佑 (旭川高専)・市川周一 (豊橋技科大)
- C-016 結晶性酸化物質半導体を用いた長時間のデータ保持が可能なレジスタを実装した
プロセッサを用いた低電力システムの提案 ○王丸拓郎・米田誠一・西島辰司・小林英智・傳保洋樹・大嶋和晃・
遠藤正巳・前橋幸男・小山 潤・山崎舜平 (半導体エネルギー研究所)
- C-017 資源制約を考慮したマルチプロセッサシステムの自動生成 ○松村将嘉・中野秀洋・宮内 新 (東京都市大)

[組込みシステム]

- 9月5日 (水) 09:30 ~ 12:00 4C 会場 (西館 3F W306) 座長 佐藤 健哉 (同志社大)
- C-018 消費電力見積もりが可能な不揮発性 CPU シミュレータの試作
..... 山田晋平・趙 西・◎中本幸一 (兵庫県大)・辻 幸秀・根橋竜介 (NEC)
- C-019 HDD 向けキャッシュ性能シミュレーションによる I/O 性能設計の一手法
..... ○細木浩二・長野岳彦・石川 誠 (日立)・井上和則 (HGST ジャパン)・Hung Vu (HGST)
- C-020 BD-J 実行性能向上の研究 ◎是木玄太 (日立)
- C-021 組込み制御システム向け分散リアルタイム OS のコンフィギュレーション環境
..... ◎齊藤政典・知場貴洋 (東京都市大)・伊丹悠一 (日立情報通信エンジニアリング)・
横山孝典・兪 明連 (東京都市大)
- C-022 アスペクト指向による時間駆動分散オブジェクトの実現 ◎齊藤亘弘・横山孝典・兪 明連 (東京都市大)
- C-023 (講演取消)
- C-024 組込みソフトウェア向けコーディング規約チェッカのためのカスタマイズの一方式
..... ◎福原和哉・高橋耶真人・猪股俊光・新井義和・今井信太郎 (岩手県大)

[ディペンダブルシステム]

- 9月5日 (水) 15:30 ~ 17:30 5C 会場 (西館 3F W306) 座長 金川 信康 (日立)
- RC-003 Dependable Techniques for Noise Block and Delay Variation Detection/Correction ... ○三浦幸也・大川善大 (首都大)
- C-025 高電磁環境下で論理回路に発生する過渡故障の実験的評価
..... ◎永島一磨・今井健太・新井雅之・福本 聡・和田圭二 (首都大)
- C-026 上位ハードウェア設計言語 Melasy+ による NuSMV コード生成と設計検証
..... ◎西田 翔 (信州大)・魚住有記歌 (スターインフォテック)・和崎克己 (信州大)
- C-027 NoC ルータのためのリンク間共有法におけるパイプライン・ステージの検討
..... ◎深瀬尚久・三浦康之・渡辺重佳 (湘南工科大)
- RC-004 故障木図からの例外処理の導出による通信プログラム構築手法
..... ◎長田知之・原内 聡・北村操代・山地 勉・上野泰秀 (三菱)

[リコンフィギュラブルシステムと応用]

- 9月6日 (木) 09:30 ~ 11:10 6C 会場 (西館 3F W306) 座長 吉瀬 謙二 (東工大)
- C-028 IDS 向けの Bloom Filter と偽陽性検出回路を用いたパターンマッチング回路 ◎川本美穂・小柳 滋 (立命館大)
- C-029 ダイナミック・リコンフィギュラブル技術を用いたハフ変換回路の設計
..... ◎望月要人・中野秀洋・宮内 新 (東京都市大)
- RC-005 【船井ベストペーパー賞受賞論文】
ポリフェーズ・フィルタ・バンクを用いた基数 2^k FFT に関して: 電波望遠鏡用分光器への適用
..... ◎中原啓貴・中西裕之 (鹿児島大)・笹尾 勤 (九工大)
- C-030 (講演取消)
- C-031 A Novel Detection and Recovery Techniques for Hard Errors in FPGAs
..... ○尼崎太樹・井上万輝・西谷祐樹・飯田全広・久我守弘・末吉敏則 (熊本大)

D 分野：データベース（第2分冊）

[Web]

- 9月4日（火）09:30～12:00 1D 会場（西館 3F W305） 座長 若林 啓（筑波大）
 D-001 テンプレートを用いた Web からの若者言葉の抽出手法の検討……………◎松尾朋子・安藤一秋（香川大）
 D-002 うろ覚え Web ページ再発見のための閲覧履歴における被記憶ページ特徴群の発見
 ……………◎井倉真一・近藤 司・原田史子・島川博光（立命館大）
 D-003 メタデータと映像特徴に基づく内容ベース映像推薦……………◎吉田大我・入江 豪・佐藤 隆・東野 豪（NTT）
 D-004 被災経験マイニングに向けた Blog フィルタリング……………◎安部智也・安藤一秋（香川大）
 D-005 （講演取消）
 D-006 ソーシャルブックマークにおけるスパマとその類似ユーザの抽出……………◎三瓶智昭・山田剛一・絹川博之（電機大）
 D-007 偽陽性率に着目したオンライン学習を用いたスパム判別……………◎数原良彦・鈴木 潤・片岡良治（NTT）

[マイクロブログ]

- 9月4日（火）13:00～14:40 2D 会場（西館 3F W305） 座長 熊本 忠彦（千葉工大）
 D-008 Twitter からのイベント検出および関連情報収集の高精度化
 ……………◎中澤昌美・池田和史・服部 元・小野智弘（KDDI 研）
 D-009 （講演取消）
 D-010 Twitter におけるタイムライン固有の話題の抽出……………◎星 皓介・山田剛一・絹川博之（電機大）
 D-011 Twitter におけるスパムユーザフィルタの開発とその評価……………◎中村悠一・山田剛一・絹川博之（電機大）
 D-012 Twitter 解析による通信品質低下傾向の早期検出手法の提案
 ……………◎池田和史・服部 元・小野智弘（KDDI 研）・麻生英樹（産総研）

[データベース]

- 9月4日（火）15:30～17:30 3D 会場（西館 3F W305） 座長 上田 高德（早大）
 D-013 多拠点機器データ管理における仮想計測点アクセス制御方式……………◎立床雅司・山岸義徳・菅野幹人（三菱）
 D-014 オンライン対応型データ転送フレームワークの試作と評価……………◎米田貴雄・山足光義（三菱）
 D-015 スキーマ構成文字列とワードネットの自動対応付け辞書を用いた語義ベース・スキーマ照合
 ……………◎佐藤彰洋・柴 光輝・谷垣宏一・山足光義（三菱）
 D-016 Key-Value Store 型 DBMS における SQL アクセス機能の実装と評価
 ……………◎嶋村 誠・片山大河・山地 圭・金松基孝（東芝）
 D-017 グラフデータベースにおけるキーワード検索の結果分類方式……………金 銀実・○大森 匡（電通大）
 D-018 粒度、網羅の管理と関係、運動の管理……………○高原利生（所属なし）

[情報アクセスとマイニング]

- 9月5日（水）09:30～12:00 4D 会場（西館 3F W305） 座長 山田 一郎（NHK 放送技研）
 D-019 トピックグラフを用いた相対的文書ランキング……………◎畠中翔太・三浦孝夫・島田 諭（法大）
 RD-001 LCP 配列を用いた類似文字列検索のための可変長 N-gram 抽出手法の効率化
 ……………◎木村光樹（東大）・高須淳宏・安達 淳（NII）
 RD-002 車載システム向けデータストリーム管理システムにおけるクエリ自動構築手法
 ……………◎山口晃広・本田晋也（名大）・佐藤健哉（同志社大）・高田広章（名大）
 D-020 固有値を用いたグラフ検索のためのグラフの行列表現の比較……………◎佐藤正史・木村達郎・片山 薫（首都大）
 D-021 （講演取消）
 D-022 ユーザ印象評価データの分析に基づく印象マイニング手法の提案
 ……………○熊本忠彦（千葉工大）・河合由起子（京産大）・張 建偉（筑波技術大）
 D-023 動画像自動分類への大規模分散オンライン機械学習フレームワーク Jubatus の適用
 ……………◎辻 雄介・黄 宏軒・川越恭二（立命館大）
 D-024 階層的語彙体系を利用した産業遺産の記述とその分類への適用……………○澤田貴行・青野雅樹（豊橋技科大）

[地理情報]

- 9月5日（水）15:30～16:50 5D 会場（西館 3F W305） 座長 義久 智樹（阪大）
 D-025 確率位置情報ストリームに対する履歴空間問合せ
 ……………◎早矢仕新・董ていてい・加藤 翔（名大）・石川佳治（名大/NII）
 D-026 Q & A サイトを対象とした地域情報の抽出法とその応用
 ……………◎田中友二・徳永幸生（芝浦工大）・杉山 精（東京工芸大）
 D-027 旅行計画における IER の利用とその検証の高速化……………◎日色史晃・Htoo Htoo・大沢 裕（埼玉大）
 D-028 大きさの異なる図形データののための空間データ構造管理方式……………○出木原裕順（広島国際大）

E 分野：自然言語・音声・音楽（第2分冊）

[音楽情報科学 (1)]

- 9月4日（火）09:30～12:00 1E 会場（西館 3F W304） 座長 北原 鉄朗（日大）
 E-001 GPU 上での一般化調和解析を用いたピッチ抽出の並列処理……………◎岡村瑞穂・吉田明正（東邦大）
 E-002 GPU 上でのハーモニッククラスタリングを用いた基本周波数解析の並列処理……………◎藁谷拓也・吉田明正（東邦大）
 E-003 表面筋電位を用いたバスドラム演奏時における脚部動作の解析……………◎能智崇徳・米山 淳・内田ゆず（青学大）

- E-004 モバイル機器用チューナーアプリケーションの開発を通じた AIR と C 言語ライブラリの連携
.....◎直江憲一・金子邦彦 (九大)
- E-005 精密加工工場内における雑音分散値推定法を考慮した有色性駆動源
カルマンフィルタアルゴリズムを用いた雑音抑圧法◎寺島大雅・守谷英純 (諏訪東理大)・名取隆廣 (東理大)・
若御子雅英 (ミクロン精工)・田邊 造 (諏訪東理大)・古川利博 (東理大)
- E-006 ライブ演奏楽曲の楽曲同定におけるビート情報取得手法の検討及び改善◎石倉和将・甲藤二郎 (早大)
- E-007 スペクトルディップとクロマベクトルの併用による和音推定◎黒川奈桜子・斎藤博昭 (慶大)

[音楽情報科学 (2)]

- 9月4日 (火) 13:00 ~ 15:00 2E 会場 (西館 3F W304) 座長 浜中 雅俊 (筑波大)
- E-008 音響特徴量と歌詞情報に基づく楽曲嗜好解析支援ツールの製作◎南部理奈・斎藤博昭 (慶大)
- RE-001 音楽的特徴に基づくメドレー曲の自動生成手法◎岡村亮一・大野将樹・沼尾雅之 (電通大)
- RE-002 ユーザ感性へのインタラクティブ適応に基づく楽曲推薦システム
.....◎多田圭吾 (名工大)・◎山西良典 (立命館大)・加藤昇平 (名工大)
- E-009 テンポの類似性を取り入れた演奏表情生成の検討
.....◎柴崎正浩 (芝浦工大)・鈴木泰山 (ピコラボ)・徳永幸生 (芝浦工大)・杉山 精 (東京工芸大)
- E-010 筋電センサーを用いた歌声分析のための喉頭音源分析◎平山健太郎・伊藤克亘 (法大)
- E-011 オーディオ指紋検索インデックスのコンパクト化
.....◎齋藤成美・松本和幸 (徳島大)・鈴木基之 (大阪工大)・北 研二 (徳島大)

[検索・質問応答・抽出]

- 9月4日 (火) 15:30 ~ 17:30 3E 会場 (西館 3F W304) 座長 増市 博 (富士ゼロックス)
- E-012 質問文の意味を考慮した Wikipedia からの回答文抽出手法
.....◎森 泰宏・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一 (同志社大)
- E-013 (講演取消)
- E-014 不要語除去を用いた商品情報の比較支援システム◎松井 崇・大和田勇人 (東理大)
- E-015 小説推薦システムの構築に向けた検索表現と書評の分析◎増田純太・杉本 徹 (芝浦工大)
- E-016 クラメールの関連係数を援用した類似文書検索システムの提案◎榎松理樹 (岩手県大)
- E-017 商品改善に繋がる比較意見の抽出◎石澤善雄・細見 格 (NEC)

[語彙]

- 9月5日 (水) 09:30 ~ 11:40 4E 会場 (西館 3F W304) 座長 荒牧 英治 (東大)
- E-018 連想メカニズムを用いた直喩の意味解析法◎鞠山大樹・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一 (同志社大)
- E-019 品詞分布を用いた日本語文書のジャンル分類◎白井匡人・島田 諭・三浦孝夫 (法大)
- E-020 物語文における登場人物の抽出◎山崎堅寛・浦谷則好 (東京工芸大)
- E-021 統計指標を用いた日本語コーパスからのコロケーション情報抽出と精度評価
.....◎園田 匠・島田 諭・三浦孝夫 (法大)
- E-022 対話型観光地推薦システムにおける未知語の属性推定◎渡辺雄介・杉本 徹 (芝浦工大)
- E-023 (講演取消)

[音声情報処理]

- 9月5日 (水) 15:30 ~ 17:30 5E 会場 (西館 3F W304) 座長 西村 竜一 (和歌山大)
- E-024 テキスト音声合成のための肉声を利用したアクセント型推定の検討
.....◎川島啓吾・大塚貴弘・古田 訓・山浦 正 (三菱)
- E-025 視覚障がい者のための物語テキストの自動朗読システム
.....◎金子つばさ (横浜国大)・吉田有里 (日本ビジネスシステムズ)・田村直良 (横浜国大)
- E-026 Noise Robust Voice Conversion using GA-based Informative Feature
.....◎澤田耕平・田上陽嗣・田村哲嗣・竹原正矩・速水 悟 (岐阜大)
- E-027 汎用・識別的特徴量を用いた音声区間検出◎奥田博也・田村哲嗣・速水 悟 (岐阜大)
- E-028 課題解決知識を用いた音声対話検索システム◎永江尚義・山崎智弘・市村由美・若木裕美 (東芝)
- E-029 聴覚知覚特性に基づいたピッチ検出方式◎伏木田勝信 (KF 研究所)

[自然言語処理一般]

- 9月6日 (木) 09:30 ~ 12:00 6E 会場 (西館 3F W304) 座長 二宮 崇 (愛媛大)
- E-030 Towards the Integration of Natural Language and Eye Tracking Information
for Predicting Comma Placement in Chinese Sentence◎陳チェン (東大)・狩野芳伸 (JST)・相澤彰子 (東大/NII)
- E-031 A Method for Corresponding Paragraphs with Sentences in Academic Paper's Abstract
.....◎Yuan Li・Akihiro Kameda (The University of Tokyo)・Kiyoko Uchiyama (NII)・
Akiko Aizawa (The University of Tokyo/NII)
- E-032 文全体の特徴を利用した並列構造解析◎鈴木俊友・吉川 毅・野中秀俊 (北大)
- E-033 (講演取消)
- E-034 Automatic Tweaking of Confounding Training Tweets for Improving Classification Accuracy
.....◎Muhammad Asif Hossain Khan・Masayuki Iwai・Kaoru Sezaki (The University of Tokyo)

[対話・コミュニケーション]

- 9月6日 (木) 13:00 ~ 14:40 7E 会場 (西館 3F W304) 座長 東中 竜一郎 (NTT)
- E-035 性別・年代別の嗜好情報を基にした話題語提供システム◎南 光・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一 (同志社大)
- E-036 会話ロボットにおける感情を表現する音声合成◎島部貴由・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一 (同志社大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2012年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- E-037 シナリオ対話感情コーパスの構築と分析◎松本和幸・大西 翼・北 研二・任 福継 (徳島大)
 E-038 会話の表層構造に着目した対話エージェントの設計◎小林 司・森井昌克 (神戸大)
 E-039 (講演取消)

F 分野：人工知能・ゲーム (第2分冊)

[エージェント]

- 9月4日(火) 09:30 ~ 12:00 1F 会場 (西館 3F W303) 座長 津田 宏治 (産総研)
 F-001 エージェントプログラミングの不要な初心者向け MAS 学習支援ソフトウェアの設計と試作
◎武崎敬太郎・今野 将 (千葉工大)
 F-002 序数効用を考慮した政党世論の意見伝播モデル
◎須藤勇一郎 (名工大)・田中克典 (メイトツコム)・武藤敦子・加藤昇平 (名工大)
 F-003 オークションを用いたマルチエージェントによるスポーツスケジューリングに関する考察
◎土谷雅人・稲垣 潤・本郷節之・上野健治・岡崎哲夫 (北海道工大)
 F-004 マルチエージェント環境下における共生モデルの提案◎新井成一・島田 諭・三浦孝夫 (法大)
 F-005 マルチロールを持つエージェントによるサービス交換シミュレーション◎伊藤康太・藤田 悟 (法大)
 F-006 産業関連表に基づく消費シミュレーション◎佐藤 光・藤田 悟 (法大)
 F-007 より安定的な移動マルチエージェント◎塩谷 勇 (法大)

[ゲーム情報学]

- 9月4日(火) 13:00 ~ 15:00 2F 会場 (西館 3F W303) 座長 ライエル ゲリムベルゲン (東京工科大)
 F-008 RoboCup レスキューシステムにおけるフェロモンコミュニケーションを用いた
 エージェント間の協調行動獲得手法の評価○笹岡久行 (旭川高専)
 F-009 囲碁棋譜における Suffix Array を用いた着手記号列のインデックス手法
◎加藤雄大・新谷虎松・大園忠親・白松 俊 (名工大)
 F-010 麻雀における行動戦略に関する研究◎高橋翔悟・六井 淳 (島根大)
 F-011 (講演取消)
 F-012 合議アルゴリズムにおける適切なプレーヤ重み変更方法の検討
◎當間啓介・遠藤聡志・當間愛見・赤嶺有平・山田孝治 (琉球大)
 F-013 オリジナルゲームの強化学習型 CPU◎中村 杏 (法大)

[群知能・集合知]

- 9月4日(火) 15:30 ~ 17:30 3F 会場 (西館 3F W303) 座長 藤田 悟 (法大)
 F-014 スイッチトポロジを導入した粒子群最適化法の複数探索能力
◎佐野亮介 (法大)・神野健哉 (日本工大)・斎藤利通 (法大)
 F-015 差分進化による最大電力点探索安藤直人・◎村岡政哉・斎藤利通 (法大)
 F-016 柔軟な粒子群最適化法と多目的問題◎佐藤拓海・佐野亮介・斎藤利通 (法大)
 F-017 遺伝的シミュレーテッドアニーリングを用いた QoS マルチキャスト経路選択法◎彭 博・李 磊 (法大)
 F-018 エージェントベース社会シミュレーションを用いた情報伝播の分析
◎上鍋秀幸・能登正人 (神奈川大)・森住哲也 (ネットエスアイ東洋)・木下宏揚 (神奈川大)
 F-019 マイクログラフ分析のための因果モデル作成支援システムの試作
◎片山真也・白松 俊・大園忠親・新谷虎松 (名工大)

[Web 情報処理]

- 9月5日(水) 09:30 ~ 12:00 4F 会場 (西館 3F W303) 座長 松原 繁夫 (京大)
 F-020 Web 文章における閲覧時間と未読情報に着目した情報推薦◎折原レオナルド賢・横井 健 (産業技術高専)
 RF-001 既存 Web ページ同期編集システム WFES における差分同期機構の試作
◎合田拓史・井上良太・加藤雄大・白松 俊・大園忠親・新谷虎松 (名工大)
 F-021 Mention ツイートからのバースト期間の抽出
◎小出明弘・高橋友美・斉藤和巳 (静岡県大)・風間一洋 (NTT)・島海不二夫 (東大)
 F-022 オンラインショッピングにおける考慮喚起のための商品口コミ情報解析
◎安井顕誠・井倉真一・近藤 司・原田史子・島川博光 (立命館大)
 F-023 Consideration of Automatic Property and Its value weight factors in Scalable Ontology Instance Matching
◎RudraPratap DebNath (Toyohashi University of Technology)・
 Md.Hanif Seddiqui (University of Chittagong)・Masaki Aono (Toyohashi University of Technology)
 F-024 対話からの興味をもとに情報を推薦するボットの作成
◎五十島志織 (東京工科大)・富永和人 (所属なし)・亀田弘之 (東京工科大)
 F-025 局所改善法によるレビュー変化点検出法◎山岸祐己・斉藤和巳・大久保誠也 (静岡県大)

[学習・最適化]

- 9月5日(水) 15:30 ~ 17:30 5F 会場 (西館 3F W303) 座長 大須賀 昭彦 (電通大)
 F-026 観測されたシンボルの関連性を用いた強化学習の転移学習◎利根義宣・金子貴輝・長谷川修 (東工大)
 RF-002 分散ラグランジュ緩和プロトコルにおける局所情報にもとづく価格更新の効果
◎浅野大介・松井俊浩・松尾啓志 (名工大)
 RF-003 Action-GDL における集中処理化と情報漏洩を考慮する Junction-Tree の変形手法
◎岩下和真・松井俊浩・松尾啓志 (名工大)

- F-027 脳波測定時の電極数最適化におけるクラスタリング手法の有用性の検討
..... ◎横羽 曜・Chakraborty Goutam・馬淵浩司・松原雅文・菊池大悟（岩手県大）
- F-028 MaxSAT の一拡張について ○越村三幸・廖 曉鵬・藤田 博・長谷川隆三（九大）
- F-029 （講演取消）

[知識発見]

- 9月6日（木）09:30～12:00 6F 会場（西館 3F W303） 座長 福田 直樹（静岡大）
- F-030 Twitter の実況書き込みを利用したスポーツ番組のイベント抽出 ◎丸尾将輝・大野将樹・沼尾雅之（電通大）
- RF-004 N-mode SVD を用いたアンケートデータ解析手法の性能評価 ◎正井宏明・吉川大弘・古橋 武（名大）
- F-031 階層分類による科学技術論文抄録と国際特許分類関連性決定手法の提案 ◎ Yang Chao・青野雅樹（豊橋技科大）
- F-032 ユーザの閲覧傾向を用いた有用な未知情報の推薦 ◎近藤 司・原田史子・島川博光（立命館大）
- F-033 足圧センサーから得られる時系列データを用いたカロリー消費量の算出
..... ◎田頭哲大・Chakraborty Goutam・馬淵浩司・松原雅文（岩手県大）
- F-034 （講演取消）
- F-035 運転ライフログを活用した軽微な事故分類の試み ◎入川壮太・岡本満喜子・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）

[ネットワーク情報処理]

- 9月6日（木）13:00～16:00 7F 会場（西館 3F W303） 座長 片上 大輔（東京工芸大）
- RF-005 【FIT 論文賞受賞論文】
ボジュレーションコーディングを適用した SpikeProp ネットワークの耐ノイズ性の向上
..... ◎新 友太・高瀬治彦・川中普晴・鶴岡信治（三重大）
- RF-006 既存 Web ページ同期編集機構 WFE のクラウド環境への適用について
..... ◎井上良太・加藤雄大・合田拓史・白松 俊・大田忠親・新谷虎松（名工大）
- F-036 （講演取消）
- F-037 語句関連グラフを用いたペイズ推定による対話型法律相談支援システム ◎水木龍太郎・黄 潤和（法大）

G 分野：生体情報科学（第2分冊）

[NC とバイオインフォマティクス]

- 9月4日（火）09:30～12:00 1G 会場（西館 2F W204） 座長 竹中 要一（阪大）
- RG-001 ドッキングシミュレーション結果と化合物情報の学習による化合物の結合判別
..... ◎岡田正人・青木 伸・金盛克俊・大和田勇人（東理大）
- G-001 アブストラクトを用いたタンパク質相互作用に関する医学生物学文献の分類
..... ◎吉田貴哉・金盛克俊・大和田勇人（東理大）
- G-002 遺伝的アルゴリズムに基づく動的バイナリニューラルネットの学習 ◎中山雄太・斎藤利通（法大）
- G-003 簡素な動的バイナリニューラルネットの基本学習機能 ◎森安淳吾・上月良太・斎藤利通（法大）
- G-004 デジタルスパイク位相マップの分岐現象 的場昭男・堀本成俊・○斎藤利通（法大）
- G-005 色覚モデルを用いた配色の視認性の予測手法 ◎山口美樹・篠沢佳久（慶大）
- G-006 神経力学系のダイナミクスに基づく表面筋電位からの腕の動作推定 ◎山根 健（帝京大）

[ME と生体情報科学]

- 9月4日（火）13:00～15:00 2G 会場（西館 2F W204） 座長 小池 康晴（東工大）
- G-007 マッサージの効果の評価法構築に向けて ◎鈴木智広・鈴木泰博・秋庭史典（名大）
- G-008 指数時間ステップングを用いた3次元散乱体のFDTD解析 ◎鈴木将弘・阿部陽介・谷藤忠敏（北見工大）
- G-009 近赤外光を用いた時間領域測定によるヒト脳光学パラメータ簡易推定法 ◎青木伸雄・谷藤忠敏（北見工大）
- G-010 瞬き検出のための黒目面積を用いた自動閾値設定法の評価 ◎加藤秀太・高野博史・中村清実（富山県大）
- G-011 定常状態視覚誘発電位を用いた無線通信による機器制御の検討 ◎鶴 浩二（大分高専）
- G-012 ペンタブレットとスクリーンリーダを組み合わせた視覚障がい者のためのWEB閲覧支援システムの開発
..... ◎内田貴大・大西祐哉・大矢哲也・小山裕徳・川澄正史（電機大）

[医用画像]

- 9月4日（火）15:30～17:30 3G 会場（西館 2F W204） 座長 彌富 仁（法大）
- G-013 Incorporating Zoom Motion Estimation in Video Compression: A More General Approach
for Motion Compensated Predictive Coding ○Morsalin Uz Zoha・Jun Ohya（Waseda University）
- G-014 A Registration between 3D Ultrasound Images and 3D Fetal Model for Locating a Fetal Mouth in a Fetal Surgical
Navigation System ◎Rong Xu・Jun Ohya・Bo Zhang（Waseda University）・
Yoshinobu Sato（Osaka University）・Masakatsu G. Fujie（Waseda University）
- G-015 慣性モーメントテンソルを用いた胸部X線CT画像からの肺結節の検出 ◎柳原毅暢・滝沢徳高（筑波大）
- G-016 尋常性乾癬の病勢定量化のための基礎的な検討 ◎向井一宏・彌富 仁（法大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。（2012年12月31日時点で32歳以下）

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

H 分野：画像認識・メディア理解（第3分冊）

【映像解析・照明】

- 9月5日（水）09:30～12:00 4G 会場（西館 2F W204） 座長 島田 敬士（九大）
- H-001 大規模映像解析システム向けの解析制御ミドルウェアの提案 ○小山和也・有熊 威・白石展久・永井洋一・河又恒久（NEC）
- H-002 大規模映像解析システム向けの解析制御ミドルウェアの試作 ○有熊 威・小山和也・白石展久・永井洋一・河又恒久（NEC）
- H-003 色相を考慮した画像検索手法 ○荒川貴弘・清水郁子（農工大）
- H-004 野球中継映像におけるスコアテロップのレイアウト認識 ○貞元太志・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏（神戸大）
- H-005 昼間における空画像からの雲と太陽領域の抽出手法 ○佐々木稔（茨城大）・日比 晶（日立情報制御ソリューションズ）
- H-006 テクスチャ特徴と AdaBoost を用いた煙検出手法の検討 ○飯田裕介・丸田英徳・黒川不二雄（長崎大）
- H-007 局所特徴量の特徴点位置に基づくクラスタリングを用いた被写体識別 ○比嘉恭太・岩元浩太・野村俊之（NEC）

【顔・ジェスチャ】

- 9月5日（水）15:30～17:30 5G 会場（西館 2F W204） 座長 堀田 政二（農工大）
- H-008 人物不特定可変テンプレートを用いた顔画像認識の高速化 ○サイモン クリピングデル・藤井真人（NHK）
- H-009 勾配方向特徴量とパーティクルフィルタを用いた顔の向きやスケール変化に頑健な目検出法 ○小塩達也・浅野誠之・高野博史・中村清実（富山県大）
- H-010 （講演取消）
- H-011 関節軌道の相関を考慮した身体動作認識 ○加藤拓也・加藤昇平（名工大）
- H-012 距離センサを活用した特定動作に対する動作判定システム ○柴門恒希・浮田宗伯・萩田紀博（奈良先端大）
- H-013 Template Based Human Body Modeling using Kinect ○Nima Baidar（東大）

【3次元処理・ステレオ】

- 9月6日（木）09:30～12:00 6G 会場（西館 2F W204） 座長 清水 郁子（農工大）
- H-014 デジタルホログラフィによる三次元計測 ○Qiyue Yu・田口 亮（名工大）・保黒政大（中部大）・堀米秀嘉（HolyMine）・梅崎太造（名工大）
- H-015 RGB-D カメラによる運動中の人体の3次元モデル化手法 ○大川 涼・田村 仁（日本工大）
- H-016 視体積交差におけるカメラ配置の最適化 ○海老澤一生・東海林健二・外山 史・森 博志（宇都宮大）
- H-017 人物領域抽出のためのステレオカメラによる背景差分法の一検討 ○上野智史・三功浩嗣・内藤 整（KDDI 研）
- H-018 K-means を用いた Area-based マッチングによる視差マップノイズの削除 ○張 偉・Chakraborty Goutam・馬淵浩司・松原雅文（岩手県大）
- H-019 距離センサを用いた物体の分離・識別に関する検討 ○前田大輔・森本雅和・藤井健作（兵庫県大）
- H-020 移動 Kinect 画像中からの移動物体の抽出と三次元形状のセグメンテーションに関する検討：
Probabilistic Boundary Edge Map を用いた Fixation ベースのセグメンテーション手法の提案
..... 立松直倫・○大谷 淳（早大）・Larry Davis（University of Maryland）

【ITS・リモートセンシング】

- 9月6日（木）13:00～16:00 7G 会場（西館 2F W204） 座長 松尾 治夫（日産）
- H-021 車載ステレオカメラによる移動障害物検知 ○金森勇人・小田祐希・藤村真生（大阪工大）
- H-022 車載カメラによる運転評価手法に関する検討 ○石崎 達・森本雅和・藤井健作（兵庫県大）
- H-023 奥行き検出のための SURF における特徴点抽出パラメータの一検討 ○山本一貴・杉山豪一・濱林雅幸・嶋 好博（明星大）
- H-024 モーメント特徴量を用いた低解像度自動車登録番号標数字の識別 藤田和弘（龍谷大）・○四宮康治（京都工繊大／兵庫県警）・篁 直樹（龍谷大）・中森伸行（京都工繊大）
- H-025 教師付き分類を用いたリモートセンシング画像の土地利用分類 ○白石知弘・本岡 毅・Rajesh Thapa（宇宙航空研究開発機構）・磯口 治（リモート・センシング技術センター）・渡邊 学・島田政信（宇宙航空研究開発機構）

【文字認識・物体認識】

- 9月4日（火）09:30～12:00 1H 会場（西館 2F W203） 座長 前川 仁（埼玉大）
- H-026 Compact Binary Local Descriptor for Object Identification ○岩元浩太・間瀬亮太・野村俊之（NEC）
- H-027 マルチカメラを用いた極細電線印字文字の高精度認識 ○三谷大志・田口 亮（名工大）・保黒政大（中部大）・梅崎太造（名工大）
- H-028 物体特徴知識ベースを用いた物体認識 ○古川拓也・吉村枝里子・渡部広一・土屋誠司（同志社大）
- H-029 組合せ最適化アルゴリズムに基づくオブジェクトとラベルのレイアウト認識 ○大浦淳貴・辻 亮弥・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏（神戸大）
- H-030 処方薬剤の画像識別に関する研究 ○村井貴昭・森本雅和・藤井健作（兵庫県大）
- H-031 筆記の向きや筆記具の持ち方が自由な空中手書き文字認識 ○中井 満・草島広志（富山県大）
- H-032 空中手書き文字認識におけるペン先方向の加速度特徴の有効性 ○大坪由香利・中井 満（富山県大）

[AR・VR・応用]

- 9月4日(火) 13:00～15:00 2H会場(西館2F W203) 座長 浮田 宗伯(奈良先端大)
- H-033 マーカーを用いないARにおける特徴記述子の評価について◎野寄厚太郎・子安大士・前川 仁(埼玉大)
- H-034 三次元物体の姿勢検出における2D-3D マッチング手法◎小林達也・加藤晴久・米山暁夫(KDDI 研)
- H-035 トリックアート制作支援のためのイベントツール開発◎神田尚希・渡辺賢悟・宮岡伸一郎(東京工科大)
- H-036 イラスト編集ツールにおける欠損補完処理手法の開発◎鈴木啓晃・渡辺賢悟・宮岡伸一郎(東京工科大)
- H-037 位相差スペクトルによる音源までの距離推定 - 測定環境と位相差値のばらつきとの関係について◎櫻井智章・霜山竜一(日大)
- H-038 ハードウェア処理に適したHOG特徴量計算手法と回路設計◎露木明宣・富岡洋一・北澤仁志(農工大)

[人物検出・移動検知]

- 9月4日(火) 15:30～17:30 3H会場(西館2F W203) 座長 大谷 淳(早大)
- H-039 動的背景差分法を用いた飛び出し検知システム◎星 聡・花泉 弘・藤田 悟(法大)
- H-040 歩行者検知におけるVisual Word 選択手法◎張 興国・猿田和樹・寺田裕樹・陳 国羅(秋田県大)
- H-041 (講演取消)
- H-042 防犯用カメラを用いた不審者検出法の基礎的検討◎溝口慶範(早大)
- H-043 識別的モデルによる人群3次元座標からのグループ推定◎守口裕介(奈良先端大)・
Sushant Gaurav (Indian Institutes of Technology Rajasthan)・浮田宗伯・萩田紀博(奈良先端大)
- H-044 Object segmentation based on multi-resolution texture analysis◎Lingkun Luo・Hiroshi Sako (Hosei University)

[動作解析]

- 9月5日(水) 09:30～12:00 4H会場(西館2F W203) 座長 クリピングデル サイモン(NHK)
- H-045 表情と手振りの組み合わせから成る手話動作認識のためのマルチモーダル特徴量抽出法の検討◎羅 丹・大谷 淳(早大)
- H-046 ベイジアンネットワークを用いた店舗内における消費者の行動認識に関する研究◎鄭 曜(早大)
- H-047 A Study of Extracting 3D Facial Feature from Kinect's Image by Integrating ASM and Depth Map◎李 岩・Dan Luo・大谷 淳(早大)
- H-048 Fundamental Study of Reconstructing Botanical Tree's 3D Models from Kinect's Images and Dynamical Behaviors of Non-leafy Trees◎Khanh N Do・大谷 淳(早大)

I分野：グラフィクス・画像(第3分冊)

[画像特徴・検出]

- 9月5日(水) 15:30～17:30 5H会場(西館2F W203) 座長 境田 慎一(NHK)
- I-001 KL変換に基づく固有空間法を用いた最高速度制限標識の文字認識◎宮田繁春・竹原 伸・酒井英樹(近畿大)
- I-002 類似領域特徴量を用いた類似画像検索手法◎呉 宇星・六井 淳(島根大)
- I-003 4色モニタを用いた画像へのオーバーレイ情報の付与方法◎伊藤 浩(日大)
- I-004 テキスチャと動きの時空画像による類似プレイ検索◎吹場拓郎・青木恭太(宇都宮大)
- I-005 Bag-of-Visual Words 表現を用いた放送映像中の類似シーン検出◎井尻将太・貞元太志・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏(神戸大)
- I-006 Seam Carvingによる電子透かしのためのライン除去後の画像再構成法◎藤村 誠(長崎大)・黒田英夫(FPT University)・今村幸祐(金沢大)

[画像復元・超解像]

- 9月6日(木) 09:30～12:00 6H会場(西館2F W203) 座長 久保田 彰(中大)
- RI-001 [FIT論文受賞論文]
ウェーブレット多重解像度成分のレジストレーションによるデジタルシネマから
超高精細映像への空間超解像法の検討◎松尾康孝(早大/NHK)・岩崎真也・山村勇太・甲藤二郎(早大)
- I-007 Exemplar-based アルゴリズムと行列のランク最小化に基づく画像修復手法◎嶋田和馬・高橋智博(東理大)・小西克巳(工学院大)・古川利博(東理大)
- I-008 輝度勾配分布の復元による画像の質感改善技術◎齊藤佳奈子・金子敏充・窪田 進(東芝)
- I-009 マルチコアCPUを用いた放送映像向け超解像の実時間処理◎君山健二・小堀 理(東芝)
- I-010 シームレステクスチャ生成法を用いた映画フィルムのスクラッチ補完と動画画像評価◎丸 和広(芝浦工大)・
松木靖明(アイデンティファイ)・徳永幸生(芝浦工大)・杉山 精(東京工芸大)
- I-011 階層的超解像による電子ズームの構成方法◎菅原佑貴・橋本明信・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏(神戸大)
- I-012 超解像度を利用したFTV画像生成方式◎劉 美辰(名大)・メヒルダゴバナヒブル テヘラニ(NICT)・
藤井俊彰(名大)・谷本正幸(名古屋産業科学研究所)

[画像表現]

- 9月6日(木) 13:00～16:00 7H会場(西館2F W203) 座長 井口 和久(NHK)
- I-013 複素関数を利用した画像のサブサンプリング◎竹内良亘(いわき明星大)
- I-014 ハイパススペクトルに基づく植生の塩分ストレス評価◎宇都有昭・小杉幸夫(東工大)
- I-015 改良したGAハーフトーン手法による高品質な二値化画像の生成◎古屋 保・森 邦彦(鹿児島大)
- I-016 エッジ保存重心ボロノイ分割に基づくハーフトーン◎井上光平・原 健二・浦浜喜一(九大)
- I-017 ズームレンズを用いないズーム可能なカラーホログラフィックプロジェクション◎下馬場朋禄・角江 崇・増田信之・伊藤智義(千葉大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2012年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- I-018 ポータブルデジタルホログラフィック顕微鏡の高分解能化
..... ◎白木厚司 (木更津高専)・谷口雄祐・下馬場朋禄・増田信之・伊藤智義 (千葉大)

[画像符号化]

- 9月4日(火) 09:30 ~ 12:00 1J会場 (西館 2F W202) 座長 高村 誠之 (NTT)
- I-019 複数フレーム参照によるフレーム内挿法とその映像符号化への応用
..... ◎三須俊枝・松尾康孝・岩村俊輔・井口和久・境田慎一 (NHK)
- I-020 Slant-Haar 変換符号化の画像圧縮特性についての検討◎大見克磨・吉田 茂 (愛知工大)
- I-021 HEVC における色差直交変換ブロック分割に関する一検討
..... ◎峯澤 彰・杉本和夫・関口俊一 (三菱)・市ヶ谷敦郎・境田慎一 (NHK 放送技研)
- I-022 4K 対応 HEVC リアルタイムソフトウェアデコーダの開発
..... ◎服部亮史・井須芳美・関口俊一 (三菱)・市ヶ谷敦郎・杉藤泰子 (NHK 放送技研)
- I-023 回転テンプレートマッチングを用いた画面内予測効率の改善◎姜 立・八島由幸 (千葉工大)
- I-024 復号演算量低減に向けた画面内挿予測符号化への HEVC 適用に関する一考察
..... ◎渡邊真由子・北原正樹・小野尚紀・清水 淳 (NTT)
- I-025 DCT 係数のスパース化による画像品質評価法に適した画像圧縮方式◎石田淳一 (中大)・
ジーン チョン (国立情報学研)・久保田彰 (中大)・Ortega Antonio (University of Southern California)

[自由視点・3D 映像処理]

- 9月4日(火) 13:00 ~ 15:00 2J会場 (西館 2F W202) 座長 藤井 俊彰 (名大)
- I-026 裸眼 3D ディスプレイのための複数人に対応した視聴者トラッキング◎下山賢一・瀧本崇博 (東芝)
- I-027 多視点 2 眼一体型カメラのキャリブレーション◎多田和広・池畑 諭・相澤清晴 (東大)
- I-028 Sparse Decomposition of EPI by Using Greedy Pursuit Algorithm
..... ◎Qiang Yao・Toshiaki Fujii (Nagoya University)
- I-029 ステレオ 3D カメラや距離画像センサを用いた空間再現手法の一検討◎三功浩嗣・内藤 整 (KDDI 研)
- I-030 投影装置補正による位相シフト法を用いた三次元計測精度の向上
.....◎加藤 嗣・田口 亮 (名工大)・黒保政大 (中部大)・梅崎太造 (名工大)
- I-031 階層間の奥行き推定差を利用したピラミッドベース視点内挿法◎中嶋俊介・久保田彰 (中大)

[オーディオビジュアル情報処理]

- 9月4日(火) 15:30 ~ 17:30 3J会場 (西館 2F W202) 座長 内藤 整 (KDDI 研)
- I-032 カメラ付き携帯電話の情報検出を目的とした電子透かし
.....◎伏屋誠人 (成蹊大)・野深晃弘 (日商エレクトロニクス)・小池 淳・村上仁己 (成蹊大)
- I-033 SIFT 特徴量を用いた顔認証に関する一考察◎稲葉俊輔・村上仁己・小池 敦 (成蹊大)
- I-034 MPEG-7 アノテーションおよび検索支援ツールの開発: 実用化に向けた 7 項目 4 階層分類法の研究
..... ◎藤本文彦 (東京工芸大 / 藤木新鋭科学研究所)・深井信吾 (藤木新鋭科学研究所)
- I-035 検出精度を維持した並列分散によるテロップ検出◎後藤充裕・佐藤 隆・東野 豪 (NTT)
- I-036 Personalized TV-program Recommendation using User's Viewing Histories and Time-Frames
..... ◎Quoc Hung Dinh・Pao Sriprasertsuk・亀山 渉 (早大)・福田健二 (WOWOW)

[コンピュータグラフィックス]

- 9月5日(水) 09:30 ~ 12:00 4J会場 (西館 2F W202) 座長 栗原 恒弥 (日立)
- I-037 拡張演算命令を用いた画像処理用ドメイン固有言語 LIC の高速化◎豊住耕一・高橋時市郎 (電機大)
- I-038 レゴブロックのための 3 次元近似形状組み立て支援システム◎北川佑樹・高井昌彰 (北大)
- I-039 スクリプト言語を用いた CG アニメーション演習教材の開発◎古澤大樹・松田 洋・新藤義昭 (日本工大)
- I-040 3DCG 映像のための手描き風モーションブラー◎酒井健行 (法大)
- I-041 動的接触角を考慮したインタラクティブな水滴表現法◎佐藤正記・高橋時市郎・森谷友昭 (電機大)
- I-042 環境への適応により 3 次元構造を獲得する植物自動モデリングに関する研究
..... ◎上原和樹・赤嶺有平・遠藤聡志 (琉球大)・根路銘もえ子 (沖縄国際大)
- I-043 PatchMatch を用いたアニメ画像のマッチングの高速化
..... ◎Pablo Garcia Trigo (東大)・金森由博 (筑波大)・Yonghao Yue・今井 星・西田友是 (東大)

[エンタテインメント]

- 9月5日(水) 15:30 ~ 17:30 5J会場 (西館 2F W202) 座長 宮下 芳明 (明大)
- I-044 KINECT を利用した 3D バーチャルリアリティ技術の基礎的研究◎笠原正樹・花泉 弘 (法大)
- I-045 NPR 機能を付加したダンスの動作解析・指導システム◎筋野正太・森谷友昭・高橋時市郎 (電機大)
- I-046 仮想オーケストラを指揮するための演奏記号を考慮した楽器の自動演奏法
..... ◎洲崎実里・砂川宗一郎・森谷友昭・高橋時市郎 (電機大)
- I-047 ゲーミフィケーションが消費者行動に与える影響の事例分析◎古屋伸太郎・森本祥一 (専大)
- I-048 オンラインゲームの若年者利用実態と訴求構造◎竹野真帆・高田明典 (フェリス学院大)
- I-049 プレイヤーの成長を考慮したゲームバランスチューニングに関する検討◎出嶋創士・松下宗一郎 (東京工科大)

[画像計測]

- 9月6日(木) 09:30 ~ 12:00 6J会場 (西館 2F W202) 座長 浜本 隆之 (東理大)
- I-050 監視用デジタルレコーダー向けデータ管理プラットフォームの開発◎野口正雄・島田昌明・森田知宏 (三菱)
- I-051 ステアリングホイールカメラを用いた信頼度マップに基づくドライバー画像生成
.....◎長谷川陽一・河中治樹・小栗宏次 (愛知県大)

- I-052 単一固定カメラによる太陽光の入射角が最小となる時刻に基づく屋外建造物の垂直平面の向き推定
.....◎山村哲平・青木恭太（宇都宮大）
- I-053 正面顔映像から得られる目の動きと加速度・角速度センサから得られる体動との関係
.....◎鶴見亮介・青木恭太（宇都宮大）
- I-054 マイクロスコブを用いた皮膚画像からの血行計測○村上知子・山下照美・近藤浩一（東芝）
- I-055 GPU による高速 H.264 動き補償予測の性能改善 ◎鷹野美美代・森吉達治（NEC）
- I-056 保育士養成教育向け歌唱教育支援のための口の形状追尾システム◎小林翔太・中平勝子（長岡技科大）

【画像処理応用】

- 9月6日（木）13:00～16:00 7J 会場（西館 2F W202） 座長 酒澤 茂之（KDDI 研）
- I-057 AMD GPU と OpenCL を用いた波面記録法の実装 ◎松戸悠亮・下馬場朋禄・西辻 崇・岡田直久・翁 剣同・角江 崇・増田信之・伊藤智義（千葉大）
- I-058 微小形状特徴と微小凹凸特徴による床素材の静摩擦係数の推定○田村 仁（日本工大）
- I-059 トポロジーマッピングを用いたフラクタル輪郭抽出法◎本間 大・井田 孝（東工大）
- I-060 人物画像における衣服領域の推定と色情報の抽出 ◎松田直樹・横田翔皇・清水郁子（農工大）・柳井啓司（電通大）・柴原一友・藤本浩司（テンソル・コンサルティング）
- I-061 （講演取消）

J 分野：ヒューマンコミュニケーション&インタラクション（第3分冊）

【ヒューマンコミュニケーション（1）】

- 9月4日（火）09:30～12:00 1K 会場（東館 1F E101） 座長 福住 伸一（NEC）
- RJ-001 窓越しインタフェース MoPaCo による指示作業への効果検証
..... ◎石井 亮・小澤史朗・川村春美・小島 明（NTT）・中野有紀子（成蹊大）
- RJ-002 運動目標の達成を促進する仮想ランナー提示システムの提案◎鈴木大介・鈴木拓央・中内 靖（筑波大）
- J-001 Web ブラウザを用いた手書きメモ共有システムの提案◎平山拓朗（電通大）・丸山一貴（東大）・寺田 実（電通大）
- J-002 ディスプレイ上におけるコーディネートを考慮した衣服探索を支援するシステム
.....◎牟田将史・益子 宗・星野准一（筑波大）
- J-003 安全確認動作の状況分析に基づく頭部姿勢空間のカテゴリライズ
.....◎伊藤桃代（徳島大）・佐藤和人（秋田県大）・福見 稔（徳島大）
- J-004 （講演取消）

【ヒューマン情報処理】

- 9月4日（火）13:00～15:00 2K 会場（東館 1F E101） 座長 金子 寛彦（東工大）
- J-005 聴覚刺激弁別作業時の閉眼状態における顔の微小動きの分析○田邊喜一（松江高専）
- J-006 男女の脳波知識ベースを統合した脳波感情判断手法◎森本麻代・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
- J-007 瞳孔径変動による快・不快推定◎河合修平・高野博史・中村清実（富山県大）
- J-008 直立静止時における健常者の体重心動揺運動と頭部動揺運動の比較◎松下宗一郎（東京工科大）
- J-009 瞳孔と基礎律動情報を用いた映像視聴時の視聴者反応分析に関する一考察◎川村愛莉・菅沼 睦・亀山 渉（早大）
- J-010 感性評価指標作成のための音楽的特徴と脳波の関連調査
..... ◎町田宗丈・神里志穂子（沖縄高専）・野口健太郎（東京工業高専）

【動作・知覚・注意】

- 9月4日（火）15:30～17:30 3K 会場（東館 1F E101） 座長 伊藤 昌毅（鳥取大）
- J-011 加速度センサを利用したクレ射撃における射撃動作の解析○伊藤史人（一橋大）
- J-012 動作データに着目した指導ごとのノウハウ収集手法◎関谷洋平・西出恭平・原田史子・島川博光（立命館大）
- J-013 選択的注意と分割的注意の定量的評価のための実験手法
.....◎稲田脩二・中内亮介・黄 宏軒・原田史子・島川博光（立命館大）
- J-014 （講演取消）
- J-015 動画質評価に動体視力は影響するか ○江本正喜（NHK 放送技研）
- J-016 光度と色温度を連動制御することで執務者ごとに個別照度、色温度環境を実現する照明制御システム
.....◎長野正嗣・三木光範・吉見真聡（同志社大）

【ヒューマンコミュニケーション（2）】

- 9月5日（水）09:30～12:00 4K 会場（東館 1F E101） 座長 矢島 敬士（電機大）
- RJ-003 随意性瞬目と自発性瞬目の識別に関する検討
.....◎松野省吾（電機大）・阿部清彦・佐藤寛修（関東学院大）・大井尚一・大山 実（電機大）
- J-017 人の行動に連動した音を使ったユーザインタフェースの提案と評価
.....◎関 洋平・大谷拓郎・岡林桂樹・柳沼義典（富士通研）
- RJ-004 （講演取消）
- RJ-005 一過性のストレス刺激が意図的な表情に及ぼす影響
..... ○佐藤和人・間所洋和（秋田県大）・門脇さくら（スマートデザイン）
- J-018 インターネットショッピングサイトにおける色彩効果活用分析◎矢吹怜竜・森本祥一（専大）
- J-019 （講演取消）
- J-020 監視サービスにおける管制員に対する情報提示とその効果
.....○魚住光成・山田耕一・村井秀聡（三菱）・浅間 一（東大）・高草木薫（旭川医大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2012年12月31日時点で32歳以下）

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

【ヒューマンコミュニケーション (3)】

9月5日 (水) 15:30 ~ 17:30	5K 会場 (東館 1F E101)	座長 川村 春美 (NTT)
J-021	初心者の情報獲得支援方式の提案	◎神宮史彬・矢島敬士 (電機大)
RJ-006	リスクコミュニケーションにおけるマインドマップを用いたオピニオンリーダー意見可視化の提案	◎市川恵一・矢島敬士・増田英孝・佐々木良一 (電機大)
J-022	協調型学習におけるリスクコミュニケーション支援方式の提案	◎足達涼平・矢島敬士 (電機大)
J-023	対話パターンと脳波変動の時系列解析によるフォローの評価	◎大山勝徳・金子正人・武内 惇 (日大)
J-024	ユーザビリティ評価における集中と作業成績の関連性の調査	◎宮崎雄宇・小俣昌樹・茅 暁陽 (山梨大)
J-025	眼科遠隔診断システムの接続形式の変更による利用形態の改善	◎稲垣祥悟・郷健太郎・柏木賢治・木下雄一郎 (山梨大)

【支援とエージェント】

9月6日 (木) 09:30 ~ 12:00	6K 会場 (東館 1F E101)	座長 小松 孝徳 (信州大)
J-026	(講演取消)	
J-027	赤外線センサ情報と地図情報を用いた知能ロボットの自律移動の手法	◎渡邊友介・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一 (同志社大)
J-028	屋内画像サーベイランスと位置推定による防災型自動避難誘導システム	◎津波古正輝・國場幸祥・長山 格 (琉球大)
J-029	エージェントに対する先入観が継続的インタラクションを通じた印象変化に及ぼす影響	◎岡田 翼・今井順一 (千葉工大)
J-030	スマートフォンを用いた初心者支援のための AR 麻雀システム	◎矢田和也・高井昌彰 (北大)
J-031	初心者のための箏演奏支援システム	◎佐野加奈・郷健太郎 (山梨大)
J-032	ウェアラブルコンピュータによるギター演奏習熟度の推定	◎細井祐太郎・松下宗一郎 (東京工科大)

【インタフェース】

9月6日 (木) 13:00 ~ 16:00	7K 会場 (東館 1F E101)	座長 渡辺 奈タ子 (東芝)
J-033	ラジオコントロールカーの視線制御に関する検討	◎正尺宏樹・新納慎吾・緒方公一 (熊本大)
J-034	視線インタフェースのための頭部位置認識機構の検討	◎緒方公一・坂元健亮・新納慎吾 (熊本大)
J-035	色の誘目度が視覚探索時の知覚負荷に与える影響について	◎岡城純孝 (NEC)・岡田英彦 (京産大)・谷川由紀子・福住伸一 (NEC)
J-036	web 履歴データを用いた可視化によるリソースアクセス向上の研究	◎正谷英樹・吉田博哉 (神戸情報大)
J-037	加速度センサを用いた実環境下の空中手書き文字入力インタフェース	◎福山慎太郎・中井 満 (富山県大)
J-038	描き順に依存しない手描きクラス図認識のための近傍オブジェクトを用いたストローク接続法	◎佐藤 信 (岩手大)
J-039	HMM に基づくフリックキーボード入力方式	◎萩谷俊幸・加藤恒夫 (KDDI 研)
J-040	仮想物体を効率的に操作するための調整手法の評価	◎高 云・梅澤 猛・大澤範高 (千葉大)

【HCI と自然言語処理】

9月4日 (火) 09:30 ~ 12:00	1L 会場 (東館 1F E102)	座長 村上 陽平 (NICT)
RJ-007	多言語知識コミュニケーションのモデル化	◎喜多香織・林 冬恵 (京大)・高崎俊之 (バンゲア)・石田 亨 (京大)
RJ-008	【船井ベストペーパー賞受賞論文】 折り返し翻訳は本当に役に立たないのか? ~人間の観点からみた折り返し翻訳の妥当性評価~	◎宮部真衣 (東大)・吉野 孝 (和歌山大)
J-041	単語共起頻度データベースを使用した任意の言葉の印象に合った楽曲検索	◎頭川 愛・酒向慎司・北村 正 (名工大)
J-042	クラウドソーシングを用いた多言語用例対訳の正確性評価手法の検討	◎福島 拓・吉野 孝 (和歌山大)
J-043	(講演取消)	
J-044	文化差検出結果提示のための画像選択方法の提案	◎吉野 孝 (和歌山大)・宮部真衣 (東大)・諏訪智大 (和歌山大)

K 分野：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用 (第3分冊)

【サイバーワールド】

9月4日 (火) 13:00 ~ 15:00	2L 会場 (東館 1F E102)	座長 井原 雅行 (NTT)
RK-001	CGM レビュー評価の分布と炎上状態の関係	◎飯尾 淳 (三菱総研)
RK-002	安全管理のための指差し呼称動作の認識	◎岩崎正裕・藤波香織 (農工大)
K-001	テレビ離れ解決に向けたテレビとインターネットの共存に関する一考察	◎鈴木祥平・森本祥一 (専大)
K-002	小学生の職業適性抽出のための仮想空間アプリケーションの設計と検証	◎西出恭平・原田史子・島川博光 (立命館大)
K-003	農作業技術伝達支援のための多目的な仮想空間アプリケーションの設計	◎西田任志・島川博光・原田史子 (立命館大)
K-004	マルチタッチ対応壁ディスプレイを用いた実寸大電子書架システム	◎松浦祐樹・平井重行 (京産大)

【マルチメディア・仮想環境基礎】

9月4日 (火) 15:30 ~ 17:30	3L 会場 (東館 1F E102)	座長 有安 香子 (NHK 放送技研)
K-005	情報配信システムにおける拡張現実感を用いた情報表示方法評価の検討	◎諏訪紀之・笠原誠人・鷹野孝典 (神奈川工科大)
K-006	位置情報付き俯瞰画像を用いたモバイルカメラの位置と方位の推定	◎鳥屋剛毅・北原 格・大田友一 (筑波大)

- K-007 Efficient Scale Database Construction for Scale Filtering in SURF-based AR Application ◎Hoang Anh Dang・Pao Sriprasertsuk・亀山 渉 (早大)
- K-008 GPU シェーダを用いた全方位動画の高速再生方式 ◎松本達弥・藤田 悟 (法大)
- K-009 人の位置と顔方向を用いて視界を再現する映像システム ◎渡邊俊哉・澁澤 進 (茨城大)
- K-010 3D-Hough 法を用いた屋内空間の三次元平面形状の検出 ◎安斎達也・藤田 悟 (法大)

【教育工学 (2)】

9月5日 (水) 09:30 ~ 12:00 4L 会場 (東館 1F E102) 座長 宮寺 庸造 (東京学芸大)

- K-011 数学学習支援システムにおける解答の正誤判定のための数式表現正規化手法 ◎金光隆広・山田剛一・絹川博之 (電機大)
- K-012 (講演取消)
- K-013 読譜視線分析によるピアノ演奏技能獲得過程の記述 ◎藤間 渉・中平勝子 (長岡技科大)
- RK-003 他の出席確認システムと連携可能な IC カード読み取りシステム ◎森田直樹 (東海大)
- K-014 高機能端末を用いたレスポンスアナライザの試作と効果的な教育的活用に関する研究 ◎水谷晃三 (帝京大)
- K-015 学生の得意不得意分野の自動推定と時間割作成への応用 ◎西森友省・堀 幸雄・今井慈郎 (香川大)
- RK-004 Contextual Inquiry 法を用いた学習への動機づけ要因抽出 ◎高橋 渉・小山昂紘・原田史子・島川博光 (立命館大)

【高機能マルチメディア】

9月5日 (水) 15:30 ~ 17:30 5L 会場 (東館 1F E102) 座長 新見 道治 (九工大)

- K-016 スマートフォンで印刷物から電子透かしを検出する一方式の検討 ◎山田隆亮 (日立)・紙谷元喜 (日立ソリューションズ)
- K-017 セルの微細分割による二次元コードの情報ハイディング ◎寺浦信之 (テララコード研究所/九大)・櫻井幸一 (九大)
- K-018 3次元カラーバーコード生成、読み取りアプリケーションの開発 ◎奥田真也・六井 淳 (島根大)
- K-019 複数の2次元情報を保持する3次元物体の光暗号化技術への応用 ◎平山竜士・下馬場朋緑・中山弘敏 (千葉大)・白木厚司 (木更津高専)・角江 崇・増田信之・伊藤智義 (千葉大)
- K-020 ユーザ参加行動に基づく蓄積映像コンテンツ編集方式 ◎麻生 祐・藤田 悟 (法大)
- K-021 モジュー演算によるオーディオトリックアート ◎青木直史 (北大)

【教育工学 (4)】

9月6日 (木) 09:30 ~ 12:00 6L 会場 (東館 1F E102) 座長 松田 洋 (日本工大)

- K-022 提供関数の段階的機能縮小化における関数呼出し履歴の分析 ◎西本 航・高橋 渉・原田史子・島川博光 (立命館大)
- RK-005 協調学習によるソースコード識別子の命名学習方法 ◎式見 遼・松浦佐江子 (芝浦工大)
- K-023 階層構造化によるC言語ソースコードの自動採点 ◎小山昂紘・原田史子・島川博光 (立命館大)
- K-024 子ども向け GUI プログラミングワークショップを対象としたSNS上での創作体験共有システム ◎安藤 希・森本竜也・高田秀志 (立命館大)
- K-025 問題文の切り分けによる学習者の機能分割能力の評価 ◎板戸陽子・小山昂紘・原田史子・島川博光 (立命館大)
- K-026 電子書籍を用いた教育への応用 ◎酒井広太郎・永瀬 宏 (金沢工大)
- K-027 語学学習番組を教材利用するための会話音声とテキストの対応付け ◎清水渚佐・山肩洋子・棕木雅之・美濃導彦 (京大)

【教育工学 (5)】

9月6日 (木) 13:00 ~ 16:00 7L 会場 (東館 1F E102) 座長 島川 博光 (立命館大)

- RK-006 動画配信システムにおける視聴者フィードバックによるインデックス生成法 ◎後閑俊亮・沼尾雅之 (電通大)
- RK-007 【船井ベストペーパー賞受賞論文】
影を利用したポインティングシステムの開発 ◎土江田織枝 (釧路高専)・財原ちひろ (SEIKO EPSON)・林 裕樹 (釧路高専)・宮尾秀俊 (信州大)
- RK-008 上肢障害者の特性を考慮したポインティング操作の研究 ◎本多博彦 (湘南工科大)
- RK-009 時代のニーズに合わせた学習意欲を向上させるための実践的な組込みシステム教育教材の開発と評価 ◎小島有貴 (金沢大)・越野 亮・金寺 登 (石川高専)・秋田純一 (金沢大)
- K-028 組み込みシステムのエンジニアリングデザイン教育の試み ◎松原裕之 (福岡工大)
- K-029 距離画像センサと音声認識を用いたヒューマンインタフェースに関する研究 ◎武田 実・新藤肇昭 (日本工大)
- K-030 立体物の組み立て過程の表現方法の比較 ◎中津橋男・伊藤涼祐 (愛知教育大)
- RK-010 CG アニメーションを用いた理科仮想実験システムに関する研究 ◎萩原 大・松田 洋・新藤肇昭 (日本工大)

【教育工学 (1)】

9月4日 (火) 09:30 ~ 12:00 1M 会場 (東館 1F E103) 座長 森本 容介 (放送大)

- K-031 e-learning における学習者の行動履歴を利用した講義改善支援システムの開発 ◎大川内隆朗・大谷 淳 (早大)・米村俊一・徳永幸生 (芝浦工大)
- RK-011 ゲームと融合したeラーニング問題集の開発と評価 ◎小島一秀 (阪大)
- K-032 SNSの機能を利用したプログラミング学習支援 ◎石川 齊・寺田 実 (電通大)・丸山一貴 (東大)
- K-033 情報基礎教育における組み合わせ指標を用いたペアワークの効果 ◎内田君子 (名古屋学芸大)・大矢芳彦 (名古屋外国語大)
- K-034 学習における学生間の関係ネットワークの分析の提案 ◎奥原 俊・大塚孝信・吉村卓也 (名工大)・伊藤孝行 (名工大/東大)
- K-035 ボードゲームの戦略プログラミングを題材としたJava演習の大会運営サーバの効率化 ◎山田航平・富永浩之 (香川大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2012年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

- K-036 人の動線情報収集システムを題材としたソフトウェア・ハードウェア同時設計による
研究開発型 PBL の評価……………○橋本浩二・前田佐嘉志・森元 逞 (福岡大)

[福祉情報工学 (1)]

- 9月4日 (火) 13:00 ~ 15:00 2M 会場 (東館 1F E103) 座長 大倉 典子 (芝浦工大)
- K-037 Kinect 白杖システムによる下り階段の認識
……………○山口翔太郎・滝沢穂高 (筑波大)・江崎修央 (鳥羽商船高専)・水野慎士 (愛知工大)
- K-038 視覚障害者のための歩行動作に着目した偏軌傾向発見 ……………○中内亮介・原田史子・島川博光 (立命館大)
- K-039 マルチモーダル情報を活用した点図提示システムの改善
……………○石川桂多 (千葉工大)・遠西 学 (目白大)・遠藤浩幸・中村直人 (千葉工大)
- K-040 視線追跡を用いた弱視のピクトグラム認識
……………○巽 久行 (筑波技術大)・村井保之 (日本薬科大)・関田 巖・宮川正弘 (筑波技術大)
- K-041 ヘッドマウントディスプレイを用いた弱視支援の提案 ……………○村井保之 (日本薬科大)・
Robinson THAMBURAJ (Madras Christian College)・巽 久行・宮川正弘 (筑波技術大)
- K-042 要約筆記品質評価システムにおける要約候補文提示機能 ……………○高尾哲康 (富山国際大)

[福祉情報工学 (2)]

- 9月4日 (火) 15:30 ~ 17:30 3M 会場 (東館 1F E103) 座長 和田 親宗 (九工大)
- K-043 傾聴者支援のための高齢者の音声特性による話題の評価
……………○船越 翔・室 寛和・黄 宏軒・原田史子・島川博光 (立命館大)
- K-044 介護予防対象者のトータルモニタリングシステムの開発
……………○藤田 彬・金子つばさ・佐藤貴子・有澤 博・田村直良 (横浜国大)・野村明美 (横浜市大)
- K-045 手首と足首の動きに着目した高齢者の基礎体力の推定 ……………○室 寛和・原田史子・島川博光 (立命館大)
- K-046 CHLAC 特徴に基づく動画像認識による歩行動作の定量的評価手法に関する検討
……………○柳澤孝文 (筑波大)・野里博和 (産総研)・坂無英徳 (筑波大 / 産総研)
- K-047 (講演取消)
- K-048 在宅難病患者の ICT 環境継続性の向上 ……………○伊藤史人 (一橋大)・今井啓二・仁科恵美子 (ICT 救助隊)

[教育工学 (3)]

- 9月5日 (水) 09:30 ~ 12:00 4M 会場 (東館 1F E103) 座長 小西 達裕 (静岡大)
- K-049 交通事故損害の「見える化」を用いた安全教育のモチベーション向上に向けた取組み
……………○岡本満喜子・中平勝子・北島宗雄 (長岡技科大)
- K-050 管理者一現場労働者の関係強化による安全文化創生指向企業内教育のための要素抽出
……………○室伏輝昌・中平勝子・岡本満喜子 (長岡技科大)
- K-051 英文読解能力測定モデルへの熟語難易度の導入
……………○奥村将成・吉見毅彦・南條浩輝 (龍谷大)・小谷克則 (関西外語大)
- K-052 英語学習支援のための聴解コーパスの有効性の検証
……………○上田翔太・南條浩輝・吉見毅彦 (龍谷大)・小谷克則 (関西外語大)
- K-053 英文読解速度テストに用いたテキストの難易度を考慮したテスト有効性の検証
……………○岡本隆志・南條浩輝・吉見毅彦 (龍谷大)・小谷克則 (関西外語大)
- K-054 外国人の初級日本語学習時における単語の仮名表記誤りの訂正方式 ……………○谷之口優人・杉野勝也・絹川博之 (電機大)
- K-055 日本語文提示システムの日本語学習環境における適用可能性の検討 ……………○青木恭太・村山慎二郎 (宇都宮大)

L 分野：ネットワーク・セキュリティ（第4分冊）

[セキュリティモデルと認証]

- 9月4日（火）09:30～12:00 1N 会場（東館 1F E104） 座長 井上 大介（NICT）
- L-001 （講演取消）
- L-002 スパムメールサーバの発信行動変容の推定◎山口翔生・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
- L-003 標的型サイバー攻撃に関する動的戦略モデル◎佐藤 直（情報セキュリティ大）・渡邊 均（東理大）
- L-004 二次利用コンテンツの構成集合を識別可能とするデジタル署名方式
.....◎伊佐 仁・小出雅史・稲村勝樹・岩村恵一（東理大）
- L-005 非定型文キーストローク認証における入力・認証状況変化の影響
.....◎松原慶朋・佐村敏治（明石高専）・西村治彦（兵庫県大）
- L-006 オフラインサイト認証可能な QR コード◎柏井祐樹・渡辺優平・森井昌克（神戸大）
- L-007 仮想格子点を考慮した素因数分解の検討◎赤堀晋作・永瀬 宏・津田伸生・郭 清蓮（金沢工大）

[ネットワーク制御と運用]

- 9月4日（火）13:00～15:00 2N 会場（東館 1F E104） 座長 鈴木 聡（高エネルギー加速器研）
- L-008 利用帯域幅割り当てを行う TCP フロー制御の提案
.....◎工藤智子（山形県産業技術短大 / 山形大）・武田利浩・平中幸雄（山形大）
- L-009 クロスレイヤ TCP 制御におけるトラフィックシェーピング
.....◎平田智司（山形大）・工藤智子（山形大 / 山形県産業技術短大）・武田利浩・◎平中幸雄（山形大）
- L-010 RTT の振る舞いをを用いた輻輳制御方式の動作解析◎畑中公嗣・中村奉夫（龍谷大）
- L-011 RTT を用いたエンド-エンド可用帯域推定法の提案と実験的評価
.....◎今井雅晴・杉崎義雄・水野 修・浅谷耕一（工学院大）
- RL-001 IPv6 サイトマルチホーミングにおけるルーティングヘッダを用いたサイト出口ルータ選択手法
.....◎山口拓哉（岡山大）・金 勇（NICT）・山井成良・岡山聖彦（岡山大）・中村素典（NII）
- L-012 IPv6 Flow Label を用いた優先度制御システムに関する研究
.....◎許 鑫（広島工大）・長坂康史（Hiroshima Institute of Technology）

[ネットワーク監視と運用]

- 9月4日（火）15:30～17:30 3N 会場（東館 1F E104） 座長 山井 成良（岡山大）
- L-013 オンデマンドに VM・ネットワークの構築を可能にする IaaS ネットワーク運用管理基盤◎園田健太郎・波多野洋一・鈴木一哉・千葉靖伸・下西英之・島村 栄・副島賢司・黒田貴之（NEC）
- L-014 OpenFlow を用いた広域サーバマイグレーション◎福島達也・八幡博史・山口由紀子・高倉弘喜（名大）
- L-015 監視経路の冗長性に基づく障害原因箇所推定手法の提案◎川岸諒子・魚住光成（三菱）
- L-016 監視ネットワーク設計の行列による評価手法の提案◎村井秀聡・魚住光成（三菱）
- L-017 マルチキャスト通信を利用したネットワーク分散型データ収集システムの高効率化に関する研究
.....◎紫元貴大・長坂康史（広島工大）
- L-018 SNMP を用いた IP ネットワーク構成情報の推定◎辻本幸徳・藏内将博・井口信和（近畿大）

[ネットワークセキュリティと運用]

- 9月5日（水）09:30～12:00 4N 会場（東館 1F E104） 座長 柏崎 礼生（東京藝大）
- L-019 アドレスマスクを用いたアクセスリスト集約化手法の提案◎横山直彦・今泉貴史（千葉大）
- L-020 SYN Cookies を活かす Locator/ID Separation Protocol 導入法の検討◎渡邊孝也・今泉貴史（千葉大）
- L-021 不正 RA 対策のための IPv6 拡張ヘッダオプションの提案◎佐藤尚也・今泉貴史（千葉大）
- L-022 ALC を用いた集約可能なアドレス割り当て手法の提案◎相川雅英・今泉貴史（千葉大）
- RL-002 R/S Pox レッグライン特性◎高橋秋典・五十嵐隆治（秋田大）・上田 浩（京大）・岩谷幸雄（東北学院大）・木下哲男（東北大）

[分散システム管理と運用]

- 9月5日（水）15:30～17:30 5N 会場（東館 1F E104） 座長 吉浦 晃晃（埼玉大）
- L-023 放送時刻を使ってフレームデータにアクセス可能な分散ファイルシステム
.....◎金子 豊・黄 民錫・竹内信也・和泉吉則（NHK）
- L-024 仮想環境を用いたネットワーク QoS 検証を可能とするエミュレーションシステムの設計と実装
.....◎藏内将博・辻本幸徳・井口信和（近畿大）
- L-025 DAQ-Middleware におけるコンポーネント間通信の高効率化に関する研究◎前田寛幸・長坂康史（広島工大）
- L-026 気象状況を活用した Wi-Fi アクセスポイント電波マップ生成システムの試作
.....◎Sarunyoo Lamunkun・大島浩太・寺田松昭（農工大）
- L-027 Shibboleth を応用した認可管理機構の一検討
.....◎宇野植祐・Ganbat Bolortsetseg・松浦健二・上田哲史・佐野雅彦（徳島大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチ賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2012年12月31日時点で32歳以下）

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

【セキュリティ実装】

9月6日(木) 09:30 ~ 12:00

6N 会場 (東館 1F E104)

座長 須賀 祐治 (インターネットイニシアティブ)

- L-028 多段バックされたマルウェアからのコード取得
..... ◎中村徳昭・森井昌克 (神戸大)・伊沢亮一・井上大介・中尾康二 (NICT)
- L-029 マルウェアの部分コードによる類似度判定と機能推定
..... ◎大久保諒・森井昌克 (神戸大)・伊沢亮一・中尾康二・井上大介 (NICT)
- L-030 リソースアクセス情報に基づく未知のマルウェア検知手法
..... ◎李 在炯・城間政司 (琉球大)・
..... 丹田 賢・梅橋一充 (フォティーンフォティ技術研究所)・長田智和・谷口祐治・名嘉村盛和 (琉球大)
- L-031 SVMを用いた Windows 向け異常検知システムの実装と評価
..... ◎伊波 靖 (沖縄高専)・高良富夫 (琉球大)
- L-032 複数台のおとりマシンによる HTTP-GET Flood 攻撃対策
..... ◎吉田祥真・三上烈史・小林良太郎 (豊橋技科大)・加藤雅彦・金岡 晃 (筑波大)
- L-033 ネットワーク動的構成による高セキュリティ LAN の試作
..... ◎十場 裕・黄 宏軒・川越恭二 (立命館大)
- L-034 ダイナミックに制御する情報漏洩対策システムの検討
..... ◎榎本真也・金井 敦 (法大)・谷本茂明 (千葉工大)・佐藤周行 (東大)

M 分野：ユビキタス・モバイルコンピューティング (第4分冊)

【マルチメディア通信と分散処理】

9月4日(火) 09:30 ~ 12:00

1P 会場 (東館 1F E106)

座長 藤井 章博 (法大)

- M-001 データの read/write を考慮した KVS の性能伸縮性に関する一考察
..... ◎堀内浩基・山口実靖 (工学院大)
- M-002 VLAN 設定の推定に基づくネットワークスイッチの応急的復旧に関する研究
..... ◎唐鎌行大・北形 元・ヨハン スベホルム・笹井一人・木下哲男 (東北大)
- M-003 ネットワーク監視ツールに基づくネットワーク状態の能動的情報資源化
..... ◎板橋佑介・Khamisi Kalegele・笹井一人・高橋秀幸・北形 元・木下哲男 (東北大)
- M-004 能動的情報資源による異種コンテンツの自律的連携手法
..... ◎浅沼亜紀・魏 文鵬・伊藤大視・高橋秀幸・笹井一人・北形 元・木下哲男 (東北大)
- M-005 ネットワークコーディングを用いた端末間協調ストリームデータ配信システムの検討
..... ◎井上慶春・中村和己・谷川 諒・島田秀輝・佐藤健哉 (同志社大)
- M-006 一時的アクセス権を用いたインターネット予約システムにおけるクライアントのスケジューリング
..... ◎三上烈史・吉田祥真・小林良太郎 (豊橋技科大)・加藤雅彦・金岡 晃 (筑波大)
- M-007 (講演取消)

【ユビキタスコンピューティング】

9月4日(火) 13:00 ~ 15:00

2P 会場 (東館 1F E106)

座長 永田 智大 (NTT ドコモ)

- M-008 外出プラン作成のための嗜好情報収集システムの研究
..... ◎山下和也・岩本健嗣・松本三千人 (富山県大)
- M-009 A Pedestrian Navigation System for Thermal Comfort
..... ◎党 聡維・岩井将行 (東大)・戸辺義人 (青学大)・梅田和昇 (中大)・瀬崎 薫 (東大)
- M-010 すれ違い通信を用いた地域情報共有方式の検討
..... ◎菊池大輝・大島浩太・寺田松昭 (農工大)
- M-011 すれちがい通信と期限付きメッセージによるライブ情報共有システム
..... ◎藤田大樹・高井昌彰 (北大)
- M-012 温室栽培を支援する農業機器遠隔制御システムの開発
..... ◎鈴木貴裕・吉岡慶馬・力武克彰 (仙台高専)
- M-013 マルチエージェントに基づく異種センサ連携フレームワークの設計
..... ◎栗田泰洋・伊藤大視・高橋秀幸・笹井一人・北形 元・木下哲男 (東北大)

【モバイルアプリケーション】

9月4日(火) 15:30 ~ 17:30

3P 会場 (東館 1F E106)

座長 高田 敏弘 (NTT)

- M-014 実利用状況を活用した モバイルアプリケーション情報共有システムの検討
..... ◎関根貴寛・大島浩太・寺田松昭 (農工大)
- M-015 スマートフォンでの利用に特化した Wiki システムの開発
..... ◎佐々木佳祐・寺田 実 (電通大)・丸山一貴 (東大)
- M-016 協調検索を対象としたダイナミックグループコラボレーション環境のためのグループ間移動支援機能
..... ◎伊藤直人・北口達也・高田秀志 (立命館大)
- M-017 AR 技術を用いた SNS から現実世界へのコミュニティ発展支援システムの提案
..... ◎松川大仁・坂本直弥・島田秀輝・佐藤健哉 (同志社大)
- M-018 Amazon ウェブサービスをを用いた携帯情報端末から利用可能な書籍管理システムの開発
..... ◎山下雅人・元山 忠・古賀雅伸 (九工大)・矢野健太郎 (福岡工大短大)
- M-019 A Storage Platform with Easy Delivery of Computerized Information
..... ◎市川泰宏・高田秀志 (立命館大)

【位置情報と交通安全支援】

9月5日(水) 09:30 ~ 12:00

4P 会場 (東館 1F E106)

座長 清原 良三 (神奈川工科大)

- M-020 運転者支援システムのための複数特徴に基づく歩行者検出
..... ◎加嶋亮平・清水郁子・Pongsathorn Raksincharensak・永井正夫 (農工大)
- M-021 歩行者の状況を考慮した歩車間通信による歩行者安全支援システムの検討
..... ◎鈴木結香子・松本江里加・山田達也・島田秀輝・佐藤健哉 (同志社大)
- M-022 サイクルコンピュータを利用した自転車事故防止のための一考察
..... ◎藤山浩輔・森本祥一 (専大)
- M-023 交通信号機検出への生成型学習の適用
..... ◎上原康弘・子安大士・前川 仁 (埼玉大)
- M-024 位置情報に応じた家電の自動制御手法
..... ◎中島拓真・下村浩史・蔵野裕己・吉田健太・吉見真聡・三木光範 (同志社大)
- M-025 屋内位置推定に基づく情報家電認識システムの提案
..... ◎河合航平・雨森将司・島田秀輝・佐藤健哉 (同志社大)

[センサ応用と無線リソース管理]

9月5日(水) 15:30～17:30

5P 会場 (東館 1F E106)

座長 村松 茂樹 (KDDI 研)

RM-001 参加型センシングのためのデータ精度を考慮した仮想センサの提案

..... ○山本 淳・川崎仁史・倉沢 央・佐藤浩史・中村元紀・松村 一 (NTT)

RM-002 深度センサとセンサ椅子を用いた着座姿勢推定機能の設計と試作◎金田将英・今野 将 (千葉工大)

M-026 モバイル端末の協調による無線 LAN アクセスポイント情報共有方式◎中井悠人・大島浩太・寺田松昭 (農工大)

M-027 モバイル P2P ネットワークにおけるリソース管理方式の一検討◎荻野 暢・大島浩太・寺田松昭 (農工大)

M-028 MC-CDMA 通信方式のためのブロック長制御を考慮したアフィン射影型ブラインドマルチユーザ検出器

.....◎大場正太・名取隆廣 (東理大)・田邊 造 (諏訪東理大)・古川利博 (東理大)

M-029 データ最少二乗法を用いたダイレクトブラインド ZF 等化器◎堀内 亮 (諏訪東理大)・

八木利弘・名取隆廣 (東理大)・田邊 造 (諏訪東理大)・古川利博 (東理大)

N 分野：教育・人文科学 (第 4 分冊)

[コンピュータと教育]

9月5日(水) 15:30～17:30

5M 会場 (東館 1F E103)

座長 辰己 丈夫 (農工大)

N-001 PC および携帯端末を対象とした e-Learning システムの開発◎金子勇太・瀬沼航太郎・泉 隆 (日大)

N-002 動的なコンテンツを用いた e-Learning システム：- 解答時間を考慮した学習評価の検討 -

.....◎瀬沼航太郎・金子勇太・泉 隆 (日大)

N-003 安全安心な生活のための環境見守りシステムを題材とした組込み技術教材の開発◎荻窪光慈 (埼玉大)

N-004 情報環境学部「情報科教育法」への取り組み (その3)◎土肥紳一・今野紀子 (電機大)

N-005 調べ学習課題の自動生成に向けた学習課題の分析◎久保恵津子・小林 健・坪井賢泰・安藤一秋 (香川大)

N-006 卒業研究を支援するための環境構築◎嶋津祐樹・美馬義亮 (はこだて未来大)

[教育学習支援情報システム]

9月6日(木) 09:30～12:00

6M 会場 (東館 1F E103)

座長 梶田 将司 (京大)

N-007 LMS 操作の初期学習を目的としたシステム改修を要しない付加的ガイドシステムの開発

.....◎行方義忠・大河雄一・三石 大 (東北大)

N-008 (講演取消)

RN-001 能の型付資料に基づく仕舞のアニメーション自動合成システム

.....◎岩月正見 (法大)・尾下真樹 (九工大)・山中玲子・中司由起子・関 健志 (法大)

N-009 携帯情報端末から利用可能な演習課題のリアルタイム成績管理システムの開発と評価

.....◎江角貴宏・松竹弘海・古賀雅伸 (九工大)・矢野健太郎 (福岡工業短大)

N-010 Web 教材データベースからの教材推薦サービスに関する研究◎栗原隆平 (電機大)

N-011 メタデータ分析を用いたサウンドスケープ研究へのアプローチ◎永島元貴・井出 明 (追手門学院大)

N-012 初めての飲酒に対する教育支援アプリケーションの開発◎鴨澤健志 (釧路工大)

[電子化知的財産・社会基盤]

9月6日(木) 13:00～16:00

7M 会場 (東館 1F E103)

座長 小向 太郎 (情報通信総合研究所)

RN-002 教育コンテンツのネット公表に関する知的財産権管理◎児玉晴男 (放送大/総研大)

N-013 マンガの概要に基づく作品推薦システム◎村瀬尊好・柊 和佑・安藤友晴 (稚内北星学園大)

N-014 マンガ Path 式を利用したソーシャル Web 上におけるデジタルマンガのアノテーション共有

.....◎落合香織・三原鉄也・永森光晴・杉本重雄 (筑波大)

N-015 EV/HEV の報知音を想定した漸増刺激音の定位の主観評価◎竹内大貴・大山貴紀・金子 格 (東京工芸大)

N-016 知財ポートフォリオの構築を対象とした特許文献の引用関係ネットワーク

.....◎成田麻美 (東理大)・古田社宏 (奈良教育大)・東本崇仁・赤倉貴子 (東理大)

N-017 解決手段情報と効果情報について説明する明細書の重要段落抽出手法の提案

.....◎矢野裕和 (東理大)・古田社宏 (奈良教育大)・東本崇仁・赤倉貴子 (東理大)

N-018 地方自治体公式 Twitter の運用実態に関する考察◎上野 亮・飯島泰裕 (青学大)

N-019 複数 SNS サイトにおける発信情報分析による個人特定の可能性の検証

.....◎安藤寿英 (立命館大)・中村健二 (大阪経済大)・小柳 滋 (立命館大)

O 分野：情報システム (第 4 分冊)

[安心・安全]

9月6日(木) 09:30～12:00

6P 会場 (東館 1F E106)

座長 柿崎 淑郎 (東理大)

O-001 情報システムにおける災害対策評価◎山田耕一・砂田英之 (三菱)

O-002 危機対応業務ノウハウを活用した対応計画策定支援システムの検討

.....◎小阪尚子・東田光裕・前田裕二 (NTT)・伊東昌子 (常磐大)

RO-001 教育コンテンツのネット公表に関する社会情報システム◎児玉晴男・鈴木一史・柳沼良知 (放送大/総研大)

O-003 クラウド環境におけるシステム構築・運用の課題と対策の考察

.....◎中林寿文 (電通大/サイバース)・田原康之・大須賀昭彦 (電通大)

O-004 クラウド型クレーン保守管理支援サービスの開発◎坪倉徹哉・羽鳥文雄 (日立プラントテクノロジー)

O-005 スマートフォンによる糖尿病患者向け服薬支援の考察◎森井貴之・皆月昭則 (釧路工大)

O-006 脳卒中における事前兆候チェックシステム：脳卒中予防教育支援システムの開発◎山崎雄大 (釧路工大)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチアワード」受賞候補の資格対象であることを示します。(2012 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

【業務システム】

- 9月4日(火) 09:30 ~ 12:00 1Q 会場 (東館 1F E107) 座長 茂木 学 (NTT)
- RO-002 センターから端末への動的なコードの配付・実行・検証機構
.....○白石善明・佐々木啓 (名工大)・福田洋治 (愛知教育大)・毛利公美 (岐阜大)
- O-007 ペーパーレス会議システムにおけるスムーズな閲覧資料同期のための多拠点間接続システムの試作
.....○丹羽佑輔・白松 俊・大園忠親・新谷虎松 (名工大)
- O-008 糖尿病性腎症患者の栄養指導支援システムの開発○巴 祐樹 (釧路工大)
- O-009 止血法支援アプリケーションの開発○中野 匠 (釧路工大)
- O-010 外国人向け病院受付支援システムの研究○岡 史紘 (釧路工大)
- O-011 プレゼン環境における聴衆の身体動作に基づくコメント投稿システム○大井悠介・高井昌彰 (北大)
- O-012 セキュリティとサービス連携を考慮した厨房機器管理システムの設計と実装
.....○大場俊裕・武田利浩・平中幸雄 (山形大)

【分析とモデリング】

- 9月4日(火) 13:00 ~ 15:00 2Q 会場 (東館 1F E107) 座長 鳥羽 美奈子 (日立)
- O-013 基地局へのアクセス履歴データを活用した携帯電話業界のマーケティング戦略に関する一考察:
モバイルコンテンツの購買行動における消費者の情報検索○坂巻英一 (宮城大)
- RO-003 行動辞書を利用した Twitter からの行動抽出○矢野裕司・横井 健 (都立産業技術高専)・橋山智訓 (電通大)
- O-014 歩行の始点終点座標と建物外形を利用した屋内歩行軌跡推定方式の提案と評価
.....○秋山高行・鴨志田亮太・林 秀樹・佐藤暁子 (日立)
- O-015 車載センサログの時系列データマイニングに基づく運転挙動の分析○岡田将吾 (東工大)・
人見謙太郎・チャンドラシリ ナイワラ (トヨタ IT 開発センター)・呂 有為・新田克己 (東工大)
- O-016 (講演取消)
- O-017 (講演取消)

【制御とインターフェイス】

- 9月4日(火) 15:30 ~ 17:30 3Q 会場 (東館 1F E107) 座長 若原 俊彦 (福岡工大)
- O-018 (講演取消)
- O-019 加速度センサを利用した PC 操作○岡村拓哉・伊與田光宏 (千葉工大)
- O-020 スマートホンを用いたホームネットワークシステムのためのサービス制御機構と
ユーザインターフェースの設計○竹田拓馬・武田利浩・平中幸雄 (山形大)
- O-021 テレビ視聴環境での個人向けサービス実現に向けたユーザ認証認可基盤
.....○山村千草・西本友成・藤井里里砂 (NHK 放送技研)
- O-022 Twitter を用いたセンサ情報のオープン化と機器制御○阿部結至・竹田拓馬・武田利浩・平中幸雄 (山形大)
- O-023 マルチカメラに基づく人物位置検出システムを対象とした出力情報の品質制御手法
.....○ADRIAN AGUSTA・阿部 亨・菅沼拓夫 (東北大)

【広域連携モデリング】

- 9月5日(水) 09:30 ~ 12:00 4Q 会場 (東館 1F E107) 座長 黒瀬 晋 (NEC)
- O-024 動画 QR コードとその応用○古本啓祐・渡辺優平・森井昌克 (神戸大)
- O-025 QR コードへの画像埋め込み領域の拡大○飯塚大貴・多田雄一・森井昌克 (神戸大)
- RO-004 広域連携医療サービスのモデル化とインマルサット衛星を用いた遠隔医療通信
.....○千葉雅史・野地 保・田中滋樹・生方香代・藤田泰裕・海津 徹 (東海大)
- RO-005 3D 電子紹介状による患者サービスクラウドモデルの実現○安達大貴・野地 保・真山 紀 (東海大)・
荻野 正 (三菱電機インフォメーションテクノロジー)・石川希人 (東海大)
- O-026 省電力デバイスにおける OS カーネルの研究○伊藤 僚・須栗裕樹 (宮城大)
- O-027 3D 電子カルテのクラウドへの実装○安達大貴・野地 保 (東海大)・
荻野 正 (三菱電機インフォメーションテクノロジー)・西山明芳 (東海大)
- O-028 クラウド型 3D 電子診療録モデルの評価
.....○荻野 正 (三菱電機インフォメーションテクノロジー)・野地 保 (東海大)

【ビジネスモデリング】

- 9月5日(水) 15:30 ~ 17:30 5Q 会場 (東館 1F E107) 座長 荻野 正 (三菱電機インフォメーションテクノロジー)
- RO-006 ビジネス顕微鏡を用いた個人作業時における集中状態判定特徴量の開発○佐藤信夫・辻 聡美・矢野和男 (日立)
- RO-007 ビジネス顕微鏡ディスプレイ: オフィスでのコミュニケーションを促進する
行動ログ表示アプリケーションの開発○辻 聡美・佐藤信夫・大塚理恵子・紅山史子・矢野和男 (日立)
- RO-008 UML 要求分析モデルとモンククライテリアに基づくセキュリティ要求分析の統合手法
.....○野呂 惇 (芝浦工大)・小形真平 (信州大)・松浦佐江子 (芝浦工大)
- O-029 情報システム開発における要件定義の実務的研究
.....○石野正彦 (福井工大)・工藤 司 (静岡理工科大)・五月女健治 (法大)・片岡信弘 (東海大)
- O-030 Business Model の形式的記述
... ○松本正雄 (ソリューション総研)・片上英樹 (凸版印刷)・片岡信弘 (東海大)・新川芳行 (龍谷大)
- O-031 SCM における配送方式の比較・評価について○多田純一・能上慎也 (東理大)

[ライブ支援]

- 9月6日(木) 09:30～12:00 6Q会場(東館1F E107) 座長 伊藤 一成(青学大)
- O-032 ライブ・コンサートにおける聴覚障害者支援の提案◎東 時子・森本祥一(専大)
- RO-009 感情に基づく対極性感情検索手法の提案◎南 勝利・河合由起子(京産大)・張 建偉(筑波技術大)・白石優旗(京産大)・熊本忠彦(千葉工大)
- O-033 分散制御照明システムにおける照度センサ位置の推定精度向上および照度センサの移動に関する検討三木光範・◎吉田健太・吉見真聡・平野裕也(同志社大)
- O-034 分散制御照明システムにおける運用/稼働報告書作成支援システムの構築三木光範・◎久保田貴大・寺本裕一・吉見真聡・吉田健太(同志社大)
- O-035 文章構成を考慮したレビューのP/N分類手法の提案◎江川雄太・今野 将(千葉工大)
- O-036 事業所の動態調査のための電話番号クリーニング利用に関する検討◎坂本憲昭・森 博美・近藤章夫・小沢和浩(法大)
- O-037 ヤンバルクイナの鳴き声検出のための閾値決定方法の検討◎宇根健一郎・藏屋英介・神里志穂子(沖縄高専)・野口健太郎(東京工業高専)・金城道男・長嶺 隆(どうぶつたちの病院)・嘉手刈修(沖縄コカ・コーラボトリング)

[サービス・クラウド]

- 9月6日(木) 13:00～16:00 7Q会場(東館1F E107) 座長 石川 冬樹(NII)
- O-038 不規則な監視情報を処理するための二段フィルタを用いたリソースキャパシティ予測方式◎外川遼介・大野允弘(NEC)
- O-039 ソーシャルマッシュアップ実現に向けたフレームワークの検討◎瀧川大樹・小坂隆浩(同志社大)
- O-040 複数ある指標を考慮したバリエーション拡大のための衣服の推薦◎吉田拓也・近藤 司・原田史子・島川博光(立命館大)
- O-041 システムズ・レジリエンス◎丸山 宏(統計数理研究所)・井上克巳(NII)・明石 裕(国立遺伝学研究所)・岡田仁志(NII)・南 和宏(新領域融合研究センター)・椿 広計(統計数理研究所)
- O-042 レジリエント工学の現状と課題◎南 和宏・丸山 宏(統計数理研)

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。(所属は略称表記)

※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。(2012年12月31日時点で32歳以下)

※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

FIT2012 第11回情報科学技術フォーラム 論文査読者一覧

青木 義満 (慶大)	金子 晴彦 (東工大)	竹内 勇剛 (静岡大)
安里 彰 (富士通)	上坂 大輔 (KDDI 研)	刀川 眞 (室蘭工大)
阿部 匡伸 (岡山大)	神谷 祐樹 (NEC)	田中 貴紘 (農工大)
天野 英晴 (慶大)	亀岡 弘和 (NTT)	田邊 勝義 (名桜大)
櫛 肅之 (NTT)	亀田 能成 (筑波大)	谷本 茂明 (千葉工大)
安藤 映 (崇城大)	亀山 渉 (早大)	田部井靖生 (JST)
安藤 慎吾 (NTT)	河内 亮周 (東工大)	玉地 雅浩 (藍野大)
井口 和久 (NHK 放送技研)	河野 義広 (東京情報大)	壇 寛成 (関西大)
石井 大祐 (早大)	河村 彰星 (東大)	土屋 達弘 (阪大)
石川 孝明 (早大)	川村 隆浩 (東芝)	鳥羽美奈子 (日立)
石野 正彦 (福井工大)	川村 正樹 (山口大)	富澤 眞樹 (前橋工科大)
泉 泰介 (名工大)	喜田 拓也 (北大)	内藤 整 (KDDI 研)
磯 友輝子 (東京未来大)	北原 鉄朗 (日大)	仲地 孝之 (NTT)
板井 志郎 (早大)	北村 泰彦 (関西学院大)	中野 倫康 (産総研)
一井 信吾 (東大)	木下 賢吾 (東北大)	中村 友洋 (日立)
市瀬龍太郎 (NII)	木下 哲男 (東北大)	中村 匡秀 (神戸大)
一戸 信哉 (敬和学園大)	清見 礼 (横浜市大)	成澤 和志 (東北大)
井手 一郎 (名大)	國宗 永佳 (信州大)	西 宏之 (崇城大)
伊藤 一成 (青学大)	栗原 聡 (阪大)	西尾 典洋 (目白大)
伊藤 京子 (阪大)	栗山 繁 (豊橋技科大)	額田 彰 (東工大)
伊藤 貴之 (お茶の水女子大)	黒瀬 晋 (NEC)	野地 保 (東海大)
伊藤 健洋 (東北大)	桑原 和宏 (立命館大)	野本 忠司 (国文学研究資料館)
糸山 克寿 (京大)	小尻 智子 (関西大)	波多野賢治 (同志社大)
井上 誠喜 (NHK)	小西 宏志 (NTT)	畑山 満則 (京大)
井上 智雄 (筑波大)	小林 義行 (日立)	服部 文夫 (立命館大)
井上 浩明 (NEC)	小森 政嗣 (大阪電通大)	浜口 斉周 (NHK)
今井 雅 (弘前大)	坂下 秀	浜中 雅俊 (筑波大)
今泉 貴史 (千葉大)	(アクタスソフトウェア)	浜本 隆之 (東理大)
入江 英嗣 (電通大)	坂下 善彦 (湘南工科大)	林 勇吾 (立命館大)
岩沼 宏治 (山梨大)	酒田 信親 (阪大)	日置 尋久 (京大)
岩村 恵市 (東理大)	阪田真己子 (同志社大)	平井 重行 (京産大)
岩本 健嗣 (富山県大)	櫻井 祐子 (九大)	平塚 三好 (東理大)
上杉 繁 (早大)	定兼 邦彦 (NII)	平山 勝敏 (神戸大)
宇田川佳久 (東京工芸大)	柴田 知秀 (京大)	弘中 哲夫 (広島市大)
浦本 直彦 (日本 IBM)	地引 昌弘 (NICT)	深田 秀実 (小樽商科大)
越前 功 (NII)	渋谷 進 (鹿児島大)	福田 直樹 (静岡大)
大石 康智 (NTT)	志水 信哉 (NTT)	藤井 俊彰 (名大)
大須賀昭彦 (電通大)	生源寺 類 (静岡大)	藤田 悟 (法大)
大西 建輔 (東海大)	白石 善明 (名工大)	藤田 茂 (千葉工大)
岡本 秀輔 (成蹊大)	新川 芳行 (龍谷大)	藤芳 明生 (茨城大)
岡本 吉央 (電通大)	新谷 虎松 (名工大)	舟橋 琢磨 (中京大)
小川 一美 (愛知淑徳大)	菅原 研次 (千葉工大)	古隅 弘樹 (兵庫県大)
小川 浩平 (ATR)	菅原 俊治 (早大)	堀米 明 (フィジオ)
小川 貴弘 (北大)	杉本 麻樹 (慶大)	堀山 貴史 (埼玉大)
萩野 正	須栗 裕樹 (宮城大)	前田 香織 (広島市大)
(三菱電機インフォメーション テクノロジー)	関 洋平 (筑波大)	松尾 翔平 (NTT)
垣村 尚徳 (東大)	関 良明 (NTT)	松田 一朗 (東理大)
梶 克彦 (名大)	関嶋 政和 (東工大)	松田 昌史 (NTT)
片岡 信弘 (元東海大)	高橋 桂太 (電通大)	松原 繁夫 (京大)
片上 大輔 (東京工芸大)	高橋 大介 (筑波大)	松本 信幸 (東芝)
桂 敬史 (東北大)	高橋 尚子 (國學院大)	峯 恒憲 (九大)
	高橋 由泰 (日立)	三宅 真紀 (阪大)

宮崎 慎也 (中京大)
宮寺 庸造 (東京学芸大)
宮部 真衣 (東大)
村上 陽平 (NICT)
村松 茂樹 (KDDI 研)
村山 綾 (関西学院大)
茂木 学 (NTT)
森田 裕介 (早大)
森本 容介 (放送大)
森山 甲一 (阪大)

山井 成良 (岡山大)
八横 博史 (名大)
山下 直美 (NTT)
山田 一郎 (NHK)
山田 太造 (人間文化研究機構)
山田 武士 (NTT)
山中 克久 (岩手大)
山本 知仁 (金沢工大)
結城 修 (キャノン)
吉井 和佳 (産総研)

吉田 稔 (東大)
吉野 孝 (和歌山大)
脇 隼人 (九大)
渡辺 健次 (佐賀大)
渡邊 伸行 (金沢工大)
渡辺 昌洋 (NTT)

他 7 名

以上 計 186 名 (50 音順・敬称略)

ISS：電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ
 HCG：電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ
 IPSJ：情報処理学会

FIT 委員名簿

FIT 運営委員会

ISS 委員長 大田友一（筑波大）
 IPSJ 副委員長 寺中勝美（NTT ソフトウェア）
 ISS 委員 村瀬洋（名大）、荒川賢一（NTT ドコモ）、萩田紀博（ATR）、籠嶋岳彦（東芝）、佐藤真一（NII）、
 宮野博義（NEC）、石渡要介（三菱電機）
 HCG 委員 武川直樹（東京電機大）、大塚真吾（神奈川工科大）
 IPSJ 委員 西尾章治郎（阪大）、砂原秀樹（慶大）、渡辺尚（静岡大）、橋田浩一（産総研）、池内克史（東大）
 実行委員長 大田友一（筑波大/FIT2012）、砂原秀樹（慶大/FIT2013）
 プログラム委員長 橋田浩一（産総研/FIT2012）、荒川賢一（NTT ドコモ/FIT2013）

FIT2012 実行委員会

委員長 大田友一（筑波大）
 幹事 宮野博義（NEC/ISS）、佐藤三久（筑波大/IPSJ）
 会計幹事 佐藤輝幸（富士通研/ISS）、橋田浩一（産総研/IPSJ）
 ISS 委員 籠嶋岳彦（東芝）、樋山淳雄（東京学芸大）、増市博（富士ゼロックス）、岡田真人（東大）、
 宮寺庸造（東京学芸大）、鳥羽美奈子（日立）
 IPSJ 委員 橋田浩一（産総研）、菊池浩明（東海大）、小林聡（電通大）、佐藤寿倫（福岡大）、
 岡本真（アカデミック・リソース・ガイド）、Reijer Grimbergen（東京工科大）、岩井儀雄（鳥取大）、
 井上雅之（NTT）、小松孝徳（信州大）、朴美娘（神奈川工科大）、木谷友哉（静岡大）、
 中山泰一（電通大）
 委員（現地） 三浦孝夫（法大）、渡邊嘉二郎（法大）

FIT2012 プログラム委員会

委員長 橋田浩一（産総研）
 幹事 籠嶋岳彦（東芝/ISS）、菊池浩明（東海大/IPSJ）
 ISS 委員 宮野博義（NEC）、中村友洋（日立）、栗原聡（阪大）、大町真一郎（東北大）、坂東幸浩（NTT-AT）、
 新見道治（九工大）、横山浩之（KDDI 研）、野地保（東海大）
 HCG 委員 板井志郎（早大）
 IPSJ 委員 佐藤三久（筑波大）、宇野毅明（NII）、阿部洋丈（阪大）、野本忠司（国文学研究資料館）、
 浜中雅俊（筑波大）、関嶋政和（東工大）、柏崎礼生（東京藝大）、山田太造（人間文化研究機構）

FIT2012 担当委員

ISS 委員 伊藤健洋（東北大）、鷺崎弘宜（早大）、樋山淳雄（東京学芸大）、天野英晴（慶大）、
 中村友洋（日立）、京昭倫（ルネサスエレクトロニクス）、森秀樹（東洋大）、義久智樹（阪大）、
 増市博（富士ゼロックス）、森大毅（宇都宮大）、栗原聡（阪大）、津田宏治（産総研）、
 岡田真人（東大）、小池康晴（東工大）、滝沢穂高（筑波大）、井澤淳（ATR）、大町真一郎（東北大）、
 坂東幸浩（NTT-AT）、吉野孝（和歌山大）、中尾敏康（NEC）、宮寺庸造（東京学芸大）、
 井原雅行（NTT）、新見道治（九工大）、井上大介（NICT）、横山浩之（KDDI 研）、
 鳥羽美奈子（日立）、野地保（東海大）、石川冬樹（NII）、安達淳（NII）
 HCG 委員 板井志郎（早大）、渋谷進（大学評価・学位授与機構）、戸辺義人（青学大）、
 小林和恵（NTT コムウェア）、和田親宗（九工大）
 IPSJ 委員 宇野毅明（NII）、小林聡（電通大）、西崎真也（東工大）、鶴林尚靖（九大）、城田祐介（東芝）、
 阿部洋丈（阪大）、品川徳秀（筑波大）、吉田浩章（東大）、佐藤寿倫（福岡大）、早川栄一（拓殖大）、
 岡本真（アカデミック・リソース・ガイド）、野本忠司（国文学研究資料館）、
 船越孝太郎（ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン）、篠崎隆宏（千葉大）、
 浜中雅俊（筑波大）、市瀬龍太郎（NII）、Reijer Grimbergen（東京工科大）、関嶋政和（東工大）、
 岩井儀雄（鳥取大）、栗原恒弥（日立）、井上雅之（NTT）、坂本大介（東大）、小松孝徳（信州大）、
 柏崎礼生（東京藝大）、朴美娘（神奈川工科大）、堀川隆（NEC）、小松文子（情報処理推進機構）、
 高田敏弘（NTT）、大内一成（東芝）、山口弘純（阪大）、木谷友哉（静岡大）、金井敦（法大）、
 中山泰一（電通大）、山田太造（人間文化研究機構）、小向太郎（情報通信総合研究所）、
 伊達進（阪大）、畑山満則（京大）

FIT2012 現地実行委員会

委員長 三浦孝夫（法大）
 副委員長 塩谷勇（法大）
 委員 赤松茂（法大）、春日隆（法大）、金井敦（法大）、木村光宏（法大）、斎藤利通（法大）、
 鈴木郁（法大）、平原誠（法大）、藤田悟（法大）、堀端康善（法大）、雪田修一（法大）、李磊（法大）

この度のFIT開催にあたりましては、法政大学様よりキャンパスを会場としてご提供頂き誠にありがとうございました。
 ここに厚くお礼申し上げます。

FIT 運営委員会